

包括的職業能力評価制度整備委員会 (左官工事業)

活動報告書

平成 17 年 9 月

中央職業能力開発協会

はじめに

緊縮財政に伴う公共事業の大幅な縮減策、建設投資額の著しい減少とそれに伴う企業間競争の激化、一方、新規市場の縮小に反して改修市場の拡大の追い風が吹く中、環境や健康志向への対策として見直されてきた伝統技法や塗り壁(珪藻土等)の人气が盛り上がり、顧客ニーズの多様化など相まって、左官工事業界はさまざまな変化に直面している。

今後は自社の生き残りを賭けた自己変革を進めていくことが重要な課題になっている。また、少子高齢化により総人口が減少する中で、建設業の就業者数も平成9年をピークに減少を続け、加えて雇用条件や職場環境等の悪化により若年技能者の確保が難しくなっている。一方、左官工事業界で必要とされる人材は、環境の変化に合わせて高度な技能や技術力はもちろん、顧客ニーズに応える適切な材料・工法の提案力、安全作業の管理力、施工状況に応じた問題解決力などの施工上の信頼性につながる能力が求められている。

このような状況において、個人のキャリア形成支援と円滑な労働移動を促進するため、また企業の人材ニーズと労働者の能力とを適切にマッチングさせるためには、双方が“共通言語”として理解でき、内外の労働市場で職業能力を適正に評価できる“ものさし”としての客観的な指標が不可欠となってきた。

このため、厚生労働省では、労働者個々人の個性と能力に対応した多様な働き方ができる労働市場を実現するため、個人は自らがもつ職業能力を、企業は労働者に対して求める職業能力を互いに分かりやすい形で示せるようにするための社会基盤としての職業能力評価制度を整備することとしている。

本委員会では、このような取組みの一環として、社団法人日本左官業組合連合会のご協力のもと、左官工事業界における施工管理職種(施工管理職務)、施工技能職種(現場管理職務、左官施工職務)の2職種、3職務の「職業能力評価基準」を取りまとめるに至った。ヒアリング調査やアンケート調査等にご協力いただいた方々には、心より感謝申し上げます。

本報告書は、第1章で左官工事業界を取巻く経営環境の変化とそれに伴う人的資源管理の変化を概観したうえで、第2章では職業能力開発行政の方向性を踏まえた本委員会の目的について述べている。第3章では本基準の取りまとめにいたる委員会活動の経過を記している。そして第4章では、成果物としての「職業能力評価基準」の特徴と概要について説明し、さらに、今後の課題については第5章で触れている。

今回作成した本基準が幅広く活用され、社会基盤としての職業能力評価制度の整備・構築が図られること、そして、企業の競争力や生産性の向上、労働者一人ひとりの自己実現につながることを期待される。

平成17年9月

中央職業能力開発協会
包括的職業能力評価制度整備委員会
(左官工事業)

「包括的職業能力評価制度整備委員会（左官工事業）」委員名簿

委員氏名	所 属	備 考
長田 友秋	有限会社長秋実業 代表取締役	座 長
青木 茂	青木左官工業有限会社 代表取締役	
安藤 英一	有限会社安藤左官工業 代表取締役	
木本 勝己	株式会社木本工業所 代表取締役	
根子 清	株式会社根子左 代表取締役	
福田 健	有限会社日の出左官工業 代表取締役	
三溝 尚	社団法人日本左官業組合連合会 主任	

（所属は平成 17 年 9 月現在）

オブザーバー

氏 名	所 属	
増田 祐三	社団法人全国建設業協会 労働部長	平成 17 年 6 月まで

事 務 局

氏 名	所 属
内藤 眞紀子	中央職業能力開発協会 能力評価部 次長
山浦 晃	中央職業能力開発協会 能力評価部 評価制度開発課長
磯村 誠司	中央職業能力開発協会 能力評価部 評価制度開発係長

事務局支援

氏 名	所 属
井上 博仁	株式会社日本コンサルタントグループ 建設産業システム研究所 企画部長
中村 秀樹	株式会社日本コンサルタントグループ 建設産業システム研究所 建設生産研究室長
長谷 利男	株式会社日本コンサルタントグループ 建設産業システム研究所 建設組織研究室長
菅野 好則	株式会社日本コンサルタントグループ 建設産業システム研究所 副部長コンサルタント
石原 勝信	株式会社日本コンサルタントグループ 建設産業システム研究所 副部長コンサルタント

目 次

はじめに.....	
委員名簿.....	
第 1 章 左官工事業界を取巻く現状と課題	1
1 . 1 経営環境の変化	1
1 . 2 人的資源管理の現状と課題	2
第 2 章 本委員会の目的	4
2 . 1 職業能力開発行政の方向性 ～ 社会基盤としての職業能力評価制度の整備 ～	4
2 . 2 左官工事業界における職業能力評価基準の作成	4
第 3 章 本委員会の活動経過	6
3 . 1 平成 1 6 年度の活動経過の概要	6
3 . 2 委員会審議	6
3 . 3 企業調査	12
第 4 章 職業能力評価基準の特徴と概要	18
4 . 1 職業能力評価基準作成の考え方と全体構成	18
4 . 2 職業能力評価基準の概要とポイント	31
第 5 章 今後の課題と展望	40
5 . 1 職業能力評価基準の活用・普及へ向けた取組み	40
5 . 2 職業能力評価基準の維持・管理のための仕組みづくり	43
「左官工事業」職業能力評価基準	
1 . 職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方	
2 . 左官工事業におけるキャリア形成の例	
3 . 左官工事業における職業能力評価基準の全体構成（様式 1 ）	
4 . 職種別能力ユニット一覧（様式 2 ）	
5 . 能力ユニット別職業能力評価基準（様式 3 ）	
6 . 職務概要書	

第1章 左官工事業界を取巻く現状と課題

1.1 経営環境の変化

1.1.1 わが国経済における建設業界の位置付けと技能労働者

我が国の総人口は、平成18年に1億2,774万人（出所：社会保障人口問題研究所 平成14年1月推計）でピークに達した後は減少に転ずるものと予測されている。特に、近年の傾向は少子化により若年層の総人口に対する割合が減少する一方で、高齢者層の総人口に占める割合が増加し、少子高齢化が急速に進むものと見込まれる。

農業に次ぐ高齢化業種といわれている建設業の就業者数は、平成9年の685万人（出所：総務省 労働力調査年報）をピークに減少を続けている。大手ゼネコンは、国の公共投資縮減策に伴う建設投資の減少に対応して外注比率を高め、より商社化する傾向にあるといわれている。その外注分野における工事施工を担当する専門工事業に従事する技能労働者についてみると、近年の低価格受注等によって収益が悪化し、処遇が低下する傾向を示している。加えて、雇用条件や職場環境の悪化等により若年技能者の入職数が減少しており、これも技能者が高齢化する一因となっている。

このままの状況では、若年技能者が不足し、技能の継承が困難になるだけでなく、近い将来人手不足から建設現場における生産活動に重大な支障をきたす恐れが予測される。これらに対処するには、労働力需給のミスマッチの解消、円滑な労働移動の促進などにより雇用の安定を図り、技術・技能に応じた適切な評価・処遇を行うことが必要と考えられる。

国土交通省においても直接生産活動に従事する技能労働者の採用・確保・育成については、平成12年の「専門工事業イノベーション戦略」をはじめとして、同16年には「建設産業構造改善推進プログラム2004」等でも触れられ、重要改善課題として取上げられている。

1.1.2 建設産業と左官工事業

左官仕事は、従来、建築構造物では壁を始め、床・天井や内外装等重要な工程を担ってきた。一般住宅に関しては近年の健康志向・環境対応に適応した塗り壁が優れた効果を発揮している。また、文化財や歴史的建造物においては、伝統技法や特殊材料の調合・高耐久材質提供などの高度なノウハウも求められて成長してきた。

しかしながら、長引く不況と公共工事の縮減にともなう建設需要の激減により、元請企業、専門工事業を問わず経営環境は一層厳しくなっている。施主・発注者からのコスト縮減圧力はより高まり、左官工事業においても工程面・コスト面・品質面・安全面等での厳しい企業努力が迫られている。特に、左官仕事の伝統技法（技術面）においては、技術・技能を修得しても、それを発揮できる場が極端になくなってきているため、模範的な修練で本番に臨まなければならない、スムーズな伝承が出来にくい状況になっている。

建設産業の生産性向上については、元請企業より専門工事業が多くの場面・部分を担

当することが要求される。それに対応するためにも、「左官工事の自主管理・責任施工」体制への移行・転換は左官工事業としての維持・成長性に欠かせない要件になってきている。

今後は、左官工事生産システムの改善・改革として、元請・下請けの責任範囲の明確化、請負範囲の拡大、ベテラン技能者が持っている優れた技術・技能の伝承、あるいは工法等の提案・調整及び同業者との連携、付加価値向上による非価格競争力への対応、そして計画的な人材確保と育成が望まれている。

1.2 人的資源管理の現状と課題

1.2.1 左官工事業界における人的資源管理

一般的に左官工事業では経営者が現場の叩き上げで、その延長線上に企業組織が構築されてきたケースが多い。個別のノウハウ等を若手に伝授する仕組みも組織的対応として形成されてきているが、左官工事業への信頼性は個別企業や個人が持つ技能に依存する傾向が高いように見受けられる。

しかしながら、押し寄せる高齢化の現状は現実であり、自らの経験を基に伝授（自分の背中を見せて真似させて覚えさせる）していく育成方法だけでは年齢や環境のギャップが大きく、十分に有効とは言えなくなってきた。

企業として、キャリア・パスを設定し、能力の目標設定に応じてステップアップしていく仕組みを構築することが要求されている。そのためには、教育を実施する側も受ける側も自身の仕事に誇りを持ち、「技能者集団」として業界全体のスキルアップを図り、認知度を高めていかなければならない。

1.2.2 今後の左官工事業界で必要とされる人材

左官工事業は見方によっては建設物構築要素・居住空間の殆どを担っており、快適な利用者環境は勿論、環境衛生・健康志向に対するライフサイクルにおける全てにおいて確固たる責任を持たなければならない。

従って、施主や設計者の望むデザインや仕上がりを実現させるためには長い伝統の知識と経験に裏打ちされたプロセス管理業務や原材料の選定・調合材の調合等が重要な職務になっている。そのために、作業結果を検証し、より良い品質に改善していく「施工管理職種（施工管理職務）」と、左官作業において信頼性の高い技能を発揮する「施工技能職種（現場管理職務、施工技能職務）」という2つの専門性の高い仕事が存在する。

（1）施工管理職務に必要とされる人材

左官工事の大部分は、元請（ゼネコン）からの専門工事下請としての契約（注文書による工事請負契約）が基になって仕事が始められている。

元請（ゼネコン）は自主管理・責任施工を下請会社に要望し、その要望に応えられる企業に作業を継続的に依頼し発注していく傾向が強い。最近ではコストダウンや工期短縮など極めて専門性の高い施工技術、作業方法を元請（ゼネコン）と下請会社と一緒に検討することが多くなる傾向にある。

そのため、施工管理職務としては、営業活動ではこれらの施工ノウハウを背景にした折衝や打合せが重要であり、さらに、施工中の品質・原価・工期・安全・環境の各施工管理（業界では英語の頭文字をとってQCDSSEと呼ぶ）を会社として実施、遂行していかなければならない。

（２）現場管理職務に必要とされる人材

現場管理職務の仕事は、施工管理職の指示に基づいて現場で作業班、技能者を管理し、契約書・仕様書どおりに左官工事を完成させることである。

そのためには、建設現場全般の知識が必要であり、かつ下地から仕上げまでの「技能・技術力」と、技能者をより効率的に職務を遂行させる「監督能力」の双方が要求される。

作業班の指揮、顧客（設計事務所、元請、発注者）との対応、作業打合せへの出席、他職とのコミュニケーションなど、現場において必要な管理を任せられる職長的立場が求められている。

さらに、近年、上級職長として基幹技能者の能力も要求されるケースが多い。建設の大型化と効率的な安全施工のために専門工事会社間の調整や連携を積極的に推進し、元請（ゼネコン）の工事管理支援を行う職務が求められてきたからである。

したがって、技能はもとより、作業班の現場における総合指揮、元請（ゼネコン）との作業上の協議を通じた提案力や自社施工管理職との連携を含めた総合的な現場総合管理能力が必要とされている。

（３）施工技能職務に必要とされる人材

施工技能職務は、現場管理職の指示に従って左官施工の最前線である現場で作業を実施する職務であり、下地の点検、下地の塗り作業、仕上げ塗り作業などを工程に従って安全に期待通りの品質に作業実施する役割を担っている。

さらに、左官現場での作業においては、多岐に渡る作業内容とともに緻密さが要求され、仕事を進めるうえで周囲との協調も必要とされている。しっかりした養生期間が必要なため、協調による工程管理が必要不可欠となる。

熟練技能者は、左官自然素材や既調合材の選定と調合方法、養生期間等を熟知し、不具合の原因になりそうな作業に対して、適切な指摘やアドバイスができるだけでなく、施工技術や作業方法の優れた技能（正確でスピーディーかつポイントを押さえた作業能力）を兼ね備え、ベテランの作業員として、精度の高い施工力が期待されている。

特に、神社、仏閣、純日本建築等を対象にした伝統建築の伝統左官技法及びそれらの修復・復元の仕事に関しては、卓越したレベルを持った人の確保と育成が必要とされている。

第2章 本委員会の目的

2.1 職業能力開発行政の方向性

～社会基盤としての職業能力評価制度の整備～

第1章で述べたように、急激で構造的な環境変化に直面し、様々な経営課題を抱える左官工事業界及び個別企業にとって、それらの経営課題に積極的に取組み、問題解決できる人材こそが最大の経営資源であり、企業競争力を発揮する源泉でもある。

そこで各企業は、必要とされる職務や人材像を明確化したうえで、自社にマッチングする人材を社内外から採用・確保し、適材適所に配置することが求められる。そのためには、自社が求める職務や人材像を能力要件として具体化しなければならない。一方、労働者も企業が示す能力要件に照らして自らの職業能力を把握し、その能力を第三者に理解できるように示さなければならない。場合によっては、不足している能力の開発・向上に取り組むことも必要となる。

我が国の企業においては一般的に、内部労働市場が発達し、企業内において人事異動を通じて相互に関連するいくつかの職務を経験しながらキャリアを積み重ね、昇進、昇格していくシステムとなっていたために、従来は外部労働市場が形成されにくい状況であった。しかし、労働移動が活発化するにつれて外部労働市場の必要性が高まっている。

このような状況において、企業の人材ニーズと労働者とを適切にマッチングさせるためには、双方が“共通言語”として理解でき、内外の労働市場で職業能力を適正に評価できる“ものさし”としての「職業能力評価基準」の整備が必要不可欠となる。そして、この職業能力評価基準は、“能力が見える社会”の基盤としての職業能力評価制度の整備に向けた第一歩なのである。

2.2 左官工事業界における職業能力評価基準の作成

そこで厚生労働省では、様々な産業の労使団体の協力を得ながら、業界ごとの職業能力評価基準の整備に取り組んでいる。そして、今回、左官工事業界の職業能力評価基準が作成された。

中央職業能力開発協会では、厚生労働省の委託を受けて包括的職業能力評価制度整備事業を推進している。その一環としての本委員会、すなわち「包括的職業能力評価制度整備委員会（左官工事業）」は、平成16年度にその活動を実施した。そして、左官工事業界の人材ニーズを踏まえた、“使える”職業能力評価基準を作成することを目的として、社団法人日本左官業組合連合会（以下、日左連）の協力のもとに、複数の左官工事業者に対してヒアリング調査を行い、各職務を遂行するために必要な職業能力を整理し、レベル分けなどの体系化をした上で、職業能力評価基準として取りまとめた。

ところで、今回作成した職業能力評価基準を活用することによって、様々な政策展開が可能になるものと考えられる。例えば、企業側が求める人材像や能力要件の明確化と求職者に対する情報提供、労働者個々人の職業能力の診断・証明、ハローワークなどにおける

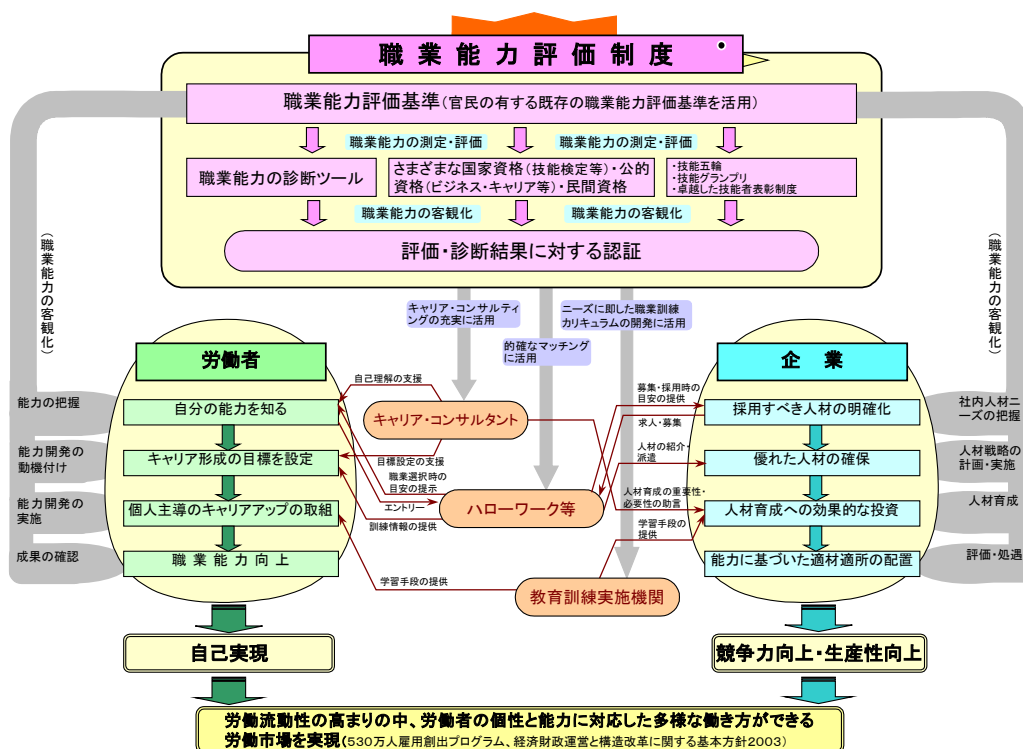
職業能力評価基準に基づいたマッチングの実施、キャリア・コンサルティングや職業相談の充実、公共職業訓練コースへの反映などが挙げられる。

そして、これらの政策展開を通じて労働者、企業ともに大きなメリットを得ることが期待される。つまり労働者においては、個人主導型のキャリア形成の取組みにより職業能力の向上が図られ「自己実現」につなげることができる。また一方、企業では優れた人材の確保や人材育成を行う上で効率的な投資が図られ、職業能力に基づいた適材適所の人材配置を通じて「競争力向上・生産性アップ」につなげることができる（図表2-1）。

改めて述べるまでもなく、我が国の企業、特に建設産業においては人材こそがもっとも貴重な資源であり、いかに労働者の個性や能力を引き出し、活性化できるかがどうか、今後、国際社会において日本企業が生き抜いていくための要となる。

我が国においても、職業能力評価基準の幅広い活用と政策への展開を通じて、社会基盤としての職業能力評価制度の整備・構築が図られることが必要であり、そして、労働者一人ひとりの能力が適正に評価され、将来に向けたキャリア形成の目標が描ける“能力が見える社会”が実現することが期待される。

図表2-1 社会基盤としての職業能力評価制度



第3章 本委員会の活動経過

3.1 平成16年度の活動経過の概要

左官工事業の包括的職業能力評価制度を整備するために、第一回委員会のヒアリング対象企業の決定及び評価制度策定方針を受けて、平成16年11月から12月にわたり第一次企業調査を実施した。評価制度策定方針の具体的な内容については、「第4章 4.1.1 職業能力評価基準の特徴と枠組み（P-18～23）」を参照されたい。

第一次企業調査による企業ヒアリングの結果を、第二回委員会で報告、検討し、第二次企業調査内容を決定した。委員会における検討内容を細部にわたって補足するために、地域の左官工事業協会にお願いし、様々な仕事の立場から幅広く意見を聴取した。平成17年2月に第二次企業調査を行い、その後細部を取りまとめ、第三回委員会に報告し、内容を検討した。

検討結果等を踏まえ作成した、「委員会活動報告書」（案）の最終確認のため、第四回委員会、第五回委員会を開催し、最終的な合意を得て当報告書をまとめるに至った。

3.2 委員会審議

3.2.1 第一回委員会

（1）議題

- a) 事業主旨・委員会での検討の進め方等について
- b) 対象職務の選定（案）及び調査の進め方について

（2）審議内容

- a) 事業主旨・委員会での検討の進め方等について

複数企業へのヒアリングを実施し、委員会における審議、検討の材料とする。

「左官工事業の人材育成モデル」の区分を基本とし、各企業における状態をヒアリングする。

大きな現場で専門工事業として実施する「野丁場」施工が主体ではあるが、住宅や日本建築等に携わる「町場」施工での左官作業もある。したがって、なるべく野丁場・町場両方を実施している企業を選定する。

一つの会社の中で、経営者の立場、営業幹部、施工幹部、職長の役割を担っている社員がいる企業を選定する。

左官工事業者は小規模な事業所が多いため、それらを考慮した対応とする。

- b) 対象職務の選定（案）及び調査の進め方について

包括的制度整備委員会という主旨から、先行業種の「電機業」における基本的なまとめと統一性を取る。

現時点では、職種 - 職務 - ユニット - エlement - 遂行基準 - 知識（資格）という体系とし、レベルは1～4の区分としている。

用語等については、各企業、業界としての共通性、一般性を確認し使用する。

3.2.2 第二回委員会

(1) 議題

- a) 第一次企業調査（中間）報告
- b) 第二次企業調査の実施に向けて
- c) その他

(2) 審議内容

- a) 第一次企業調査（中間）報告

「町場、野丁場の考え方」

町場は伝統（修復、復元工事）、住宅技能、下地づくり、塗り、仕上げ、内装的なもの。

野丁場は大きな仕事（ゼネコンのもと作業班、組織で対応）

「レベル区分の考え方」

L 1：見習い者、L 2：一人前（一人で実施）、L 3：職長、L 4：基幹技能者及び特殊（伝統）左官施工者をイメージ。

技能検定試験 1 級、2 級を加味する。

一人前になるには 3 ～ 5 年かかる。

野丁場と町場とでは差が出る。

「ヒアリングシートについて」

ヒアリング時、現場を見て欲しい（現場の意見を取り入れる）。

他職種が実施した作業と左官業の作業評価を明確に表現する。

「第一次ヒアリング調査及び検討結果からの修正ポイント」

職種、職務、能力ユニット、能力細目、レベル設定について

- ・能力ユニットは共通ユニットと選択ユニットを分離する
- ・共通能力ユニットは共通化出来る部分を集約する
- ・選択ユニットは各仕事を明確に表現する
- ・キャリア形成の例は例示していた職務名から資格名称を除いたヒアリングシート上の表現、記載上の注意事項（主なもの）
- ・固有名詞は使用しない
- ・外来語は極力避ける（普段使われている言葉にする）
- ・共通能力ユニットにコンプライアンス（法令遵守）を追加する
- ・能力細目にリフォームを追加する
- ・町場独自のもののみ項目の冒頭に＜町場＞と記載する
- ・左官工事の積算数量を拾うのはレベル 3 以上である
- ・現場管理の能力細目は左官施工との区別を明確にするためレベル 3 と 4 のみにする
- ・左官施工の能力ユニット「修復・復元施工」「特殊左官施工」にはレベル 4 が必要（別途検討）
- ・「特殊左官施工」には文化財的物件の復元も加味する

- b) 第二次企業調査の実施に向けて

「調査方法等について」

第二次調査企業は、複数企業（施工管理、施工技能企業）からのヒアリング実施によって、内容、項目的に補強することとし、ヒアリング対象者は上位職を想定する。

地域により、工法や材料、表現（言葉）等が異なるが、今回は範囲を限定し関東一円とする。

ヒアリング効率を上げるため、事前に質問項目等を送付することとする。

用語に関しては技能検定とも関係するので統一していく方向で検討する。

c) その他

- ・調査依頼企業として委員の会社をお願いする。

3.2.3 第三回委員会

(1) 議題

- a) 鰻（こて）塚等実地調査について
- b) 委員会活動報告書（案）について
- c) 職業能力評価基準（案）について

(2) 審議内容

- a) 鰻（こて）塚等実地調査について（静岡県賀茂郡松崎町）

鰻（こて）塚

長八美術館に隣接して、全国の左官職人が永年愛用した鰻（こて）を永久に供養するための鰻（こて）塚を、日左連が松崎町の予算措置に基づいて寄付を募り建設しており、その施工途中の現場において仮設の組み方、材料の調合の仕方、漆喰壁、ドーム天井、洗出し等の高度な施工方法について実地に確認した。

岩科学校

明治12年着工し翌年に完成、なまこ壁を活かした社寺風建築とバルコニーなどに洋風を取り入れた伊豆地区最古（全国的にも三指に入る）の小学校であり、国指定重要文化財になっている。平成4年に2年間の修復・復元工事を終了し、100年を超える建物の修復・復元技能を実地に確認した。

- b) 委員会活動報告書（案）について

レベル区分の考え方

- ・レベル区分の目安の記述内容は、他の専門工事業種と同記述とした。
- ・施工技能職務のレベル4については能力ユニットを限定した。

キャリア形成の例

- ・職務の例示から資格名称を削除し、L1：初級、L2：担当者、L3：責任者、L4：統括責任者と一般的な名称に統一した。

ユニット構成の修正

- ・共通ユニットを設け、職種、職務内で共有する項目を集約した。

（企業の社会的責任と関係法令の遵守、左官仕上げの建築的意義と伝統技法の伝承、コミュニケーションとチームワーク、無災害推進と環境保

全への取組み)

- ・選択ユニットは、既存内容をくくりなおし、一人ひとりの職務内容の違いをより明確化した。

職種別能力ユニット一覧(様式2)

「施工管理職種」

- ・共通ユニットとして4つのユニットを新設した。
- ・施工管理職務固有のユニットを全て共通ユニットとしていたが、再定義の結果選択ユニットに変更した。
- ・「改修・復元計画」ユニットを「日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画」に変更した。修復・復元は寺社、仏閣に限らない。今回視察した岩科学校のように日本建築と西洋建築の融合、明治、大正、昭和時代に建設された迎賓館や東京駅のような西洋建築も修復・復元を行っていることから、日本建築に限定する表現は見直すことにした。

「施工技能職種」

- ・共通ユニット、選択ユニット構成は施工管理職種と同一変更した。
- ・レベル毎に設定していた職務区分を能力ユニット名称変更により一本化した。
- ・「現場管理職種」「施工技能職種」各能力ユニット名称を実務に沿った名称に変更した。
- ・施工管理職種で取り上げた「修復・復元計画」についてはL4(レベル4)で日本建築だけではなく西洋建築も考慮することとした。

今後の課題と展望

- ・職業能力評価基準の普及、活用については企業内での活用、組合、団体等における活用、行政としての政策展開への活用などいろいろと考えられるので、報告書において今後の課題と展望として提案することとした。

c) 職業能力評価基準(案)について

L4、卓越技能者の設定について

- ・歴史的構築物を維持していくために必要な左官工事業ならではの特殊技能に対応するため、「洗い出し、磨き、土蔵、京壁等の伝統左官」「日本及び西洋建築の修復・復元」に限り、技能的に秀でた者を対象に、L3の職長とは異なる立場の「L4：卓越技能者(仮称)」を設定する。但し、呼称は職長と区別するために、「卓越技能者(仮称)」とした。

職務別L4の見直しについて

- ・施工技能にスペシャリスト的な「卓越技能者、熟練技能者」を設定することにより、「現場管理」と「施工技能」の能力細目で技能を特出しすることとした。

字句の統一

- ・三和土(たたき)の表現で「流す」を「均す」に訂正、木舞づくりの「波物、中物、上物」は「並物、中物、上物」に全訂正すること。その他字句の使い方については地域によって異なるものであるので文献などで確認し、

修正すること。

3.2.4 第四回委員会

(1) 議題

- a) 委員会活動報告書(案)について
- b) 職業能力評価基準(案)について

(2) 審議内容

- a) 本委員会報告書(案)、職業能力評価基準(案)の検討

本委員会の活動報告書案について検討した。内容について日左連のブロック協議会にて説明し意見を聞くとともに、検討事項を持ち帰り書面として提出してもらい、座長の基にさらに精査することとした。

最終的には「座長」による最終チェックを踏まえ、再度委員会を召集し、包括的職業能力評価制度整備委員会(左官工事業)活動報告書を審議することとした。

各委員による基準の最終確認と、修正箇所の提言は当月末を目途に事務局に連絡することとした。

3.2.5 第五回委員会

(1) 議題

- a) 全国ブロック理事会意見集約について
- b) 施工技能職遂行基準確認シートについて
- c) 委員会活動報告書(案)について
- d) 職業能力評価基準(案)について

(2) 審議内容

- a) 全国ブロック理事会意見集約について

全国6ブロックからいただいたご意見を下記の通り報告した。

- ・北海道ブロック：レベル区分の再確認があった
下地塗りの木摺下地部分は大作業のため削除の意見があった
- ・東北ブロック：現状の表現で了承をいただいた
- ・甲信越ブロック：下地塗りの木摺下地部分は大作業のため削除の意見があった
- ・北陸ブロック：現状の表現で了承をいただいた
- ・東海ブロック：現状の表現で了承をいただき、次の言葉をいただいた
「レベル1をレベル2になるまでの指導方法を考えて左官職人として生き甲斐のある人間に育てたい。やる気を起こさせるようにするのが我々の職務であると思います」
- ・四国ブロック：下地塗りの木摺下地部分は大作業のため削除の意見があった
レベル1では「学んでいる」という表現がよい
専門用語を正確に(見上げ面 小口面、すだれ おだれ他)

- ・木本委員から：下地塗りの木摺下地部分は大作業のため削除の意見があった

レベル1では「学んでいる」という表現がよい

その他用語の正確性を指摘いただいた

ブロック理事会意見を基に、施工技能の内容を下記の通り変更した。

「下地塗り」

- ・木摺下地は大作業のため、削除

- ・身近な表現に修正（櫛目をつける 櫛目を引く、目地をつける 目地を取り付ける他）

「床の仕上げ」

- ・身近な表現に修正（コンクリートの固まり具合 コンクリートの締まり具合）

- ・三和土（たたき）のレベル1を「作業の手伝いをする」に表現

「仕上げ塗り壁」

- ・身近な表現に修正（塗布面 塗面、表面をムラなくきれいに 洗いムラのないように他）

- ・表現の統一（規定と所定の混同を所定に）

- ・正確性を期する表現に修正（のりの分量 混和剤の分量、前面除去・ 全面除去・他）

「全体共通」

- ・表現の統一（定木と定規の混同を定木に）

- ・レベル1の表現を「教わりながら～作業をしている」表現にした

b) 施工技能職遂行基準確認シートについて

- ・全国ブロック理事会意見の集約事項を基に修正・変更した遂行基準確認シートを承認した

c) 委員会活動報告書（案）について

- ・施工技能について全国ブロック理事会意見により遂行基準の一部を修正し、活動報告書（案）はそれに付随する部分が変った（施工技能の様式3差し替え）ため、再承認を得た

- ・施工技能職種におけるレベル区分の考え方（目安）を再確認した

d) 職業能力評価基準（案）について

- ・施工技能について全国ブロック理事会意見により遂行基準の一部を修正し、その部分の差し替え確認をして再承認を得た

委員会活動報告書（案）及び職業能力評価基準（案）がホームページにアップするまでは再精査してもらい意見をもらうこととした。

3.3 企業調査

3.3.1 第一次企業調査

(1) 調査の目的・内容

左官工事業の包括的職業能力評価制度を整備するために、第一回委員会のヒアリング対象職種の決定及び評価制度策定方針を受けて、平成16年11月から12月にかけて第一次企業調査を実施した。

企業調査のヒアリング内容は次のとおりである（図表3-1）。

図表3-1 第一次企業調査のヒアリング内容

「左官工事業の人材育成モデル」の区分を基本とし、各企業における状況確認	
1. 左官工事業の業務の流れ確認	
・ 営業、施工、管理一連の流れと役割の確認	
2. 左官工事業の職務遂行基準確認	
・ レベル区分及びキャリアートの設定が適切か	
・ 能力ユニット、能力細目（エレメント）の項目が適切か	
・ 能力細目（エレメント）ごとの遂行基準、内容、表現が適切か	
・ 野丁場、町場の違いは何か	
・ どのような資格が必要か	

(2) 調査対象

日左連から推薦して頂いた下記企業のご協力により、第一次企業調査を実施した（図表3-2）。

図表3-2 第一次企業調査内容

NO	実施日時	企業名	所在地	ヒアリング対象者
1	平成16年11月22日	A社	千葉県	社長
2	平成16年12月2日	B社	茨城県	社長
調査の内容	左官工事業の業務の流れの確認 左官工事業の職務遂行基準の確認			

(3) 調査の結果

第一次企業調査で得られた主な調査結果は以下のとおりである。

1) 左官工事業の業務の流れ確認

「全般」

業種特性として元請受注は殆どなく、ゼネコン等の元請企業からの発注に頼っているのが実状である。

左官業界全体が個人能力依存型だったため、優秀な職長をどれだけ抱えるかで企業評価が決まっていたが、最近の傾向として人材育成の観点から、社員の長所・短所を見極め、外注化の検討とともに、利点を伸ばし欠点を補う教育等の人材育成能力が企業に問われるようになってきた。

これに対応するように、左官工事の成果品がいかに関生活や伝統文化に貢献しているかをPRしたり、業界の底上げを図ったりする企業も増えてきた。

「営業職」

営業専任職を置かず、経営者又は施工管理職がその任を担っている場合が殆どである。営業活動は元請企業へのアプローチが中心となる。

官庁仕事では専門工事としての左官工事業が年々少なくなっている。

民間仕事は健康志向といわれているが、施工単価が高いイメージがあり絶対量の受注確保が難しい。

「施工管理職」

施工管理職の業務は施工計画や工事全体管理が中心となる。施工計画を基に段取りを行い、現場を取り仕切る職長に指示するまでが主な仕事である。職長の職務と重複する部分もあるが、設計図書や金銭面を中心にした総合的管理と、元請や他職種業者との折衝など対外的な対応が中心になっている。

元請・他職種業者と折衝するためには現場知識が必要になるため、施工管理職は殆どが現場経験者である。

その他に、左官工事業は建築工事全体業務の殆どに関わっており、他職種業者との兼合いも重要視されるため、関連する他職種業者等の知識も求められている。

「施工技能職」

現場作業を実施する作業者が施工技能が優れていても、人を使いこなせない場合には職長業務を任することが出来ない。

作業者を使い、現場を取り仕切る任を担うのが職長であり、現場規模や作業人数の大小でも職長に求められる技量が異なってくる。小規模企業では経営者自身が職長となり、現場を取り仕切っているケースも多々ある。

例えば、職長の主な仕事として段取りがあげられるが、左官作業後の養生を如何に効率よく取り、次の作業につなげるかが問われる。

材料は現場状況を把握し、より最適なものを選定しなければならず、市販品を活用するか、調合等を行うかの判断が必要となっている。特に、最近

の傾向として健康志向や環境対応が必要不可欠になりつつあるため、重要要素の一つにあげられている。

「その他職務遂行基準内容の注意点」

今後の左官工事業の方向性を示唆するためにも、健康志向や環境対応をうたう必要がある。

左官工事業では施工技能が中心となるため、専門用語をきつ々簡易な表現を心掛ける。

施工管理職務のレベル１（Ｌ１）の考え方に注意する。職務としてはないが、補助的な役割を担うため表現を考慮して残しておく。

左官工事業では補修という言葉は使わない。

地域により、この工法は顧客ニーズがなく、今後仕事として発生しないものもあるが、ゼロにならない限り考慮しておく。

遂行基準の内容の表現を、「作業をしている」、「作業指示を出している」等のように同じ「作業」でも明確にレベルごとに区別することが望ましい。資格については、作業に直接結びつく資格と、知識上持っていたほうが良い資格との区別をする。国家資格と、講習受講で取得可能な資格、その他の資格等の区別をする。但し、レベル評価の前提ではないと理解すべきである。

２）左官工事業の職務遂行基準確認

「レベル区分及びキャリアルートについて」

施工管理職と現場管理職（職長）に関しては管理面で重複する場合があるため、整理の段階で十分な注意が必要であり、特に経営者自らが職長として現場を担っている場合はそれに該当する。

施工技能職が管理能力を身に付け、職長の任を担う作業者と、技能に特化した作業者に分かれることを考慮する。

施工技能職は、直接営業的な職務には就かないことが実状。

「能力ユニット、能力細目（エレメント）について」

営業専任職がいないため、施工管理職の職務の中で営業職務を表現する。

作業内容を仕事の流れや工法で分けるか、部位で分けるか、これを明確に表現する。

「能力細目（エレメント）ごとの遂行基準、内容、表現について」

- ・能力細目（エレメント）ごとのレベル別表現を、同じ「作業」でも「作業をしている」、「作業指示を出している」等のように明確に区別する。

「野丁場、町場について」

- ・作業に明確な違いがあれば区別する。

「資格について」

- ・作業に直接結びつく資格と、知識上持っていたほうが良い資格との区別をする。

3.3.2 第二次企業調査

(1) 調査の目的・内容

第二回委員会における第一次調査結果に対するご意見、野丁場、町場併用企業並びに外注企業へのヒアリングの必要性が高いとの方針を受けて、平成 17 年 2 月に第二次企業調査を実施した。

ヒアリング調査内容は次のとおりである。(図表 3-3)。

左官工事業の業務の流れ確認を職務別分類し、ヒアリングに望んだ。

図表3-3 第二次企業調査のヒアリング内容

「左官工事業の人材育成モデル」の区分を基本とし、各企業における状況確認	
1. 左官工事業の業務の流れ確認	
・ 共通、施工管理職、現場管理職、施工技能職の一連の流れと役割の確認	
2. 左官工事業の職務遂行基準確認（補強調査）	
・ レベル区分及びキャリアルートの設定が適切か	
・ 能力ユニット、能力細目（エレメント）の項目が適切か	
・ 能力細目（エレメント）ごとの遂行基準、内容、表現が適切か	
・ 野丁場、町場の違いは何か	
・ どのような資格が必要か	

(2) 調査対象

下記企業において、第二次企業調査を実施した（図表 3-4）。

図表3-4 第二次企業調査のヒアリング調査内容

NO	実施日時	企業名	所在地	対象者
1	平成 17 年 2 月 14 日	A 協会	埼玉県	会長 副会長 役員 3 名
2	平成 17 年 2 月 15 日	B 協会	栃木県	会長 副会長 役員 2 名
3	平成 17 年 2 月 24 日	C 協会	神奈川県	会長 副会長 役員 6 名
調査 の 内容	・ 左官工事業の職務遂行基準の妥当性確認			

(3) 調査の結果

第二次調査で得られた主な調査結果は以下のとおりである。

1) 左官工事業の業務の流れ確認

「共通」

耐火、耐震の効果を表現する。

自然素材を含んだ新建材（健康壁）を記述する。

安全、環境の重要性から、「無災害推進と環境保全への取組み」とした。

健康壁や自然素材については、安全、耐久、防火等顧客ニーズに合わせた提案が可能なことを表現した。

「コミュニケーションとチームワーク」は左官仕事の特性を考慮した内容とした。

「施工管理職」

営業活動、見積、契約・請求・精算はL4が主に実施、L3が補佐的な役割という実態から、L2は一部手伝い、L1は学んでいるとした。

工事全体管理、改修、修復計画はL3、L4のみとした。また、改修、修復計画は「日本建築の修復・復元計画」に改めた。

事業主による現場での安全巡視、品質点検を加えた。

下地精度不良の場合、トラブル防止のため覚書を交わすことを加えた。

「施工技能職」

能力ユニット「塗り壁施工の実施」の能力細目先頭に、鏝（こて）塗り技能（左官技能としての能力評価になるため）を追加した。

リシン及び人造石の難易度がL3に相当するとのことで、評価を上げた。

漆喰塗りにおいて汚れて技術評価されることを強調した。

塗り方の基本を鏝（こて）塗り技能に追加した。

能力ユニット「作業管理」を「品質・工程維持」とした。

「現場管理職」

職人の技能を見極めて作業割当てをしていることを加えた。

能力ユニット「施工態度及び人材育成」は仕事に近い表現として「作業班の統率と指導力」に変更し、能力細目も、リーダーシップ、統率と面倒見とした。

材料の特性についての表現で、使用方法と仕様の違いを加えた。

「その他職務遂行基準内容の注意点」

「まねの出来ないのは左官の真似」という表現が職人業界の中に浸透していることを踏まえ、技能表現をL2：技能者は小規模左官施工、L3：熟練技能者は大規模、複雑な左官施工、L4：卓越技能者は伝統左官技法による日本建築（復元・修復含む）の左官施工と明確に区分した。

左官工事業においては、熟練技能者（L3）の能力水準と比べて重要文化財に指定された建物を含む神社、仏閣、純日本建築等を対象にした卓越した能力水準（技能、経験、知識）が求められているため、あえてL4：卓越技能者を設定した。

2) 左官工事業の職務遂行基準確認

「レベル区分及びキャリアルートについて」

レベル1は初心者も該当するため、初心者職務としてレベル1の中にエントリーレベルを設定し、初級者との違いを明確化する。

レベル2には一般作業員から熟練者、職長の補佐的な作業員まで混在するため、人材管理が担える職長の補佐としてサブリーダーを設定し、一般作業員との違いを明確化する。

「能力ユニット、能力細目（エレメント）について」

- ・施工要領書、作業手順書は施工管理職、職長は作成するが、作業員は通常作成しない。

「能力細目（エレメント）ごとの遂行基準、内容、表現について」

レベル3の職長職務には、現場作業の取りまとめに加え指導的な立場を表現する。

熟練技能者、高度技能者（その道のプロ）の表現を別途検討する。

職長の技量を大規模、小規模現場や作業員数等で表現に変化を持たせる。

「野丁場・町場について」

- ・町場作業と野丁場作業とでは作業役割が異なっているため、別々のものとして取扱う。

「資格について」

- ・資格が無く、経験豊富な作業員を考慮し「～相当」という表現も想定する。

「用語について」

専門語としてなじんでいる言葉を使うようにし、専門職以外の人にも理解出来るような説明を付加する。

外来語、カタカナ用語は極力避ける。

第4章 職業能力評価基準の特徴と概要

本章では、今回作成した「左官工事業・職業能力評価基準」の特徴や枠組み、全体構成等について説明する。ここに至るまでの本委員会の活動経過については第3章を参照されたい。

4.1 職業能力評価基準作成の考え方と全体構成

4.1.1 職業能力評価基準の特徴と枠組み

(1) 職業能力評価基準の特徴

「職業能力評価基準」とは、「企業や団体において、労働者が発揮することを期待される仕事上の成果につながる行動と、そのために必要な技能・技術及び知識を職務別に記述したもの」である。

第2章でも述べたとおり、労働移動が活発化する中、企業の人材ニーズと労働者の職業能力とを適切にマッチングさせるためには、双方が“共通言語”として理解でき、内外の労働市場で職業能力を適正に評価できる“ものさし”としての「職業能力評価基準」の整備が必要不可欠となる。

そこで、本基準は、企業や団体で実際に求められる実践的な職業能力を記述の対象としている。また、個々の企業によって異なる職務構成や労働者一人ひとりの職務内容に柔軟に対応できるような枠組みとなっている。特徴としては、以下の4点を挙げることができる。

- a) 社団法人日本左官業組合連合会の協力のもと、全国の主要な企業に対してヒアリング調査を行い、左官工事業界の人材ニーズを踏まえて作成していること。
- b) 仕事を効果的、効率的に遂行するために保有すべき「知識」とどまらず、求められる「技能・技術」及び「成果につながる行動」を具体的に記述していること。
- c) 仕事の内容を一定の単位（能力ユニット）ごとに細分化し、それらを組合せることで、企業ごとの職務構成や労働者一人ひとりの多様な職務内容に対応できること。
- d) 職業能力を評価する基準であると同時に、キャリア形成や能力開発の指針として活用できること。

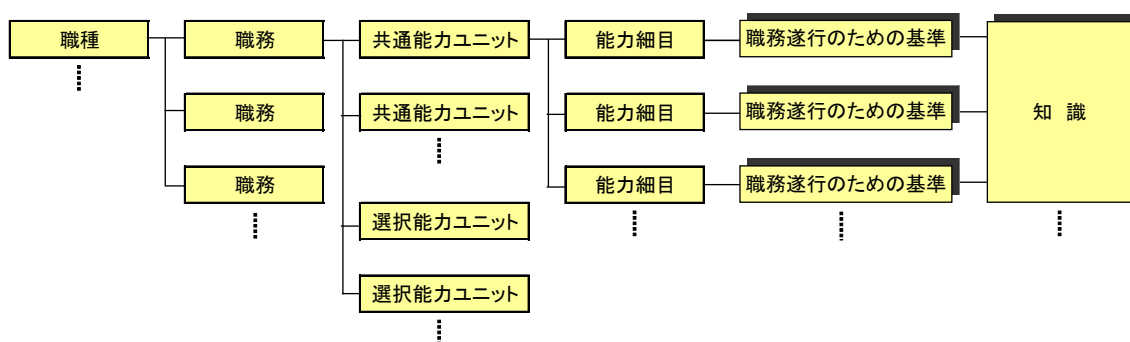
(2) 職業能力評価基準の枠組み

本基準は、「左官工事業にはどのような仕事の種類があり、それらはどのような内容なのか」を明確にするために分析を行い、このデータを基にして「その仕事を遂行するために必要な職業能力」を整理したうえで記述したものである。

しかし、個々の企業の職務構成や、労働者一人ひとりが担っている職務内容は様ではなく、それらを一律に記述することは困難である。そこで、仕事の内容を、「職種」「職務」「課業」とブレイクダウン（細分化）し、課業ごとに求められる職業能力を記述している。そして、この能力記述の単位を「能力ユニット」と呼んでいる。能力ユニットは、共通能力ユニット、選択能力ユニットの2種類に設定されている。

また、能力ユニットはさらに数項目の「能力細目」に細分化したうえで、「職務遂行のための基準」と「知識」を記述している。このように、本基準は（図表 4-1）のような階層をもって枠組みが構成されている。

図表 4-1 職業能力評価基準の枠組み



(3) 職業能力評価基準で用いる用語の定義

「本基準で用いる基本的な用語の定義は以下のとおりである」

職種.....仕事の内容や性質が類似している「職務」をくくったものである。

職務.....概ね1人の労働者が、責任をもって遂行すべき精神的、肉体的活動を要する仕事の集まりのことを指し、1つもしくは複数の「課業」から構成される。

課業.....企業・団体の組織活動に必要な機能や役割を個々の労働者に割当てる際に、有意義に分割しうる最小の活動単位のことである。単なる「作業」や「動作」ではなく、達成すべき目的があり、それ自体が仕事として1つのまとまりをもっている。

能力ユニット.....仕事を効果的、効率的に遂行するために必要な職業能力を、概ね「課業」単位でくくったものである。能力ユニットには、以下の2種類が設定されている。そして、各々の能力ユニットは1つもしくは複数の「能力細目」から構成される。

共通能力ユニット.....職務の別によらず、職種に共通して求められる能力。

選択能力ユニット.....各職務の遂行のために固有に求められる能力。

能力細目.....能力ユニットの内容をさらに細分化したもので、概ね「作業」単位でくくった能力の要素を表している。

職務遂行のための基準.....その「能力細目」の仕事を確実に遂行できるか否かの判断基準となる典型的な行動例や技能・技術を列挙したものであり、いわゆる「コンピテンシー」と呼ばれる行動特性・思考特性をも含んだ内容となっている。

知識.....その「能力ユニット」に対応する課業を遂行するために必要となる、前提としての知識を表している。

なお、ここでは「**仕事**」という用語を、「期待される成果をあげるために、労働者が精神的、肉体的労力を投入する過程」という一般的な意味で用いている。

「左官工事業界で使用される専門用語について」

本基準の記述は以下の用語、呼び方を共通として使用している。必ずしも全ての企業、場面で利用されていると断定できないが、各社、各人の解釈が異なることで、“職務遂行のための基準”の意味が正しく伝わらないことを防ぐために統一的につぎの意味合いで使用している。

用 語	用語の使い方(誰がどんな目的で使用しているかの意味合い)
工事管理	工事が設計図書どおりに契約工期限内に完成するよう元請が行う工事の全体管理をいう。また、品質、予算、作業進捗、工程、安全、資材等から監督指導することをいい、施工管理と同意と理解して大きな問題はないと思われる。 但し、専門工事業でこの用語を使用している企業が多くないため、施工管理という用語を今回は使用することとした。
施工管理 (職務)	施工計画に従って、建設生産手段の要素(品質、原価、工程、安全、環境)の運用を適切に管理して工事を効率的に進めることをいう。 元請が専門工事業者に対して行う施工全般に関わる管理のことをいう場合もあり、工程計画などに基づいて、各々の専門工事についての品質、作業手順、方法、安全などの管理を行うことを指す。 今回は、職長とは別に会社全体の立場で(複数現場を含め)効率的な工事管理を行う仕事に対して使用している。
現場管理 (職務)	施工現場の責任者としての職長が現場運営のために行っている品質、工程、作業進捗、安全、資材等の管理全般をいう。
施工技能 (職務)	施工過程の段取りや、作業管理、下地施工、左官施工、特殊な左官施工などを計画に従って行う作業。
顧客 (設計事務所、元請、発注者)	左官工事業は専門下請工事会社として作業の一部(左官工事)を、主に元請(総合建設工事業、建築工事業、土木工事業等いわゆるゼネコン)から請負うが、一部には設計事務所、個人や法人、官公庁等から直接請負う場合も存在している。従って、それらとその代理人を総称して「顧客」とし、顧客(設計事務所、元請、発注者)と表現している。
積算	見積書に必要となる数量の拾い出しのことであり、材料使用量、労務人工数、作業日数等を算出したもの。
見積書	工事請負金の金額的根拠を明細記入したもので、施工条件、支払条件を伴い金額の内訳が明示されている。
設計図書	顧客の意向や要求品質を盛り込んで作成する構造物の「ありよう」を示すもの。通常、設計図面、仕様書等で構成される。
卓越技能者	卓越した知識と熟練技能を駆使し、文化財等の非常に高度な伝統左官施工技術を要求される現場に対応できる技能を有した技能者(職人)。
取極	施工者が顧客(設計事務所、元請、発注者)と注文書を取交わす前に請負金額、施工条件等の合意を取ること。
注文書	顧客(設計事務所、元請、発注者)と施工者の間で交わす契約文書のことで、一般的には発注書・請書・控で構成される。 下請負工事契約書と同等の契約書類である。

施工計画書	契約条件や設計図書等に基づいて、施工方針、工程計画や具体的な品質計画等を元請が作成し、施主に提出する計画書を一般的に施工計画書と呼ぶことが多い。 官公庁等では(一定規模以上の工事については)提出が義務づけられている。
施工計画	顧客(設計事務所、元請、発注者)の作成する施工計画書を参考にして(準じて)左官工事に関する施工要領書、作業手順書、加工、組立要領等、当該現場での左官作業を進めるための計画書等を総称したもの。 左官工事業が作成し、顧客(設計事務所、元請、発注者)に提出している。
施工要領書	左官工事業が顧客(設計事務所、元請、発注者)に提出するために作成する当該現場における左官施工範囲をはじめ、施工上の精度、安全その他各種の必要作業事項(段取り、使用材料、調合材、原材料品番等)についての「やりよう」(作業方針)であり、顧客(設計事務所、元請、発注者)とはこれに基づいた十分な打合せ確認がなされる。
作業標準(書)	左官工事会社の店社が職種固有の技術、技能を用いての定常的な作業の仕方、進め方(段取りから終業まで)の基準を定めたもので、着工前協議にて使用されることが多い。施工標準(書)と呼ばれる場合もある。
作業手順書	作業標準(書)をより細かく書き表した「作業指示」「作業要領」「基本動作」等からなる作業員の作業基準として職長、基幹技能者が当該現場ごとに作成し、これを基に作業教育するもの。
QCDS	Q(品質)、C(コスト)、D(納期、工程)、S(安全)の施工管理を略してこのように呼ぶ。(E)環境を加えることも多い。
OJT	オンザジョブトレーニング(職場内訓練)の略であり、左官の実作業を通して技法やコツを後輩達に教えていくこと。
作業管理	請負った専門工事範囲の品質、工程、安全、材料、機器等の管理を自主的に実施し、顧客(設計事務所、元請、発注者)から所定の作業を契約どおりに遂行していくこと、及び遂行を実証する活動のこと。現場管理においては現場責任者である職長の役割である。 この遂行内容を記録し報告することにより自主検査になっていく。
左官材料	自然素材を含んだ原材料、調合材、既調合市販品(規格品)等の左官材料全体を意味する。
町場	主に小規模な木造建築を対象にハウスメーカー、工務店、リフォーム会社から左官作業を請負うもの。神社、仏閣などの伝統左官施工を含む。
野丁場	ビル、ホテル等大型コンクリート建築の壁、床のモルタル均し、タイル等の下地、コンクリート打放し薄塗り仕上げを元請(ゼネコン)より請負うもの。
伝統左官	伝統的・日本的左官技能を意味し、主に木舞下地に壁土で、荒壁から中塗まで塗り、色土、色砂、石灰入壁土で上塗りする壁の技能を取上げている。文化財等の歴史的建築物の高度な左官施工技術を要求される現場仕事を含んでいる。
自然素材	自然の土、わら、スサなどを用いて土壁や土塀を作る場合の材料となるもので、地域や施工方法により使用される材料の呼び名など異なることが多い。 今回は標準で使用する仕様書や手順書(日本左官業組合連合会や国交省で定められた仕様書やテキスト等)を参考にして用語を決めた。

塗り壁	塗壁ではなく、塗り壁と表現を統一する。
数量拾い	図面や現場から見積りに必要な施工面積や材料の量を算出すること。
値入れ	積算により算出された各種施工数量に単価をかけて、所要の見込み工事費用を算出し、集計する作業を意味する。
歩掛り	単位施工面積あたりに必要な作業者の人数を労務歩掛りと呼び、ロスを含めた所要材料数量を材料歩掛りと呼ぶ。見積り作業では各社独自にこの歩掛りを作成して原価管理に適用している。また、標準歩掛りも公表されている。
コンクリート打放し薄塗り仕上げ	打設されたコンクリートをそのまま仕上げ表面にする工法の場合、仕上げに補修をするという作業は手直しの意味にも解釈されるため、コンクリートの表面そのものを素地として、それを引き出す薄塗り処置をするという意味で打放し薄塗り仕上げとした。
直か仕上げ	床など直接金鏝（こて）で表面仕上げする意味のこの呼び方を「直仕上げ」ではなく「直か仕上げ」と表示する。
あま	「甘土・冠土（あまつち）」ともいい、ペースト、のろ、泥のこと。セメント・石灰・プラスター等を水だけで練ったペースト状のものを「のろ」といい、塗り付けて浮き出したものを「あま」という。
日本壁（土物壁）	木舞下地に壁土で荒壁から中塗りまで塗り、色土、色砂、石灰入り壁土で上塗りする壁のこと。施工技能職の卓越技能者（レベル4）の能力水準についてこの施工技能を対象としている。
歴史的西洋建築	木造を主体とする歴史的日本建築に対して、明治、大正期に日本に流入したレンガやコンクリート造りの西洋建築を意味する。明治の開国と共にもたらされた石膏やポルトランドセメントを用いて洋風の左官技術である蛇腹引きや天井中心飾りの石膏彫刻を特徴とする。

4.1.2 左官工事業における職業能力評価基準の全体構成

(1) 職業能力評価基準の全体像と対象職務

以上のような枠組みに沿って、左官工事業においては(図表4-2)のような全体像を設計したうえで、職業能力評価基準を作成した。

なお、本社における事務系職種(経営企画、人事・労務・能力開発、法務・総務、経理・財務、情報・事務管理、物流管理等)については、すでに先行して「事務系職種の職業能力評価基準」が作成されていることから、本調査では対象から除外している。

図表4-2 左官工事業における職業能力評価基準の全体構成(様式1)

職 種	職 務	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
施工管理	施工管理				
施工技能	現場管理				
	施工技能				

注1)整備された職務範囲を網掛け部分で表わしている。

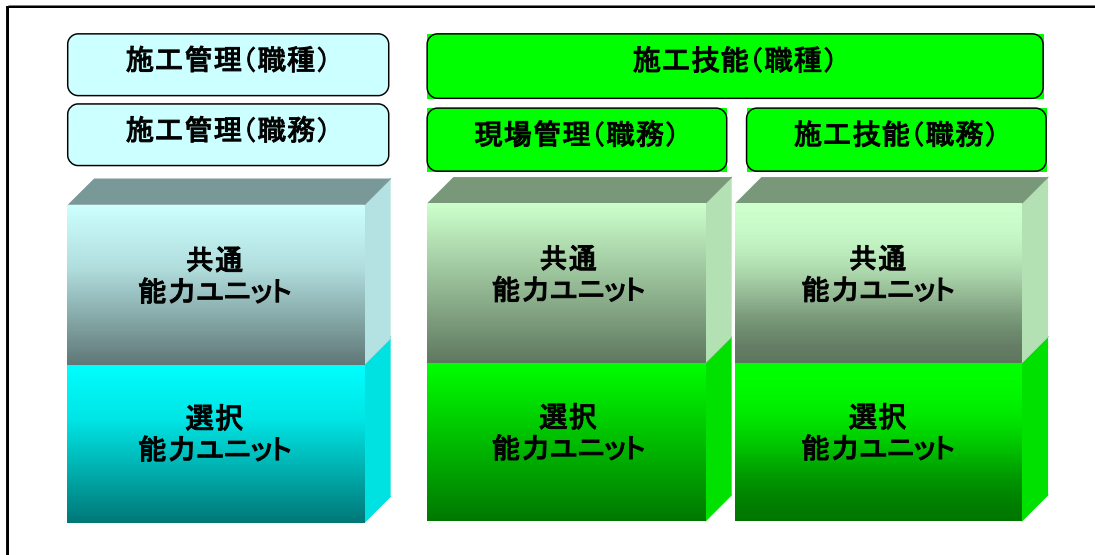
注2)網掛け部分のレベル枠が基準の存在を表わしている。

注3)営業職としての専任がなく、施工管理職種が営業機能を持つと仮説している。

注4)現場管理職務のレベル1と2は、施工技能職種としての共有的内容と仮説している。

また、(図表 4-3)は、今回作成した職種と職務及び共通能力ユニットと選択能力ユニットを一覧形式で示した全体像である。

図表 4-3 左官工事業における能力ユニットの全体像



左官工事業の職種の区分けとして施工管理職種(施工管理職務)、施工技能職種(現場管理職務、施工技能職務)という2職種3職務に分けた。営業と施工管理職務を兼務していたり、施工技能職務を外注していたりする企業もあるが、多様な企業形態にも適用できる組織機能のくくりとなっている。

「共通能力ユニットについて」

「共通能力ユニット」は、左官工事業に携わるものの共通認識として持っていなければならない必須要件であり、施工管理職務、現場管理職務、施工技能職務それぞれの立場で役割が異なる。(企業の社会的責任と関係法令の遵守)(左官仕上げの建築的意義と伝統技法の伝承)(コミュニケーションとチームワーク)(無災害推進と環境保全への取組み)の、計4つのユニットで構成されている。

「選択能力ユニットについて」

施工管理職務の「選択能力ユニット」は、(営業活動及び管理)(見積)(契約・請求・精算)(施工計画書等作成及び打合せ)(施工管理)(工事全体管理)(日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画)の、計7つのユニットを設定している。

施工管理職務の中心は、受注業務になるが、商談の場で出来る、出来ないの判断を常に求められるため、左官の技術、技能を熟知している必要がある。

現場管理職務の「選択能力ユニット」は、(段取り)(作業管理)(材料調合の管理)(下地塗りの管理)(コンクリート打放し薄塗り仕上げの管理)(床の仕上げの管理)(仕上げ塗り壁施工の管理)(粗面仕上げ施工の管理)(作業班の統率及び指導力)(日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理)の、計10のユニットを設定している。

施工技能職務の「選択能力ユニット」は、(段取り作業)(品質・工程維持)(材料調合)(下地塗り)(コンクリート打放し薄塗り仕上げ)(床の仕上げ)(仕上げ塗

り壁施工)(粗面仕上げ施工)(施工態度)(日本建築の自然素材調合)(日本建築の伝統左官施工)(日本建築の修復・復元施工)(歴史的西洋建築の修復・復元施工)の、計13のユニットで構成されている。

施工技能職種の中心は作業と現場監督業務である。左官作業は他職種とボーダレス化が進み、公共工事仕様では左官工事の役割が不明確になりつつあるが、その分他職種作業を含めて総合的に熟知する能力が求められている。伝統左官技能を用いる日本建築の修復・復元施工や伝統左官施工に関しては、仕事場がないため身につけた技術、技能が発揮できないこともしばしば見受けられるが、中には歴史に残るものもあり、技術伝承だけは業界を上げて徹底している。

(2) 職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方

企業において期待される職務を遂行するための基準について、新入社員(新規入職者)相当から部門長、経営者の代理者クラスまでを、レベル1(エントリー)、レベル2(サブ)、レベル3、レベル4と、大きく4つのレベルに区分している。

(図表4-4)。

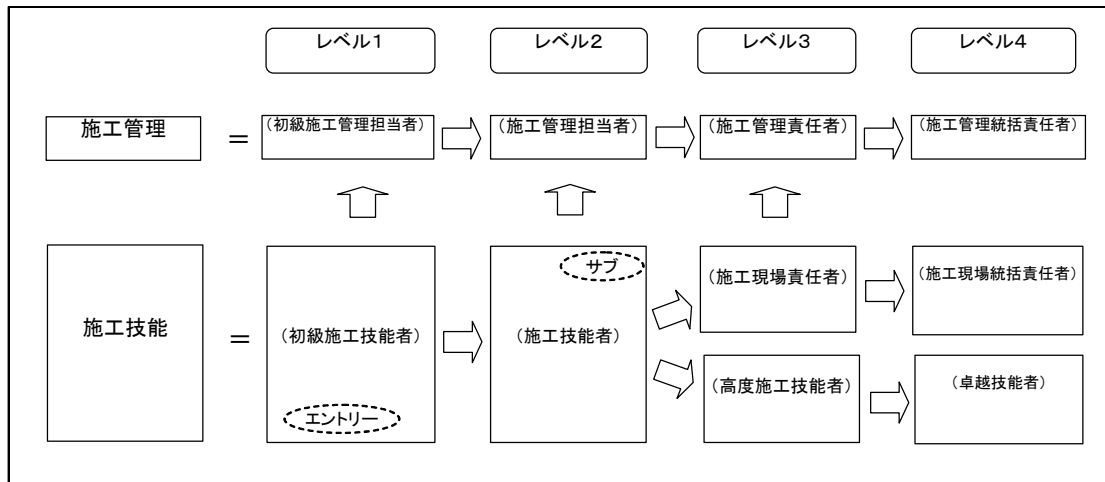
図表4-4 職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方

レベル区分		レベル区分の目安
レベル4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者を補佐し、または経営者の代理として業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 会社全体について方針や政策を立案する業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 経営的な判断および意思決定に参画するために必要な能力水準 ・ 業績を上げるための営業統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 利益を向上させるための工事統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工現場における卓越した知識、技能の統括と全社的施工管理業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 伝統技能の継承者としての誇りと、後継者育成に指導力又は手本を発揮する能力水準 ・ 伝統左官技法の求められる神社、仏閣、純日本建築等の左官施工(修復、復元を含む)を遂行するために必要な卓越した能力水準
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門や職場を統括し、計画的に職務を遂行させるために必要な能力水準 ・ 顧客、他業種等と調整、問題解決をするために必要な能力水準 ・ 与えられた持ち場で管理運営業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 部下や作業班をまとめ、業務を指示し指導するために必要な能力水準 ・ 高度な施工技能を発揮し、顧客から高い信頼を得るために必要な能力水準 ・ 大規模、複雑な施工に対して施工現場で熟練した技能を発揮し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の高い信頼を得るために必要な能力水準
レベル2	サブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上司を補佐し、部分的に作業班への指示、指導業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 技能、経験に基づいて、より高度な業務を遂行するために必要な能力水準 ・ 現場作業において現場管理の一部を遂行するために必要な能力水準
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常業務において適切な判断、アクシデントへの対処、改善ができる能力水準 ・ 打合せに基づいた業務を、指示が無くても自主的に行うために必要な能力水準 ・ 職務に関する専門分野の知識向上及び技能修得を実践していく能力水準 ・ 作業班の一員として小規模施工現場を責任を持って任せてもらうために必要な能力水準
レベル1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準 ・ 部分的に指導を受けながら、定められた手順に従って仕事を遂行するために必要な能力水準 ・ 作業班の一員として上司、先輩の指示を受け、一部を任されて仕事を遂行するために必要な能力水準
	エントリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事、施工技能を覚えていくための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準 ・ 入社後の見習い期間でマスターすることが期待される仕事を遂行するために必要な能力水準 ・ 上司や先輩から逐一指導を受けながら行う仕事を遂行するために必要な能力水準

(3) 職業能力評価基準におけるキャリア形成の例示

本基準では労働者のキャリア形成の参考として左官工事業界で一般的と思われるキャリアパスを例示している(図表4-5)。

図表4-5 キャリア形成の例示



注1) 職務名のカッコ内の例示はサンプルであり、実際とは異なる場合がある。
 注2) 表示の職務名は仕事としてのイメージであり、資格取得が条件ではない。

4.1.3 職種別能力ユニット構成と職業能力評価基準の様式

(1) 職種別能力ユニット構成(様式2)

職業能力評価基準では、個々の企業の職種、職務構成や労働者一人ひとりの職務内容の違いを「能力ユニット」の組合せにより反映できるように、「職種別能力ユニット構成」という形で示している(図表4-6~7)。

前述のとおり「共通能力ユニット」では、職務の別によらず任意のレベルにおいて概ね存在する職業能力を設定している。一方、「選択能力ユニット」は、各職務の遂行のために固有に求められる職業能力を設定している。「選択能力ユニット」は、1つもしくは複数個の能力ユニットを選択する。

これら共通能力ユニットと選択能力ユニットを組合せることにより、個々の労働者の職務内容に応じた職業能力評価基準とすることができる。なお、各能力ユニットには、以下のような考え方で固有の番号を付している。

業 種	選択区分	能力ユニット	レベル範囲
連番の数字2桁で表記。 (左官工事業のコードは19)	英大文字1桁で表記。 C(共通能力ユニット) S(選択能力ユニット)	選択区分内で連番の数字3桁(001~999)。	英大文字Lに続けて、当該ユニットの範囲を数字2桁で示す。 (例1:レベル2)L22 (例2:レベル3~4)L34
<例>施工管理職務 営業活動及び 管理(L3) 19S 002L33 現場管理職務 作業管理(L 3) 19S 024L33 施工技能職務 品質・工程維持(L 3) 19S042L33			

図表4-6 職種別能力ユニット構成(様式2)

職種名	施工管理
仕事内容	左官工事について、顧客(設計事務所、元請、発注者)に対する営業活動に関する積算、契約、請求等の業務をはじめ、施工における購買、原価、工程、品質、環境・安全、資機材管理等、受注から左官工事全般について計画、管理する仕事。伝統建築の修復、住宅のリフォームなどの診断、施工管理業務について計画、管理する仕事。

<共通能力ユニット>

職務	共通能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
職務共通	企業の社会的責任と関係法令の遵守	19C001L11	19C002L22	19C003L33	19C004L44
	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	19C005L11	19C006L22	19C007L33	19C008L44
	コミュニケーションとチームワーク	19C009L11	19C010L22	19C011L33	19C012L44
	無災害の推進と環境保全への取り組み	19C013L11	19C014L22	19C015L33	19C016L44

<選択能力ユニット>

職務	選択能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
施工管理	営業活動及び管理		19S001L22	19S002L33	19S003L44
	見積		19S004L22	19S005L33	19S006L44
	契約・請求・精算		19S007L22	19S008L33	19S009L44
	施工計画書等作成及び打合せ	19S010L11	19S011L22	19S012L33	19S013L44
	施工管理	19S014L11	19S015L22	19S016L33	19S017L44
	工事全体管理			19S018L33	19S019L44
	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画			19S020L33	19S021L44

注) 上記表中の数字はユニット番号を示す。

図表 4-7 職種別能力ユニット構成（様式 2）

職種名	施工技能
仕事内容	左官工事について、施工過程の段取りや作業管理、材料調合、下地施工、左官施工、伝統左官施工などを計画に従って作業する仕事。現場管理職務は、さらに現場の段取りや作業班全体の作業管理なども行う。

<共通能力ユニット>

職務	共通能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
職務共通	企業の社会的責任と関係法令の遵守	19C001L11	19C002L22	19C003L33	19C004L44
	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	19C005L11	19C006L22	19C007L33	19C008L44
	コミュニケーションとチームワーク	19C009L11	19C010L22	19C011L33	19C012L44
	無災害の推進と環境保全への取り組み	19C013L11	19C014L22	19C015L33	19C016L44

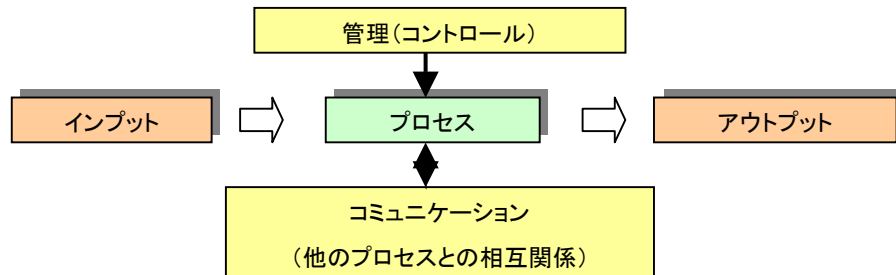
<選択能力ユニット>

職務	選択能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
現場管理	段取り			19S022L33	19S023L44
	施工作業管理			19S024L33	19S025L44
	材料調合の管理			19S026L33	19S027L44
	下地塗りの管理			19S028L34	
	コンクリート打放し薄塗り仕上げの管理			19S029L34	
	床の仕上げの管理			19S030L34	
	仕上げ塗り壁施工の管理			19S031L34	
	粗面仕上げ施工の管理			19S032L34	
	作業班の統率及び指導力			19S033L33	19S034L44
	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理			19S035L33	19S036L44
施工技能	段取り作業	19S037L11	19S038L22	19S039L33	
	品質・工程維持	19S040L11	19S041L22	19S042L33	
	材料調合	19S043L11	19S044L22	19S045L33	
	下地塗り	19S046L11	19S047L22	19S048L33	
	コンクリート打放し薄塗り仕上げ	19S049L11	19S050L22	19S051L33	
	床の仕上げ	19S052L11	19S053L22	19S054L33	
	仕上げ塗り壁施工作業	19S055L11	19S056L22	19S057L33	
	粗面仕上げ施工作業	19S058L11	19S059L22	19S060L33	
	施工態度	19S061L11	19S062L22	19S063L33	
	日本建築の自然素材調合		19S064L22	19S065L33	19S066L44
	日本建築の伝統左官施工		19S067L22	19S068L33	19S069L44
	日本建築の修復・復元施工		19S070L22	19S071L33	19S072L44
	歴史的西洋建築の修復・復元施工				19S073L44

(2) 能力ユニット別職業能力評価基準(様式3)

職業能力評価基準は、プロセスアプローチの視点(図表4-8)に基づいて、職務内容の順序と相互作用を考慮し、能力ユニット、能力細目について構成している。

図表4-8 プロセスアプローチの視点



(図表4-9)(様式3)はその一例であるが、1つの能力ユニットは複数の「能力細目」から構成され、「能力細目」に対して「職務遂行のための基準」と「知識」を記述している。「職務遂行のための基準」とは、技能、技術に加えて、いわゆるコンピテンシーを含んだ基準であり、評価の見極めとなるような典型的な職務行動例を列挙している。また、「知識」欄では、職務遂行の前提として理解しておくべき項目を列挙している。

図表4-9 能力ユニット別職業能力評価基準の一例

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S004L22		
選択 能力ユニット	能力ユニット名	見積
	概 要	設計図書の内容を把握し、積算、見積書の作成及び顧客(設計事務所、元請、発注者)との折衝に関する能力

能力細目	職務遂行のための基準
①見積条件の明確化	○顧客(設計事務所、元請、発注者)が提示した資料や条件と打合せ議事録等に食違いがないかどうか確認し、上司に報告している ○上司の指導を基に、見積に際しての確認事項(作業時期、場所、留意事項、見積提出時期等)を理解した上で、顧客(設計事務所、元請、発注者)から聞き取りしている ○現場踏査を行い、仮設等施工条件に加味できるものを確認し、上司に報告している
②左官施工条件の確認	○上司の指示に基づいて当該現場を訪問し、設計図書と現場条件の照査をしている ○現地確認中に疑問点があればその場で確認しており、必要な回答は文書で受領し上司に報告している ○顧客(設計事務所、元請、発注者)の方針や意向に整合させるよう、施工方法や内容等を品質、原価、工程、安全等の視点から検討した結果を上司に報告している

必要な知識	
1. 左官工事の知識 ・建築基準法関係法令の左官材料調合、下地、仕上げ施工の項目 ・JASS 5(左官コンクリート工事仕様書) ・建築工事標準仕様書の左官工事の項目 2. 積算に関する知識 ・設計図面(設計図、施工図等)からの数量拾い出し ・社内生産性の把握と工数算出 ・公表労務単価と社内労務単価 ・資材等の市況や他社相場	3. 現場調査に関する知識 ・現場踏査の確認ポイント(練り場、置き場、搬入、仮設等) ・施工範囲の内容分析 ・チェックシートからの現場状況把握分析 4. 見積に関する知識 ・見積書の作成 ・見積書からの粗利益把握 ・追加、変更工事用の見積方法 ・物件毎の利益把握 ・工事物件全体の利益計算と決算予測 5. 見積折衝に関する知識 ・対人関係の円滑化 ・ネゴシエーション手法

共通

施工管理

施工技能

4.2 職業能力評価基準の概要とポイント

4.2.1 施工管理職種（施工管理職務）

（1）施工管理職種（施工管理職務）の特徴

施工管理職は、顧客（設計事務所、元請、発注者）やメディア情報等との接点から営業情報を収集し、見積、折衝、契約・請求・精算等の営業活動を行い、受注後は施工打合せに基づいて施工計画を立案し、作業班、材料、入場時の書類等の手配を行う。

（2）施工管理職種（施工管理職務）のレベル区分の考え方

「職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方(P-26・図表4-4)」に基づいて、施工管理職種（施工管理職務）のレベル区分の考え方を当てはめると、（図表4-10）のようになる。

図表 4-10 施工管理職種（施工管理職務）におけるレベル区分の考え方

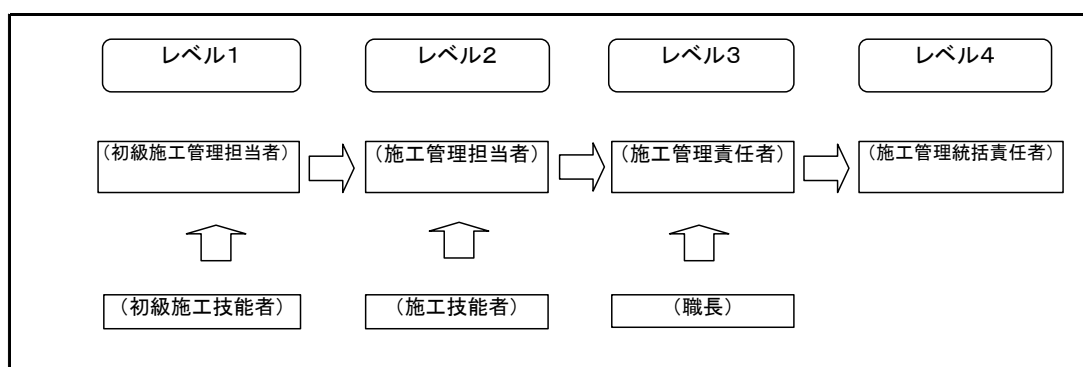
レベル	レベル区分の目安
レベル4	<ul style="list-style-type: none">・ 経営者を補佐し、または経営者の代理として業務を遂行するために必要な能力水準。・ 会社全体について、方針や政策を立案する業務を遂行するために必要な能力水準。・ 経営的な判断および意思決定に参画するために必要な能力水準。・ 業績を上げるための営業統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準。・ 利益を向上させるための工事統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準。
レベル3	<ul style="list-style-type: none">・ 部門や職場を統括し、計画的に職務を遂行させるために必要な能力水準。・ 顧客、他業種等と調整、問題解決をするために必要な能力水準。・ 与えられた持ち場で管理運営業務を遂行するために必要な能力水準。・ 部下をまとめ、業務を指示し指導するために必要な能力水準。
レベル2	<ul style="list-style-type: none">・ 通常業務において、適切な判断、アクシデントへの対処、改善が出来る能力水準。・ 打合せに基づいた業務を指示がなくても自主的に行うために必要な能力水準。
レベル1	<ul style="list-style-type: none">・ 定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準。・ 部分的に指導を受けながら、定められた手順に従って仕事を遂行するために必要な能力水準。

(3) 施工管理職種（施工管理職務）のキャリア形成の例

施工管理職種（施工管理職務）のキャリアは、現場の作業手順や施工技能の管理ポイントも知っておかなければ施工管理が出来ない。そのため、施工技能職種（現場管理職務）を経験してから施工管理職種（施工管理職務）へ移る例が多いようである。最初から施工管理職種（施工管理職務）として採用する場合には、同行等により営業的な活動も行う能力を形成し、現場実習等によって施工管理のポイントを教えながら一人前の施工管理職務へと育成している。施工管理職種（施工管理職務）として一人前と認められるレベル2から、複数現場の管理をしたり、部下の技術上の支援をしたりする能力水準が加わるとレベル3へ進む。レベル4になると、経営的な判断や意思決定に参画し全社的な視点で仕事をし、営業にも施工にも豊富な知識と経験を兼ね備えた経営者の代理として活動する（図表4-11）。

但し、これはあくまでも一般的な例示であり、規模や業態等の個別企業の特性によって差異があることを理解されたい。

図表 4-11 施工管理職種（施工管理職務）のキャリア形成の例

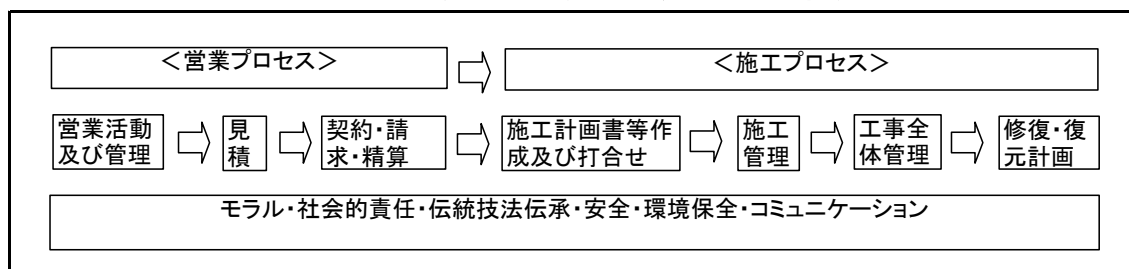


注)職務名のカッコ内の例示はサンプルであり、実際とは異なる場合がある。

(4) 施工管理職種（施工管理職務）の能力ユニット構成

施工管理職種（施工管理職務）には、営業活動や契約業務を主体とした営業プロセスと、施工計画や管理を主体とした施工プロセスがある。仕事の流れとしては、営業活動及び管理、見積、契約・請求・精算、施工計画書等作成及び打合せ、施工管理、工事全体管理、修復・復元計画の7ユニットで構成され、これらは「選択能力ユニット」としてくくられている（図表4-12）。

図表 4-12 施工管理職種の能力ユニット構成



(5) 施工管理職種（施工管理職務）の能力ユニット別職業能力評価基準

「職務遂行のための基準」は、思考、行動特性（コンピテンシー的要素）を含んだ基準であり、評価の見極めとなるような典型的な職務行動例を列挙している。また、「知識」は、職務遂行の前提として理解しておくべき項目を列挙している（図表4-13）。

図表4-13 施工管理職種の能力ユニット別職業能力評価基準の一例

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S008L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	契約・請求・精算
	概 要	現場施工条件を加味して、発注者（注文者）と適切な契約、請求及び精算業務を行う能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①契約	○施工条件に関する取極等が社内契約基準に合致しない場合は、特記事項欄に記載して特殊条件であることや役割分担等を明確にした契約をしようとしている ○月間の作業報告に基づいて顧客（設計事務所、元請、発注者）と作業量をすり合せして、契約条件に従って上司承認のもとに出来高に見合った請求をしている
②請求	○当初に予定した請求、入金額に差が発生している場合は、資金繰り等との関連も考慮して原因分析をし、計画の見直しを実施している ○請求金額よりも少ない入金や、入金遅れ等が発生した場合には、上司の指示のもとに原因確認を行い、顧客（設計事務所、元請、発注者）に連絡、確認している ○追加変更に伴う請求については所定の金額の請求書を作成させて確認しており、特別な事項の発生があれば職長に確認を行うとともに経営者、上司に報告し指示を確認している ○施工図に基づいて実施数量を算出し、上司の指示のもとに顧客（設計事務所、元請、発注者）との精算手続きを実施している
③精算	○作業指示書の内容や職長の報告に基づいて契約外の施工を明確にし、上司に報告している

施工管理

施工技能

必要な知識

1．契約の法的知識 ・建設業法 ・工事請負契約 ・施工体制台帳 ・民法の契約項目 ・契約のトラブル対応	3．契約手続きの知識 ・施工範囲、内容等の取決め ・社内契約基準 ・他工種との関連把握 ・契約書類の不備の発見と是正
2．請求、回収の法的知識 ・商法 ・手形法 ・請求、回収のトラブル対応	4．請求、回収手続きの知識 ・与信管理 ・社内経理基準 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の支払基準 ・債権管理方法

4.2.2 施工技能職種

(1) 施工技能職種の特徴

施工技能職種は、建設現場において図面を見て、段取り、左官作業を実施する技能者であり、初級技能者、技能者、熟練技能者という施工技能職務と、それらの作業班を管理しながら施工を推進する職長、基幹技能者という現場管理職務とに大別される。

(2) 施工技能職種（施工技能職務、現場管理職務）のレベル区分の考え方

「職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方(P-26・図表4-4)」に基づいて、施工技能職種のレベル区分の考え方を当てはめると、(図表4-14)のようになる。

図表4-14 施工技能職種におけるレベル区分の考え方

レベル	レベル区分の目安
レベル4	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場における卓越した知識・技能の統括と全社的施工管理業務を遂行するために必要な能力水準。 伝統技能の継承者としての誇りと、後継者育成に指導力または手本を発揮する能力水準。 伝統左官技法の求められる神社、仏閣、純日本建築及び歴史的西洋建築等の左官施工（修復、復元を含む）を遂行するに必要な卓越した能力水準。
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> 作業班をまとめ、作業を指示し指導するために必要な能力水準。（施工現場責任者） 高度な施工技能を発揮し、顧客からの高い信頼を得るために必要な能力水準。 1級技能士の資格取得者または相当の力量を有する者
サブ	<ul style="list-style-type: none"> 上司を補佐し、部分的に作業班への指示・指導業務を遂行するために必要な能力水準。 技能・経験に基づいて、より高度な業務を遂行するために必要な能力水準。 現場作業において、現場管理の一部を遂行するために必要な能力水準。 2級技能士の資格取得者または相当の力量を有する者
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> 通常業務において適切な判断、アクシデントへの対処、改善が出来る能力水準。 打合せに基づいた業務を指示がなくても自主的に行うために必要な能力水準。 職務に関する専門分野の知識向上及び技能修得を実践していく能力水準。 作業員の一人として小規模施工現場を責任を持って任せられるために必要な能力水準。 2級技能士の資格取得者または相当の力量を有する者
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> 定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準。 部分的に指導を受けながら、定められた手順に従って仕事を遂行するために必要な能力水準。 技能者の一人として、上司、先輩の指示を受けながら、一部を任されて仕事を遂行するために必要な能力水準。
エントリー	<ul style="list-style-type: none"> 仕事、施工技能を覚えていくための、基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準。 入社後の見習いの期間でマスターすることが期待される仕事を遂行するために必要な能力水準。 上司や先輩から逐一指導を受けながら行う仕事を遂行するために必要な能力水準。

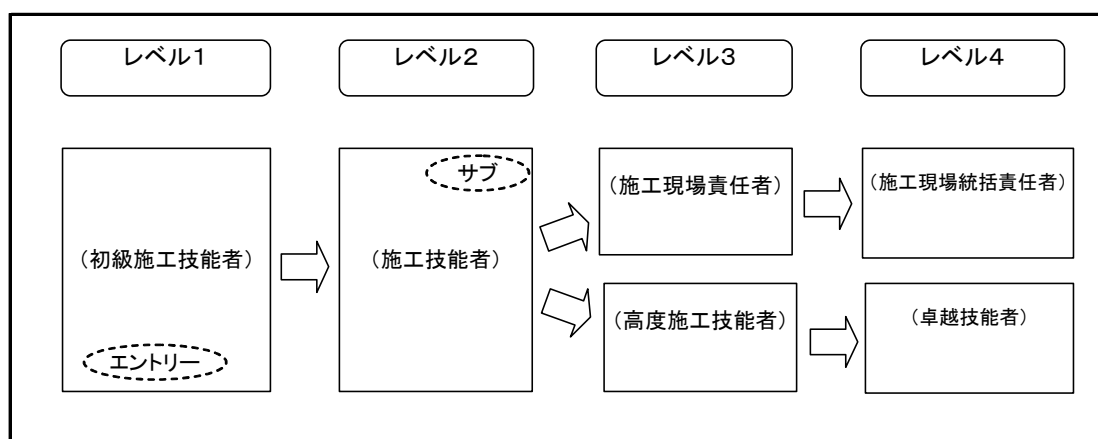
(3) 施工技能職種のキャリア形成の例

施工技能職種のキャリアはレベル1の見習いから始まり、資材の運搬や養生などの簡単な作業から次第に技能等を向上させていく。入職当初は指示を受けて材料の運搬や既調合材料の練り混ぜ等の簡単な作業の手伝いをする。定型的な作業や鋺（こて）使い作業を習得すると、次第に難易度の高い部位の施工技能を学んでいく。そして作業を任されて実施するレベル2へ進む。レベル2の中で作業班をまとめるリーダーシップのとれる作業者はサブとして職長補佐的な仕事を担うことになる。

施工技能職種として一人前と認められるレベル2からレベル3に進む際にはキャリアが2つに分かれる。1つは現場の作業班を管理する職長としての現場管理職務であり、もう1つはベテランとして自工程だけではなく他職種の工程も把握しながら、チームワークを維持しつつ、難しい作業を効率よく出来映えよく遂行していく熟練技能者としての施工技能職務である。

さらに職長のキャリアには指導力やマネジメントを学び、技能と施工管理の両方を兼ね備えた基幹技能者としての施工現場統括責任者がレベル4として位置づけられている。技能者のキャリアにはレベル3の熟練技能者から神社、仏閣、純日本建築等に要求される伝統左官技能を発揮できる卓越した左官技能を有したレベル4がある（図表4-15）。

図表4-15 施工技能職種のキャリア形成の例

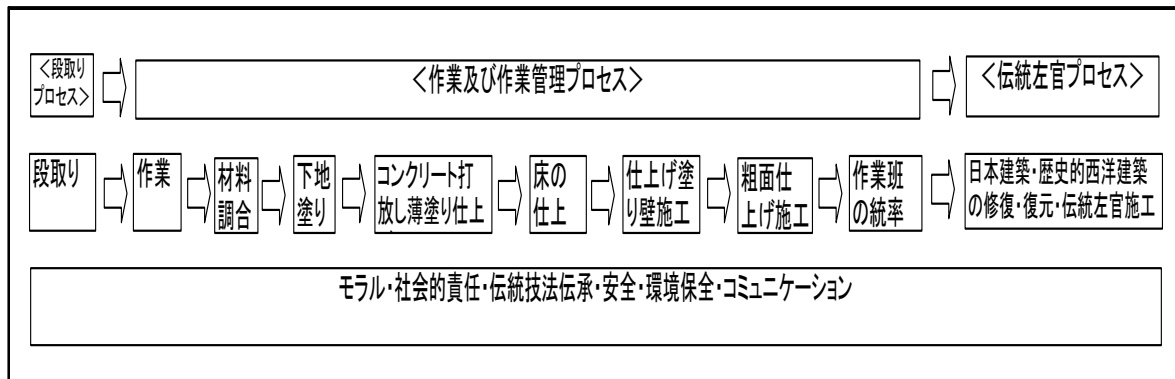


注) 職務名のカッコ内の例示はサンプルであり、実際とは異なる場合がある。

(4) 施工技能職種の能力ユニット構成

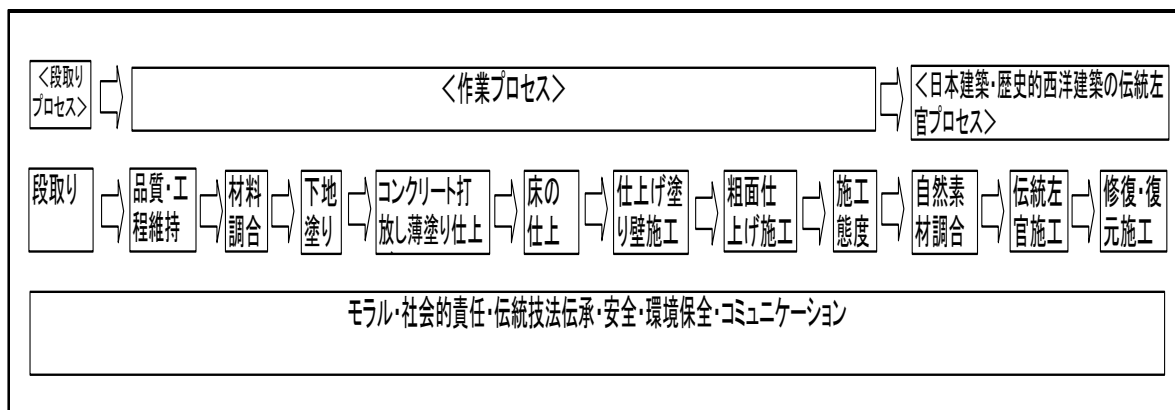
施工技能職種の現場管理職務は、段取り、作業管理、伝統左官プロセスがある。仕事の流れとしては、段取り、作業管理、材料調合の管理、下地塗りの管理、コンクリート打放し薄塗り仕上げの管理、床の仕上げの管理、仕上げ塗り壁施工の管理、粗面仕上げ施工の管理、作業班の統率及び指導力、日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理の10ユニットで構成され、これらは段取り、左官施工、作業管理、作業班の管理が主となり、日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工は特殊な作業と位置づけられている（図表4-16）。

図表 4-16 施工技能職種（現場管理職務）の能力ユニット構成



施工技能職種の施工技能職務は、段取りと作業及び伝統作業がある。仕事の流れとしては段取り作業、品質・工程維持、材料調合、下地塗り、コンクリート打放し薄塗り仕上げ、床の仕上げ、仕上げ塗り壁施工、粗面仕上げ施工、施工態度、日本建築の自然素材調合、日本建築の伝統左官施工、日本建築の修復・復元施工、歴史的西洋建築の修復・復元施工の13ユニットで構成され、これらは段取り、作業（下地・仕上げ等）が主となり、日本建築の修復・復元・伝統左官施工や歴史的西洋建築の修復・復元施工は特殊な作業と位置づけられている。（図表 4-17）

図表 4-17 施工技能職種（施工技能職務）の能力ユニット構成



（5）施工技能職種の能力ユニット別職業能力評価基準

「職務遂行のための基準」は、思考、行動特性（コンピテンシー的要素）を含んだ基準であり、評価の見極めとなるような典型的な職務行動例を列挙している。また、「知識」は、職務遂行の前提として理解しておくべき項目を列挙している。

（図表 4-18～19）

図表 4-18 施工技能職種の能力ユニット別職業能力評価基準の一例

レベル1		レベル2		レベル3		レベル4	
ユニット番号 19S022L33							
選択 能力ユニット	能力ユニット名		段取り				
	概 要		顧客（設計事務所、元請、発注者）又は施工管理職から指示された条件を基に、作業班の事前準備を考え、作業者に指示し確認する能力				
能力細目		職務遂行のための基準					
①入場前準備		○計画された体制と要求される工程から施工の進め方や役割分担等を計画し、作業者に乗込み日等を指示して必要な準備をさせている ○作業者が行った材料の手配（大手は材料支給、地元では左官が手配）、段取り等を確認して不足事項を再指示している ○乗込み前に顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せを行い、要求工程と自社施工体制の整合性を図るとともに、作業の全体把握のための施工計画書を確認している ○乗込み前現場打合せで作業計画等を入手し、作業者に作業指示するとともに、送出し教育の指導をしている ○新しい施工方法等に現場で取組む場合には実作業前に勉強会を開催したり講習会に参加できるように会社に要請している ○工程表、作業手順書等を基に左官作業の流れ等を想定し、作業者に役割分担と作業手順の説明を行っている					
②作業手順等の確認		○作業班の編成の際に、作業員名簿に基づき、役割、責任、分担の確認と作業内容を基に指示をしている ○他職種業者との取合い部分の工程を把握し打合せで円滑な作業ができるように依頼をしている ○工程表、作業手順書等を基に前工程、後工程を確認し、工程遅れが生じる場合の打合せを他職種業者としている ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工上の不具合や健康志向、アレルギー対策等を相談された場合、自工程で出来る方法を検討し顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認を得て作業者に指示をしている					
③現場状況の確認		○＜町場＞作業者に現場作業に必要な準備事項を抽出させて現場で確認し、不備な部分がある場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）に対応依頼するとともに改善策を検討している ○周辺環境や養生等に留意し、作業者の視点と顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示事項に従って事前対策を立てて、作業日誌等に残している ○他職種とのあいばん作業における問題点を顧客（設計事務所、元請、発注者）と解決策を協議して、承認を得たあと作業者に指示を出している ○想定外の作業遅延要件が発生した場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議し、議事録や日報等で明確にして施工管理職に報告している					
④材料、器具・工具の確認		○作業者が管理している器工具類の破損、磨耗等の使用状況を適宜点検し、良好な状態で使用するよう指示している ○作業者から提出された作業に必要な器工具類の申請書を確認し、代替が必要な場合は作業に支障が出ないように手配等を指示している ○＜町場＞ミキサー、マゼラー等作業に必要な現場持ち込み機械類について、作業場所や作業環境の確保のため、事前に顧客（設計事務所、元請、発注者）に承認してもらっている					
⑤作業前の準備		○精度確保が必要な作業等には作業に適した者とともに、必要材料や適切な器工具の正確な使用を指示している ○前工程、後工程の出会い丁場等場合には他職種業者と調整をし作業環境の整備にあっている					
必要な知識							
1. 安全衛生の知識 ・安全装置や保護具の性能及び取扱い ・作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 ・作業手順書（送出し教育用テキストとして） ・安全作業の周知徹底 ・労働安全衛生法による義務としての職長教育 2. 作業段取りの知識 ・左官作業手順（段取り等） ・作業現場乗込み前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等）				・工程表や作業手順書の読解 ・現場作業に必要な準備事項（使用工具や材料等の数量確認） ・現場近隣協定等の周知徹底事項 3. 左官作業の実務知識 ・現場と設計の食い違いの解決 4. 作業関連知識 ・作業の不具合に関する事例 ・新工法や作業改善の事例			

図表 4-19 施工技能職種の能力ユニット別職業能力評価基準の一例

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S054L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	床の仕上げ
	概 要	土間や均しコンクリート、階段モルタル、三和土(たたき)床などの床の仕上げに関し、各部位に合致した適正な作業をする能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①床及び土間 コンクリート 直か仕上げ	○床コンクリート面の表面レイタンス、泥、ゴミ等を取り除き、清掃を入念に行って、水洗いしている ○仕上げ用の基礎墨を確認し、所定の水勾配かどうか確認している ○コンクリート直か仕上の場合、コンクリート打設後、所定の高さに荒均し、タンピング定木ずりして平坦に敷均している ○コンクリート面が締まってきたタイミングを感じとり、木鏝(こて)を用いて、中むら取りをしている ○コンクリートの締まり具合から最終金鏝(こて)仕上げの時期を判断している ○タイミングよい時期に適度な力で最終仕上げをしている
②床、階段 モルタル 仕上げ	○下地コンクリートの不陸部分を作業手順に従って手本となるような要領でモルタル調整し、表面に櫛目を引いている ○内部モルタル塗りの場合には、張り物下地(じゅうたん、カーペット、Pタイル)になることを考慮して不陸、鏝(こて)むらが目立たない精度の高い均し仕上げをしている ○塗り、均し面積に応じたスピードで、均し定木ずりや機械鏝(トロウエル)を活用し、手本となる作業を示している ○外部床モルタル仕上げの場合には、目地切り、水勾配、他の仕上げの取合いを考慮して、均し面積に応じたスピードで精度の高い均しをしている ○施工区画の歩行動線を事前に決めて塗継ぎのない作業の手本を示している ○塗付け後の散水養生期間を守り、亀裂や剥離を生じさせない作業の注意項目を熟知して職長から判断を任されている
③セルフ レベリング による 均し仕上げ	○石膏系とセメント系の2種類の材料特性(石膏系は耐水性に乏しい)に応じた使い分けをしている ○下地の状態、処理を確認後、打設スピードに合わせて練混ぜを指示している ○トンボを用いて打設を行い、打継ぎ部はタッピングにより、新旧の材料を馴染ませて いる ○打設後の養生を仕様書(手順書)を守り、硬化後のひび割れ、不陸、気泡跡を生じさせないコツを体得しており、不陸やムラの補修方法を熟知している
④三和土 (たたき) 床仕上げ	○＜町場＞山土(山砂利)に石灰等を混ぜて枠の中で均し、要領よくつき固め作業の手本を示している ○深草砂利、消石灰、ニガリを使用して、風流に数寄屋建築や茶室の土間、軒下に施工している

施工管理

施工技能

必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 2. 左官工事の施工、専門知識 ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイト、プaster、石膏プaster、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・床仕上げ面積と作業スピードの関係 ・人員の配置と作業動線の関連知識	・仕上がり面の精度の点検方法 ・天候、施工条件による作業変更(養生期間、塗り方の順序等)の知識 3. 下地塗りの作業知識 ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 4. 建築関連の知識 ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	---

4.2.3 職務概要

利用者の利便性を考慮して、施工管理職務、現場管理職務、施工技能職務の「職務概要書」を作成している。1 職種に 1 枚のシートを作成し、職務の概要、仕事の内容、求められる経験、能力、関連する資格、検定等、労働省職業分類（小分類）との対応を記述している（図表 4-20 参照）。

図表 4-20 職務概要書の一例

左官工事業「施工管理職務」		
【概要】		
顧客（設計事務所、元請、発注者）に対しての受注活動、積算・契約・請求等の営業関連業務をはじめ、顧客品質を確保するために顧客との打合せを行い、施工過程の出来映えや工程、原価、安全などの施工管理全般や他職種業者等との折衝や協議を含めて統括管理する仕事。		
【仕事の内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ・自社の技術力や施工実績を把握し、対象工事に求められる左官技術や伝統的な技術、用途に整合した左官材料等の知識を活かし、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対して見積、作業計画を提示しながら受注に向けた折衝活動を行う。 ・構造物の構造を理解して適合する左官施工や使用材料、仕上がり等の知識を活かし、柱、梁、壁、床板、開口部、階段等の各部位における顧客要求事項どおりに構築するための左官施工全般を管理することが仕事の内容である。 ・具体的には、施工場所や作業環境を考慮した施工方法の検討、提案、品質、原価、工程、安全などの計画・管理、作業班の手配や顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要請や周知事項の伝達等を現場の職長（施工現場責任者）等と連携しながら実施する。 		
【求められる知識・経験】		
<p>（１）営業活動を行うためには、顧客（設計事務所、元請、発注者）から健康、環境に関する左官メリットなど基本的要件や施工提案を求められるため、相応な材料特性やそれに関する施工技能知識が不可欠である。</p> <p>（２）施工管理業務や職長等と打合せをするためには、施工管理の実務知識（歩掛りや作業手順等）が必要とされる。また、施工現場の全体像把握とその中での左官の工程、他職種との取り合い、施工の進捗による材料の手配、管理及びそれに関わる移動、搬入、搬出等も実務的に知っていなければならない。</p> <p>施工管理者として、営業的な業務、施工業務を掌るためには一定の実務経験のほか各種関連資格を取得していることが望ましい。</p>		
【関連する資格・検定等】		
<p>職業能力開発促進法に基づく技能検定（厚生労働省、中央職業能力開発協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官技能士（１級、２級）等 <p>労働安全衛生法に基づく資格（都道府県労働局安全課、都道府県労働基準協会連合会、安全衛生技術センター、安全衛生技術試験協会、都道府県労働災害防止協会 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許試験による資格：クレーン運転士（吊り上げ荷重５トン以上） 移動式クレーン運転士（吊り上げ荷重５トン以上） ガス溶接作業主任者 職業訓練指導員（職業能力開発促進法第２８条第３項）の免許 等 ・技能講習による資格：玉掛け技能講習修了者（１トン以上） 小型移動式クレーン運転技能講習修了者（吊上げ荷重１トン以上５トン未満） 床上操作式クレーン運転技能講習修了者（吊り上げ荷重５トン以上） 高所作業車運転技能講習修了者（作業床の高さ１０ｍ以上） ガス溶接技能講習修了者（可燃ガス、酸素を用いる） 等 ・特別教育による資格：５トン未満のクレーン運転特別教育（吊り上げ荷重５トン未満） 研削砥石取替え特別教育 玉掛け作業（１トン未満） 職長・安全衛生責任者教育 等 <p>国土交通省が要件とするあるいは推奨している資格（建設業振興基金、全国建設研修センター、基幹技能者運営団体連絡協議会 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹技能者 ・建築施工管理技士（１級、２級） ・土木施工管理技士（１級、２級） 等 		
【平成１１年改訂・労働省職業分類（小分類）との対応】		
05 建築・土木・測量技術者	051 建築技術者	052 土木技術者
77 建設作業者	774 左官	

第5章 今後の課題と展望

5.1 職業能力評価基準の活用・普及へ向けた取組み

今回作成した職業能力評価基準をいかに活用し、社会的に普及を図っていくか、このことが、今後の大きな課題といえよう。この点に関して、企業での活用方法、行政としての政策展開、その他の機関での活用に分けて列挙する。

5.1.1 企業内での活用方法

(1) 職業能力評価基準を活用する際の基本的な考え方

本基準は、できる限り多くの企業に活用してもらいたいという観点から、汎用性に富んだ網羅的な記述となっている。そこで、本基準を各企業で有効活用するためには、以下のように自社の実状に合うように一部を削除したり、追加したり、あるいは組替えたりといった若干のカスタマイズが必要となる。これらの点が本基準の活用上の課題であるが、逆に言えば、このような柔軟性を持ち合わせていることが本基準の大きな特長ともいえよう。

a) 職務や能力ユニットの削除

自社に存在しない職務や能力ユニットがある場合には、それらを削除すること、逆に言えば、自社にとって必要な職務や能力ユニットのみをピックアップする作業が必要となる。

b) 職務や能力ユニットの追加

逆に、本基準にはない職務や能力ユニットが自社に存在する場合には、それらについて新たに職業能力評価基準を作成して、追加するという作業が必要になる。

その際には、本基準の中で類似している職務や能力ユニットを参考にしながら作成すると、効率的に作業することができる。

c) 職務や能力ユニットの組み替え

例えば、本基準では、「施工管理」と「施工技能」の2職種を「施工管理」「現場管理」「施工技能」という3つの職務に区分しているが、企業によってはこの複数の業務を1人の従業員が担当している場合もある。このような場合には、職務単位、能力ユニット単位で本基準を組み替えることによって、自社の職務区分の実状に合わせることが可能となる。

また、本基準ではレベル1からレベル4まで各レベルを比較的幅広く設定してある。しかし、職務等級制度にせよ職能資格制度にせよ、あるいはそれ以外の資格制度を採用しているにせよ、実際の企業での資格等級はもっと細かく設定されているものと想定される。

そこで、本基準を自社の資格制度に1対1の関係で対応させる場合には、「職務遂行のための基準」の記述を拠り所として本基準の各レベルをいくつかに分けるなどのカスタマイズが必要となる。

(2) 職業能力評価基準活用のポイント

次に、本基準を活用する主な目的・用途別に、活用に当たってのポイントや留意点を挙げる。

a) 自社の職務記述書や職能要件書の能力要件として活用する場合

能力細目ごとに記述している「職務遂行のための基準」は、その職務を確実に遂行できるか否かの判断基準となる典型的な行動例を列挙している。そこで、本基準を“たたき台”とすることによって、職務等級制度における「職務記述書」をより具体的で成果志向の強い記述とすることが可能となる。

また、職能資格制度を導入している企業では、「職能要件書」の能力要件が抽象的な表現となっているために、従業員の能力評価を困難で曖昧なものにしていることがよく指摘される。その結果、能力評価が適正に行われず、現実的には年功序列的な運用に陥りがちである。

さらに、近年、成果主義的な人事・賃金制度を導入する企業が増えているが、こうした企業からも、例えば評価項目や評価基準が従業員に公開されておらず評価の透明性に欠ける、上司の評価方法が公平ではなく納得性に疑問が残るなど、さまざま問題点が、ここ数年で指摘され始めている。

このような問題の解消のためには、本基準の「職務遂行のための基準」を有効に活用することによって、自社の職能要件書の能力要件を保有能力ベースの表現から発揮能力ベース、行動ベースの表現に置き換えることを検討されたい。

b) 従業員を採用する際の適性判断の基準として活用する場合

従業員を採用する場合には、まずどのような人材が欲しいかを明確にする必要がある。ただ漠然と“優秀な人材”が欲しいと言っても、自社にとってどのような人材が“優秀”なのかを明確にしなければ、採用活動は成功しない。

そこで、例えば「顧客ニーズをうまく引き出して新たなビジネスチャンスを開拓できる営業担当者」を“優秀な人材”と定義したならば、本基準の「職務遂行のための基準」をベースにして、その“優秀さ”を行動レベルで具体化する。

そのうえで採用面接を行い、「顧客の抱えるニーズを捉えるために、あなたならどのような行動を取りますか?」「今までの営業経験において最も成功した商談について、何を考え、実際にどのような行動をとったのか、そのような行動をとった理由を、説明してください」などの質問を投げかければ、応募者の職業能力、特に行動特性・思考特性を浮き彫りにすることができる。

c) 従業員の配置や人事異動の際の判断基準として活用する場合

従業員の配置・異動に関しては、もっぱら企業側のニーズに基づく人事異動以外に、職務内容・募集人数・能力要件などの条件を求人情報として明示し、全社から広く適任者を募集する「社内公募制度」なども増えている。

このような社内での人材流動化に際しても、本基準は大きな威力を発揮する。すなわち、職務単位で「職務遂行のための基準」と「知識」を明確に示すことによって、企業側の人材ニーズと従業員の職業能力とのミスマッチは減少するとと思われる。

d) 従業員のキャリア形成や能力開発の指針として活用する場合

本基準は、その名のとおり従業員の職業能力を適正に評価するという役割をもっているが、加えてキャリア形成や能力開発の指針としても活用できる。

例えば、従業員教育のための研修プログラムを開発するような場合には、本基準の「職務遂行のための基準」や「知識」を参考にすれば、どのような職業能力をどのレベルまで開発すべきかが極めて明確になる。

また、人事考課の結果や目標管理の達成度について、上司と部下が面談などをする際にも、本基準をベースとして事実に基づいた話し合いをすることによって、お互いに感情論に陥らず、有効なコミュニケーションを図ることができる。

e) 従業員の処遇決定の基準として活用する場合

前述のとおり、年功序列的な運用に陥った人事・賃金制度を改め、半年や1年間といった一定期間に発揮した貢献度に基づいて処遇する成果主義人事・賃金制度を導入する企業が増加している。そこで、本基準を従業員の賃金や昇進・昇格など処遇の基準として活用することも考えられる。

ただし、従業員の処遇決定にあたっては、職業能力の評価に加えて、業績考課の結果、意欲・態度といった情意考課の結果、あるいはいわゆるアセスメント研修における評価など、他の評価項目も含めた総合的な判断が不可欠である。その意味で、本基準を処遇の基準として活用する際には、入念な制度設計と慎重な運用が求められる。

5. 1. 2 行政としての政策展開

本基準が社会的に普及していくためには、例えば以下のような国を挙げた取り組みが期待される。

(1) 職業能力評価ツールの開発とハローワーク等における活用

本基準を土台とした職業能力評価ツールを活用することによって、ハローワーク等の労働力需給調整機関において、円滑な就職に結びつくよう、労働者と企業の双方が職業能力を明確に示すことができるようになること。

(2) 公共職業訓練のコース設定への反映

公共職業訓練の対象者の能力レベル表示や修了時の能力評価に本基準や上記の職業能力評価ツールが活用されること。また、公共職業訓練のコースの設定や見直しに際して、本基準の内容が反映されること。

(3) その他

例えば、インターネット上で本基準を公開すること、ジョブカフェ（都道府県が設置する若年者のためのワンストップサービスセンター）やキャリア・コンサルタントによるコンサルティングの充実に活用すること、なども本基準の活用・普及に資するものと考えられる。

5.1.3 その他の機関での活用

労働市場においては失業率が全般的に一時期に比べて低下してきているものの、ニートと呼ばれる若年者が増大するなど大きな社会問題を抱えている。こうした現状を打破するため、政府は平成 15 年に「若者自立・挑戦プラン」を策定し、若年者を中心とした総合的な人材対策を強化するために、政府・地方自治体、産業界、教育界が一体となって取り組む必要性を説いてきた。厚生労働省も、「若年者就職基礎能力支援事業」(略称：YES-Program)に着手し、若年者の就職基礎能力修得の目安を学歴別(高校卒レベル/大学卒レベル)に提示するとともに、若年者が修得した能力を証明しようとする試みを実施している。

このような状況を鑑みれば、若年者に対する職業能力開発・評価は喫緊の課題であり、専門学校や短大・大学、その他の教育訓練機関が学生やフリーターなどに職業教育を行う際にも、本基準の内容が反映されることが期待される。

5.2 職業能力評価基準の維持・管理のための仕組みづくり

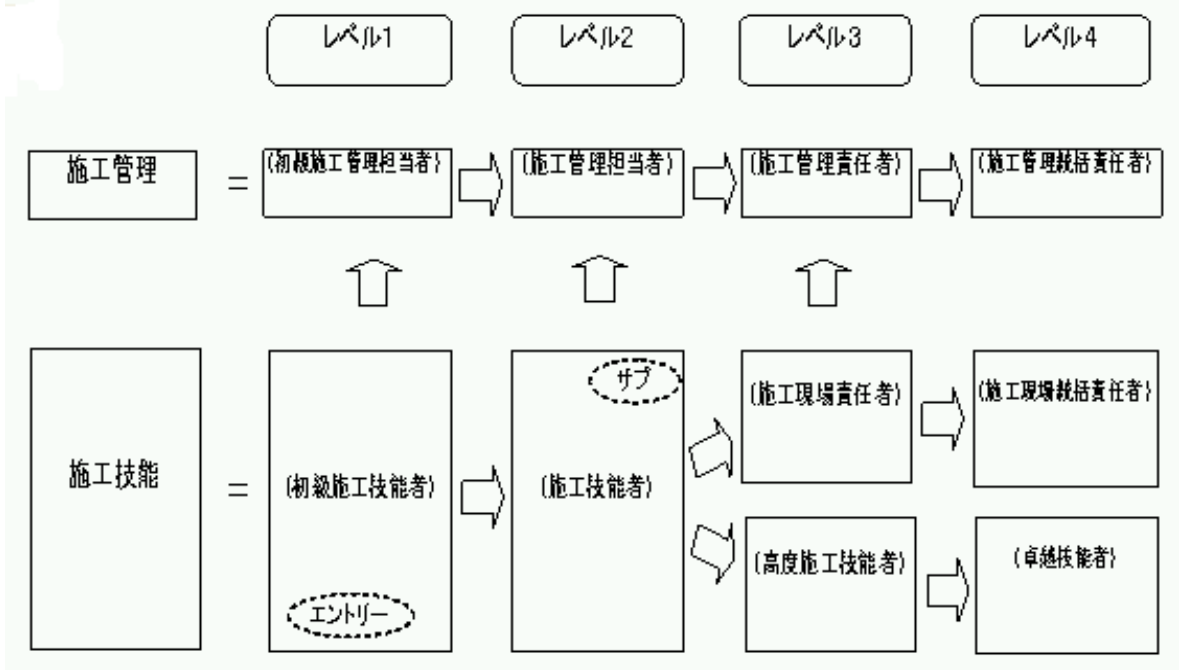
職業能力評価基準は、その時々 of 経営環境において求められる能力要件を的確に整理したものでなければならない。市場環境が変化すれば、業界の課題や求められる能力要件も変化する。本基準は、左官工事業界の実情を最大限に踏まえて作成しているが、活用・普及を図ることと並んで、今後の職務内容の変化に対し、本基準のメンテナンスの仕組みを整備していくことも極めて重要な課題といえる。

**「左官工事業」
職業能力評価基準**

1. 職業能力評価基準におけるレベル区分の考え方

レベル	レベル区分の目安
レベル4	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営者を補佐し、または経営者の代理として業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 会社全体について方針や政策を立案する業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 経営的な判断および意思決定に参画するために必要な能力水準。 ● 業績を上げるための営業統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 利益を向上させるための工事統括管理的な業務を遂行するために必要な能力水準。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工現場における卓越した知識、技能の統括と全社的施工管理業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 伝統技能の継承者としての誇りと、後継者育成に指導力または手本を発揮する能力水準。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統左官技法の求められる神社、仏閣、純日本建築等の左官施工（修復、復元を含む）を遂行するために必要な卓越した能力水準。
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ● 部門や職場を統括し、計画的に職務を遂行させるために必要な能力水準。 ● 顧客、他業種等と調整、問題解決をするために必要な能力水準。 ● 与えられた持ち場で管理運営業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 部下や作業班をまとめ、業務を指示し指導するために必要な能力水準。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な施工技能を発揮し、顧客から高い信頼を得るために必要な能力水準。 ● 大規模、複雑な施工に対して施工現場で熟練した技能を発揮し、顧客（設計事務所、元請、発注者）の高い信頼を得るために必要な能力水準。
レベル2（サブ）	<ul style="list-style-type: none"> ● 上司を補佐し、部分的に作業班への指示、指導業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 技能、経験に基づいて、より高度な業務を遂行するために必要な能力水準。 ● 現場作業において現場管理の一部を遂行するために必要な能力水準。
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常業務において適切な判断、アクシデントへの対処、改善が出来る能力水準。 ● 打合せに基づいた業務を指示が無くても自主的に行うために必要な能力水準。 ● 職務に関する専門分野の知識向上及び技能修得を実践していく能力水準。 ● 作業班の一員として小規模施工現場を責任を持って任せってもらうために必要な能力水準。
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ● 定型的または基本的な仕事を遂行するために必要な能力水準。 ● 部分的に指導を受けながら、定められた手順に従って仕事を遂行するために必要な能力水準。 ● 作業班の一員として上司、先輩の指示を受け、一部を任されて仕事を遂行するために必要な能力水準。
レベル1（エントリー）	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事、施工技能を覚えていくための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準。 ● 入社後の見習い期間でマスターすることが期待される仕事を遂行するために必要な能力水準。 ● 上司や先輩から逐一指導を受けながら行う仕事を遂行するために必要な能力水準。

2. 左官工事業におけるキャリア形成の例



3. 左官工事業における職業能力評価基準の全体構成(様式1)

職 種	職 務	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
施工管理	施工管理				
施工技能	現場管理				
	施工技能				

©厚生労働省

注1)整備された職務範囲を網掛け部分で表わしている。
 注2)網掛け部分のレベル枠が基準の存在を表わしている。
 注3)営業職としての専任がなく、施工管理職種が営業機能を持つと仮説している。
 注4)現場管理職務のレベル1と2は、施工技能職種としての共有的内容と仮説している。

4. 職種別能力ユニット(様式2)

左官工事業「施工管理職種」能力ユニット一覧（様式2）

職種名	施工管理
仕事内容	左官工事について、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対する営業活動に関する積算、契約、請求等の業務をはじめ、施工における購買、原価、工程、品質、環境・安全、資機材管理等、受注から左官工事全般について計画、管理する仕事。伝統建築の修復、住宅のリフォームなどの診断、施工管理業務について計画、管理する仕事。

＜共通能力ユニット＞

職務	共通能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
職務 共通	企業の社会的責任と関係法令の遵守	19C001L11	19C002L22	19C003L33	19C004L44
	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	19C005L11	19C006L22	19C007L33	19C008L44
	コミュニケーションとチームワーク	19C009L11	19C010L22	19C011L33	19C012L44
	無災害の推進と環境保全への取り組み	19C013L11	19C014L22	19C015L33	19C016L44

＜選択能力ユニット＞

職務	選択能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
施工 管理	営業活動及び管理		19S001L22	19S002L33	19S003L44
	見積		19S004L22	19S005L33	19S006L44
	契約・請求・精算		19S007L22	19S008L33	19S009L44
	施工計画書等作成及び打合せ	19S010L11	19S011L22	19S012L33	19S013L44
	施工管理	19S014L11	19S015L22	19S016L33	19S017L44
	工事全体管理			19S018L33	19S019L44
	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画			19S020L33	19S021L44

注) 上記表中の数字はユニット番号を示す。

左官工事業「施工技能職種」能力ユニット一覧（様式2）

職種名	施工技能
仕事内容	左官工事について、施工過程の段取りや作業管理、材料調合、下地施工、左官施工、伝統左官施工などを計画に従って作業する仕事。現場管理職務は、さらに現場の段取りや作業班全体の作業管理なども行う。

<共通能力ユニット>

職務	共通能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
職務共通	企業の社会的責任と関係法令の遵守	19C001L11	19C002L22	19C003L33	19C004L44
	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	19C005L11	19C006L22	19C007L33	19C008L44
	コミュニケーションとチームワーク	19C009L11	19C010L22	19C011L33	19C012L44
	無災害の推進と環境保全への取組み	19C013L11	19C014L22	19C015L33	19C016L44

<選択能力ユニット>

職務	選択能力ユニット名	L1	L2	L3	L4
現場管理	段取り			19S022L33	19S023L44
	施工作業管理			19S024L33	19S025L44
	材料調合の管理			19S026L33	19S027L44
	下地塗りの管理			19S028L34	
	コンクリート打放し薄塗り仕上げの管理			19S029L34	
	床の仕上げの管理			19S030L34	
	仕上げ塗り壁施工の管理			19S031L34	
	粗面仕上げ施工の管理			19S032L34	
	作業班の統率及び指導力			19S033L33	19S034L44
	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理			19S035L33	19S036L44
施工技能	段取り作業	19S037L11	19S038L22	19S039L33	
	品質・工程維持	19S040L11	19S041L22	19S042L33	
	材料調合	19S043L11	19S044L22	19S045L33	
	下地塗り	19S046L11	19S047L22	19S048L33	
	コンクリート打放し薄塗り仕上げ	19S049L11	19S050L22	19S051L33	
	床の仕上げ	19S052L11	19S053L22	19S054L33	
	仕上げ塗り壁施工作業	19S055L11	19S056L22	19S057L33	
	粗面仕上げ施工作業	19S058L11	19S059L22	19S060L33	
	施工態度	19S061L11	19S062L22	19S063L33	
	日本建築の自然素材調合		19S064L22	19S065L33	19S066L44
	日本建築の伝統左官施工		19S067L22	19S068L33	19S069L44
	日本建築の修復・復元施工		19S070L22	19S071L33	19S072L44
	歴史的西洋建築の修復・復元施工				19S073L44

5. 能力ユニット別職業能力評価基準(様式3)

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C001L11

共通 能力ユニット	能力ユニット名	企業の社会的責任と関係法令の遵守
	概要	職業人としての社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守しながら誠実、公正に職務を遂行する能力と取組み姿勢

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①法令・諸ルール等の把握	<p>○職業人としての社会的責任感を持って仕事に取り組んでいる</p> <p>○企業の社会的責任についての知識と自覚を有している</p> <p>○会社の企業理念、経営方針、社訓、社是等の概要を把握している</p> <p>○会社や現場の就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての概要を理解している</p> <p>○日常業務に関連する法的または倫理的な事項について、過去の問題となった具体例(事例)を知っている</p>
②法令・諸ルール等の遵守	<p>○会社や現場の倫理規定や就業規則等の諸ルールを遵守している</p> <p>○公私の区別は明確にしている</p> <p>○日常業務の遂行において法的または倫理的な問題に直面した際は、一人で悩まずに上司や同僚に率直に相談し、よりよい問題解決を図っている</p>

施工管理

施工技能

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> 顧客(元請、発注者)の作業所規則 新規入場者教育の意味、近隣協定 2. 企業内諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> 就業規則の理解 労働関係法令と就業管理 3. 法令に関する知識、建設業法 <ul style="list-style-type: none"> 労働基準法 建築基準法 民法 PL法・リサイクル法 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C002L22

共通 能力ユニット	能力ユニット名	企業の社会的責任と関係法令の遵守	共通
	概要	職業人としての社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守しながら誠実、公正に職務を遂行する能力と取組み姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①法令・諸ルール等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○職業人としてのプロ意識や社会的責任感を持って仕事に取り組んでいる ○企業活動の基本的な目的と役割を理解している ○自社の事業、顧客及び利害関係者との関係を理解している ○企業の社会的責任についての知識と自覚を有している ○会社の企業理念、経営方針、社訓、社是等の内容を把握している ○会社や現場の就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての内容を理解している ○日常業務に関連する法的または倫理的な事項について、過去の問題となった具体例(事例)を知っている 	
②法令・諸ルール等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○会社や現場の倫理規定や行動規範等を把握し、日常の業務遂行において実践している ○公私の区別は明確にしている ○部下・後輩の倫理的な相談に対して適切な助言を与えとともに、解決に向けて一緒に取り組んでいる 	

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客(元請、発注者)の作業所規則 ・新規入場者教育の意味、近隣協定 2. 企業内諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の理解 ・労働関係法令と就業管理 3. 法令に関する知識、建設業法 <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準法 ・建築基準法 ・民法 ・PL法・リサイクル法 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C003L33

共通 能力ユニット	能力ユニット名	企業の社会的責任と関係法令の遵守	共通
	概要	職業人としての社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守しながら誠実、公正に職務を遂行する能力と取り組み姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①法令・諸ルール等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○職業人としてのプロ意識、社会的責任感、職業倫理を有して仕事を遂行している ○企業活動の基本的な目的と役割を理解している ○自社の事業、顧客及び利害関係者との関係を理解している ○企業の社会的責任についての知識と自覚を有している ○会社の企業理念、経営方針、社訓、社是等の内容を熟知している ○会社や現場の就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての内容を熟知している ○企業活動全般に関する法的または倫理的な問題についての具体例(事例)を理解し、それが会社や現場に及ぼす影響を理解している 	
②法令・諸ルール等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○倫理、社会道徳的に望ましい行動を率先して示し、日常業務の具体的な場面において社訓、社是の理念や行動規範を具現化し、また部下の行動を指導している ○遂行すべき業務が社会的道徳や環境、安全などと明らかに矛盾する場合には、たとえ大きな成果が得られそうな場合であっても断念している ○公私の区別は明確にしている ○公共の利益と企業の利益が相矛盾する場合には、企業倫理を踏まえながら公正かつ適切な判断をしている ○部下の行動の法令、諸ルールへの適合性を確認し、倫理、社会道徳にのっとった行動をとるように指導している ○不測の事態に面しても冷静な現状分析に基づき、適切な問題解決を行っている 	

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客(元請、発注者)の作業所規則 ・新規入場者教育の周知徹底、近隣協定 2. 企業内諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の理解 ・労働関係法令と就業管理 3. 法令に関する知識、建設業法 <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準法 ・建築基準法 ・民法 ・PL法、リサイクル法 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C004L44

共通 能力ユニット	能力ユニット名	企業の社会的責任と関係法令の遵守	共通
	概要	職業人としての社会的責任を自覚し、関係法令やルールを遵守しながら誠実、公正に職務を遂行する能力と取組み姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①法令・諸ルール等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○企業活動の基本的な目的と役割を理解している ○自社の事業、顧客及び利害関係者との関係を理解している ○会社の企業理念、経営方針、社訓、社是等の内容を熟知している ○会社や現場の就業規則や工事関連の諸ルール及び法令についての内容を熟知している ○企業活動全般に関する法的または倫理的な問題についての具体例(事例)を理解し、それが会社や現場に及ぼす影響を理解している 	
②法令・諸ルール等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○倫理・社会道徳的に望ましい行動を率先して示し、日常業務の具体的な場面において社訓、社是の理念や行動規範を具現化し、また部下の行動を指導している ○遂行すべき業務が社会的道徳や環境、安全などと明らかに矛盾する場合には、たとえ大きな成果が得られそうな場合であっても断念している ○公共の利益と企業の利益が相矛盾する場合には、企業倫理を踏まえながら公正かつ適切な判断をしている 	

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客(元請、発注者)の作業所規則 ・新規入場者教育の周知徹底、近隣協定 2. 企業内諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の理解 ・労働関係法令と就業管理 3. 法令に関する知識、建設業法 <ul style="list-style-type: none"> ・労働基準法 ・建築基準法 ・民法 ・PL法、リサイクル法 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C005L11

共通 能力ユニット	能力ユニット名	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及
	概要	自然素材を活かした伝統技法の良さを理解し、その価値を社会(国民)に認識してもらうための働きかけ及び時代ニーズ(リフォーム等)に適応しようとする姿勢

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①伝統技法の理解と普及活動	<p>○土を使って壁を作る日本古来の左官技法の歴史に関心を持っている</p> <p>○左官仕上げを使った神社、仏閣、重要文化財等の伝統建築を次世代に継承することに関心を持っている</p> <p>○建物の左官仕上げの伝統技術、技能の価値について理解している</p>
②左官仕上げの安心感と健康生活への貢献	<p>○荒壁、土塀等の日本伝統左官工法が耐火構造、耐震構造に有利になっていることに興味をもっている</p> <p>○左官仕上げが健康(シックハウス症候群等の防止、空気浄化作用効果等)に役立っていることを理解している</p> <p>○地域、気候、風土を活かした(適合した)自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)についての知識を仕事を通じて学んでいる</p> <p>○塗壁は空気を浄化して湿度調整(呼吸をしている)していることを理解している</p>
③仕上げ総合請負業への飛躍とリフォームへの進出	<p>○左官工事の社会的存在価値と乾式工法の発達による仕事領域の変化を理解している</p> <p>○乾式工法から湿式工法へとリフォームをすることにより、従来の生活様式とは異なった快適性を顧客(設計事務所、元請、発注者)に実感してもらうことに関心をもっている</p>

施工管理

施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書及び左官の歴史知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事によるリフォーム施工法(日本左官業組合連合会) 	<p>2. 左官関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズのトレンド(顧客からの声) ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C006L22

共通 能力ユニット	能力ユニット名	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	共通
	概要	自然素材を活かした伝統技法の良さを理解し、その価値を社会(国民)に認識してもらうための働きかけ及び時代ニーズ(リフォーム等)に適応しようとする姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理 施工技能
①伝統技法の理解と普及活動	<ul style="list-style-type: none">○土を使って壁を作る日本古来の左官技法について顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明している○左官仕上げを使った神社、仏閣、重要文化財等の伝統建築を次世代に継承するための協力をしている○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの伝統技術、技能の要望に対して必要な左官情報を提供している		
②左官仕上げの安心感と健康生活への貢献	<ul style="list-style-type: none">○一定以上の塗り壁をした壁は防火性能を有し、延焼を遅らせる効果のあることを理解している○荒壁、土塀、土壁等の日本伝統左官工法は適切な下地構造を施し、一定の厚みを有すれば耐震効果が増大することを理解している○塗壁の性質を理解し、なぜ健康に役立っているのか(シックハウス症候群等の防止、空気浄化作用効果など)に役立っているのかを理解し、顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明している○地域、気候、風土を活かした(適合した)自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)についての知識を仕事を通じて学んでいる○塗壁は空気を浄化して湿度調整(呼吸をしている)していることを理解している		
③仕上げ総合請負業への飛躍とリフォームへの進出	<ul style="list-style-type: none">○建築の仕上げ方法を軸にした塗装、タイル、ブロック、内装などの総合仕上げを理解して、下地から壁の装飾にいたる請負方法について関心を持って取り組んでいる○乾式工法から湿式工法へとリフォームをすることにより、従来の生活様式とは異なった快適性を顧客(設計事務所、元請、発注者)に実感してもらうことに関心をもっている		

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書及び左官の歴史知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事によるリフォーム施工法(日本左官業組合連合会) 	<p>2. 左官関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズのトレンド(顧客からの声) ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C007L33

共通 能力ユニット	能力ユニット名	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及	共通
	概要	自然素材を活かした伝統技法の良さを理解し、その価値を社会(国民)に認識してもらうための働きかけ及び時代ニーズ(リフォーム等)に適応しようとする姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①伝統技法の理解と普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統左官の作品に関心を持ち、その良さを知ってもらうために意欲的にPR(宣伝)しようと取組み、左官技術の伝統を後輩達に継承していくための社会的活動に取り組んでいる ○左官仕上げを使った神社、仏閣、重要文化財等の伝統建築を次世代に継承するための協力をしている ○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの伝統技術、技能の要望に対して具体的な話し合いをしている ○左官施工の面白み、やりがいを経験の浅い人たちにやって見せ、やらせて技能に興味を持たせようとしている 	
②左官仕上げの安心感と健康生活への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○一定以上の塗り壁をした壁は防火性能を有し、延焼を遅らせる効果のあることを理解している ○塗壁の性質を理解し、なぜ健康に役立っているのか(シックハウス症候群等の防止、空気浄化作用効果など)に役立っているのかを理解し、顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明している ○自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)及び健康壁(自然素材を含んだ新素材)を活かした土壁の日本の気候への適応の理由及び環境にやさしい左官仕上げの技法を理解している ○自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)についてその特性を把握すると共に、調合、練り方、塗り方を理解している ○健康壁(自然素材を含んだ新素材)の性質を素材成分から判断して理解し、健康面、耐久面、汚れ防止面等の各々の特徴を顧客(設計事務所、元請、発注者)にわかりやすく説明し、顧客ニーズに合わせた左官材料の提案をしている 	
③仕上げ総合請負業への飛躍とリフォームへの進出	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら左官仕上げの新しい工法、材料メーカーの材料紹介の各種講習会に参加して、左官の新しい仕事領域を拡大していくことを考えている ○自社の施工実績及び強みを顧客(設計事務所、元請、発注者)にアピールし、具体的な要望に積極的に対応している ○乾式工法から湿式工法へとリフォームをすることにより、従来の生活様式とは異なった快適性を顧客(設計事務所、元請、発注者)に実感してもらうことを顧客にわかりやすく説明している 	

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書及び左官の歴史知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) 	2. その他の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズのトレンド(顧客からの声) ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C008L44

共通 能力ユニット	能力ユニット名	左官仕上げの建築的意義と伝統技法の理解と普及
	概 要	自然素材を活かした伝統技法の良さを理解し、その価値を社会(国民)に認識してもらうための働きかけ及び時代ニーズ(リフォーム等)に適応しようとする姿勢

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①伝統技法の理解と普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統左官の作品に関心を持ち、その良さを知ってもらうために意欲的にPR(宣伝)しようと取組み、左官技術の伝統を後輩達に継承していくための社会的活動に取り組んでいる ○左官仕上げを使った神社、仏閣、重要文化財等の伝統建築を次世代に継承するための技術的な提案を進んで行っている ○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの伝統技術、技能の要望や要請に対する相談に乗り、伝統左官工事の復活と発展に協力している ○左官施工の面白み、やりがいを経験の浅い人たちにやって見せて、やらせて技能に興味を持たせようとしている
②左官仕上げの安心感と健康生活への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○一定以上の塗り壁をした壁は防火性能を有し、延焼を遅らせる効果のあることを理解している ○荒壁、土塀、土壁等の日本伝統左官工法は適切な下地構造を施し、一定の厚みがあれば耐震効果が増大することを理解している ○塗壁の性質を理解し、なぜ健康(シックハウス症候群等の防止、空気浄化作用効果等)に役立っているのかを理解し、顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明している ○自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)及び健康壁(自然素材を含んだ新素材)を活かした土壁の日本の気候への適応の理由及び環境にやさしい左官仕上げの技法をわかりやすく人々に啓蒙、普及している ○自然素材(土、珪藻土、漆喰、藁等)についてその特性を把握するとともに、調合、練り方、塗り方を研究している ○健康壁(自然素材を含んだ新素材)の性質を素材成分から判断して、健康面、耐久面、汚れ防止面等の各々の特徴を顧客(設計事務所、元請、発注者)にわかりやすく説明し、顧客ニーズに合わせた左官材料の提案をしている
③仕上げ総合請負業への飛躍とリフォームへの進出	<ul style="list-style-type: none"> ○左官業界の将来を考えて、仕上げ総合請負化や左官仕上げを生かした新しいリフォーム工法等を研究し、経営に参画して意見や提案を出している ○これからの左官工事業として求められる工法、品質、技術、技能、環境、安全等について、業界を支えていく人材育成の推進をしている ○リフォーム提案をしながら、該当部位だけではなく関連する工程を含めた総合的な提案を顧客(設計事務所、元請、発注者)にしている

施工管理

施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書及び左官の歴史知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事によるリフォーム施工法(日本左官業組合連合会) 	<p>2. 左官関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズのトレンド(顧客からの声) ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
--	---

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19C009L11

共通 能力ユニット	能力ユニット名	コミュニケーションとチームワーク	共通
	概要	現場、顧客、近隣など利害関係者間において仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションのとり方、並びに仕事の成果を出すためのチームワークの大切さを自覚する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①コミュニケーションの取り方	<ul style="list-style-type: none"> ●わからないことを職長や上司、先輩に積極的に質問して業務内容を早く覚えようとしている ○現場においては職長や作業仲間とともに他職種の人たちと積極的にコミュニケーションの場(安全大会などの行事や懇親会)に参加している ●人間関係を良くするために、現場関係者等に明るく挨拶をしている ●職長や上司、先輩からの質問や問いかけに、ハキハキと答えている ○会社及び現場の近隣周辺に対して挨拶や会釈等を行うことで、現場や会社のイメージをよくすると同時に地域社会の一員であることを自覚している ○報告、連絡、相談の大切さを理解して、日々の業務内容を職長や上司、先輩に報告している 	
②チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> ○チームによる共同作業の大切さを認識して、一緒に働くことに積極的な行動を表わしている ●指示された仕事に関心を持ち、自分が納得いくように職長や上司、先輩の仕事の進め方を観察しながら早くチームに溶け込めるように努力している ●作業に必要な基本的な用語や材料、道具等を理解しようとしている ●休暇を取る場合は事前に職長や上司に休暇願いを提出して承認を得ており、仕事を無断で休んで段取りや工程計画に影響を与えない ○始業時間や休憩時間をきちんと守り仕事の効率と信頼を高めており、作業場の就業規則、諸規定、作業所ルール等を遵守している 	

●: 施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している

●必要な知識

1. コミュニケーション手法の活用知識 <ul style="list-style-type: none"> ・助言を引き出すための質問の仕方、話し方 ・反発や反感を生み出す質問の仕方、話し方 ・しぐさや表情でわかる相手の本音 ・興味をもたせる話し方 ・話題の作り方と話し方 2. TPOに応じた会話の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語と言葉遣い ・会話のマナー 	3. 人間関係の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の役割と分担 ・指示と命令 ・報告、連絡、相談の効果的活用 ・打ち合わせや会議の場のマナーとルール ・メモや議事録、記録の意義と活用 4. 組織とチームワーク <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目的と編成 ・チームワークのツールとしてのマニュアル、手順書の活用
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C010L22

共通 能力ユニット	能力ユニット名	コミュニケーションとチームワーク	共通
	概要	現場、顧客、近隣など利害関係者間において仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションのとり方、並びに仕事の成果を出すためのチームワークの大切さを自覚する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①コミュニケーションの取り方	<p>○作業中(業務中)に後輩等から作業(業務)事項等について相談や質問をされた時には、わかる範囲でわかりやすく説明しようと努力している</p> <p>○現場において職長や作業員達とともに他職種の人たちと積極的にコミュニケーションの場(安全大会などの行事や懇親会)に参加している</p> <p>○上司または職長の指示に基づいて後輩等と話合ったり、悩みを聞いたりして人間関係を良くしようとしている</p> <p>○上司の指示により、現場関係者とのコミュニケーションの場に参加している</p> <p>○会社及び現場の近隣・周辺に対して挨拶や会釈等をすることで、現場や会社のイメージをよくすると同時に地域社会の一員であることを自覚している</p> <p>○報告、連絡、相談の大切さを理解して、日々の業務内容を職長や上司、先輩に報告している</p>	
②チームワーク	<p>■チームワークを取るために後輩や同僚等との雑談や話の輪に加わろうと努力している</p> <p>○部下や後輩等の実施した作業(業務)に対して気付いた事項を指摘したり、自分の知識や仕事のコツ等を説明して早くチームの中で溶け込めるように働きかけしている</p> <p>○意欲的に知識や技能を高める努力をしている</p> <p>○休暇を取る場合は事前に職長や上司に休暇願いを提出して承認を得ており、仕事を無断で休んで段取りや工程計画に影響を与えない</p> <p>○始業時間や休憩時間をきちんと守り仕事の効率と信頼を高めており、作業場の就業規則、諸規定、作業所ルール等を遵守して、他者の範となるよう心掛けている</p> <p>■業務や作業に不慣れな後輩等に対しては、見本を自分でやって見せて孤独にさせないように配慮をしている</p>	

■: 施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

<p>1. コミュニケーション手法の活用知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助言を引き出すための質問の仕方、話し方 ・反発や反感を生み出す質問の仕方、話し方 ・しぐさや表情でわかる相手の本音 ・興味をもたせる話し方 ・話題の作り方と話し方 <p>2. リーダーシップの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップスタイル分析 ・リーダーシップの適応条件と状況対応 ・モチベーションの与え方 <p>3. TPOに応じた会話の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語と言葉遣い ・会話のマナー 	<p>4. 人間関係の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の役割と分担 ・指示と命令 ・報告、連絡、相談の効果的活用 ・打ち合わせや会議の場のマナーとルール ・メモや議事録、記録の意義と活用 <p>5. 組織とチームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目的と編成 ・チームワークのツールとしてのマニュアル、手順書の活用
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C011L33

共通 能力ユニット	能力ユニット名	コミュニケーションとチームワーク	共通
	概要	現場、顧客、近隣など利害関係者間において仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションのとり方、並びに仕事の成果を出すためのチームワークの大切さを自覚する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	
①コミュニケーションの取り方	<p>○作業中(業務中)に後輩等から作業(業務)事項等について相談、質問された時はじっくり聞き、自らの体験や事例を生かして説明し、相互の意思疎通を図っている</p> <p>○現場においては職長や作業者達とともに他職種の人たちとも積極的にコミュニケーションの場(安全大会などの行事や懇親会)に参加している</p> <p>○部門の部下または作業班の構成員の特性や性格等を把握して、お互いが意思疎通できるように、一人ひとりに合わせた具体的な声の掛け方をしている</p> <p>○会社及び現場の近隣・周辺に対して挨拶や会釈等を行うことで、現場や会社のイメージをよくすると同時に地域社会の一員であることを自覚している</p> <p>○地域の行事等には上司とともに参加して、練り場や置き場等の近隣については普段から挨拶するなどのコミュニケーションをとっている</p> <p>○日々の活動の中での、報告、連絡、相談を自ら率先して実施し、その重要性を部下や後輩に認識させている</p>	<div>施工管理</div> <div>施工技能</div>
②チームワーク	<p>○部下や後輩等の実施した作業(業務)に対して気付いた事項を指摘したり、自分の知識や仕事のコツ等を説明して早くチームの中で溶け込めるように働きかけしている</p> <p>○自分の仕事だけではなく、管理者あるいは熟練技能者として業務や作業全体が円滑に進むように他の作業者の作業状況を観察してアドバイスしている</p> <p>○お互いに協力し合って、社員あるいは作業者同士の良好な関係を保っている</p> <p>○業務や作業に不慣れな後輩等に対しては、見本を自分でやって見せて孤独にさせないように配慮をしている</p>	

●必要な知識

<p>1. コミュニケーション手法の活用知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助言を引き出すための質問の仕方、話し方 ・反発や反感を生み出す質問の仕方、話し方 ・しぐさや表情でわかる相手の本音 ・興味をもたせる話し方 ・話題の作り方と話し方 <p>2. リーダーシップの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップスタイル分析 ・リーダーシップの適合条件と状況対応 ・モチベーションの与え方 <p>3. TPOに応じた会話の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語と言葉遣い ・会話のマナー 	<p>4. 人間関係の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の役割と分担 ・指示と命令 ・報告、連絡、相談の効果的活用 ・打ち合わせや会議の場のマナーとルール ・メモや議事録、記録の意義と活用 <p>5. 組織とチームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目的と編成 ・チームワークのツールとしてのマニュアル、手順書の活用
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C012L44

共通 能力ユニット	能力ユニット名	コミュニケーションとチームワーク	共通
	概要	現場、顧客、近隣など利害関係者間において仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションのとり方、並びに仕事の成果を出すためのチームワークの大切さを自覚する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①コミュニケーションの取り方	<ul style="list-style-type: none"> ○作業中(業務中)に後輩等から作業(業務)事項等について相談、質問された時はじっくり聞き、自らの体験や事例を生かして説明し、相互の意思疎通を図っている ○部門の部下または作業班の構成員の特性や性格等を把握して、お互いが意思疎通できるように、一人ひとりに合わせた具体的な声の掛け方をしている ○会社及び現場の近隣・周辺等に対して、会社を代表して挨拶に行ったり、現場や会社のイメージをよくする活動を推進している ○地域の行事等には会社を代表して参加し、練り場や置き場の近隣については普段から部下や作業者にマナーよく挨拶するように率先垂範または指導している ○工事終了後も顧客(設計事務所、元請、発注者)の担当者等と良い人間関係を維持するように意思疎通を図り、会社を代表したコミュニケーションを活発にしている 	
②チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶の励行や作業場のクリーン化、マナーや作業態度等で他者の範となるように行動で示している ○会社を代表して、業務または作業全体が円滑に進むように仕事の中味を観察して部下や職長にタイミングよく改善のアドバイスをしている ○リーダーまたは手本を示す役割として、現場や社の内外を問わず人をうまくひきつけている ○業務や作業に不慣れな後輩等に対しては、見本を自分でやって見せて孤独にさせないように配慮をしている 	

●必要な知識

1. コミュニケーション手法の活用知識 <ul style="list-style-type: none"> ・助言を引き出すための質問の仕方、話し方 ・反発や反感を生み出す質問の仕方、話し方 ・しぐさや表情でわかる相手の本音 ・興味をもたせる話し方 ・話題の作り方と話し方 2. リーダーシップの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップスタイル分析 ・リーダーシップの適条件と状況対応 ・モチベーションの与え方 3. TPOに応じた会話の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語と言葉遣い ・会話のマナー 	4. 人間関係の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の役割と分担 ・指示と命令 ・報告、連絡、相談の効果的活用 ・打ち合わせや会議の場のマナーとルール ・メモや議事録、記録の意義と活用 5. 組織とチームワーク <ul style="list-style-type: none"> ・組織の目的と編成 ・チームワークのツールとしてのマニュアル、手順書の活用
--	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19C013L11

共通 能力ユニット	能力ユニット名	無災害の推進と環境保全への取組み	共通
	概 要	現場内は勿論のこと、近隣第三者を含めて災害ゼロを目指した安全や環境への配慮があり、自ら進んで安全活動や環境保全活動を実施する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①安全衛生の意識高揚	<ul style="list-style-type: none">○建設業の労働安全衛生法について基本的考え方を理解している○左官作業手順の内容及び安全ポイント、新規入場者教育、送出し教育、健康診断、安全打合せ(是正箇所、巡回チェック等)の意味および活動内容を理解している○労働災害を防止するための安全活動(安全点検、送出し教育等)に自分の立場で参加して安全管理の実践を学んでいる○安全衛生書類や安全作業の手順書等を読んで、作成内容の重要性について理解している		
②環境保全	<ul style="list-style-type: none">○地球環境問題への社会的取組みについて理解している○現場のゴミゼロエミッションを理解している○現場の材料の3R(リユース、リサイクル、リデュース)を理解して、顧客(設計事務所、元請、発注者)の取組み等に参加して考え方を学んでいる○現場や会社の近隣等に対して(騒音や)振動、粉塵など健康に影響を与えないようにするにはどうしたらよいかを考えている		

●必要な知識

1. 環境安全に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法及びその関連法令の左官工事に関係する項目 ・KY活動、送り出し教育の意味と目的 ・安全テキスト、作業手順書の内容理解 ・産業廃棄物処分に関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C014L22

共通 能力ユニット	能力ユニット名	無災害の推進と環境保全への取組み	共通
	概 要	現場内は勿論のこと、近隣第三者を含めて災害ゼロを目指した安全や環境への配慮があり、自ら進んで安全活動や環境保全活動を実施する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①安全衛生の意識高揚	<p>○建設業の労働安全衛生法について基本的考え方を理解している</p> <p>○労働災害を防止するためのKY活動ゆヒヤリハットと不安全行動の撲滅、現場の安全サイクルなどの実施・安全活動へ自分の立場で可能な限り積極的に参加している</p> <p>○左官作業手順の内容及び安全ポイントに関する質問に答えられ、新規入場者教育、送出し教育、健康診断、安全打合せ(是正箇所、巡回チェック等)の意味と活動内容を理解している</p> <p>○安全衛生書類や安全作業の手順書等を読んで、作成内容の重要性について理解し、実作業に活かしている</p>	
②環境保全	<p>○地球環境問題への社会的取組みについて理解し、左官工事業としてできることを率先してするように心がけている</p> <p>○現場のゴミゼロエミッションを理解している</p> <p>○現場の材料の3R(リユース、リサイクル、リデュース)を理解して、顧客(設計事務所、元請、発注者)の取組み等に参加している</p> <p>○現場や会社の近隣等に対して(騒音や)振動、粉塵など健康に影響を与えないようにするにはどうしたらよいかを考えている</p>	

●必要な知識

<p>1. 環境安全に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法及びその関連法令の左官工事に関係する項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の熟知 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味 ・KY活動、送り出し教育の熟知 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分に関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 	
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C015L33

共通 能力ユニット	能力ユニット名	無災害の推進と環境保全への取り組み	共通
	概要	現場内は勿論のこと、近隣第三者を含めて災害ゼロを目指した安全や環境への配慮があり、自ら進んで安全活動や環境保全活動を実施する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①安全衛生の意識高揚	<p>○顧客（設計事務所、元請、発注者）が目指す安全管理内容と自社が徹底すべき安全活動を比較して、無災害になるような安全対策を考えている</p> <p>○顧客（設計事務所、元請、発注者）の安全パトロールや安全協議会に参加した場合、それらの安全指示事項を会社及び現場で遵守するような働きかけをしている</p> <p>○新規入場者教育、送出し教育、健康診断、安全打合せ（是正箇所、巡回チェック等）の意味及び活動内容を、管理者（施工管理責任者、職長）は部下を指導し、あるいは熟練技能者は自ら実践して手本を示している</p> <p>○安全衛生書類や安全作業手順書等の法的意味や作成内容の重要性についてポイントを熟知し、管理者（施工管理責任者、職長）は部下を指導し、あるいは熟練技能者は自ら実践して手本を示している</p>	
②環境保全	<p>○地球環境問題への社会的取組みについて理解し、左官工事業としてできることを自らの現場、会社において左官工事業界等と協力して実施している</p> <p>○現場のゴミゼロエミッション活動に参加し、自社でできることを顧客（設計事務所、元請、発注者）に協力して実施している</p> <p>○現場の材料の3R（リユース、リサイクル、リデュース）を理解して顧客（設計事務所、元請、発注者）の要請に協力して、管理者（施工管理責任者、職長）は自社でできることの立案に協力し、熟練技能者は自ら手本を示し、全社的な活動を全員で実施している</p> <p>○現場や会社の近隣等に対して（騒音や）振動、粉塵など健康に影響を与えないようにする具体的方法の立案に協力している</p>	

●必要な知識

<p>1. 環境安全に関する管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法及びその関連法令の左官工事に関係する項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の周知徹底方法 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味と会社としての指導義務 ・KY活動、送り出し教育の周知徹底方法 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分に關する現場のルール ・安全に関する行事の参画 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19C016L44

共通 能力ユニット	能力ユニット名	無災害の推進と環境保全への取り組み	共通
	概 要	現場内は勿論のこと、近隣第三者を含めて災害ゼロを目指した安全や環境への配慮があり、自ら進んで安全活動や環境保全活動を実施する姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理
①安全衛生の意識高揚	<ul style="list-style-type: none">○顧客（設計事務所、元請、発注者）が目指す安全管理内容と自社が徹底すべき安全活動を比較して、無災害になるように会社及び現場において全社的な安全推進を率先して行っている○顧客（設計事務所、元請、発注者）の安全パトロールや安全協議会に参加した結果を自社の安全管理に活かすために、管理者（施工管理職）は安全会議や研修会等を企画推進し、卓越技能者は率先して自らの体験を基に安全作業のポイントを話している○労働災害を防止するための業界の各種活動（労働安全衛生週間、安全協議会等）に参加した場合、その中から社内に適した安全活動を企画・実行し、安全に向けた周知徹底を率先垂範している○新規入場者教育、送出し教育、健康診断、安全打合せ（是正箇所、巡回チェック等）のポイントを熟知し、会社を代表した立場（会社または現場の統括責任者、卓越技能者）で安全管理の徹底に取り組んでいる○安全衛生書類や安全作業手順書等の法的意味や作成内容のポイント等を熟知し、その内容を仕事に活かす活かすように会社を代表した立場（会社または現場の統括責任者、卓越技能者）で厳しいチェックをしている	施工技能
②環境保全	<ul style="list-style-type: none">○地球環境問題への社会的取組みについて理解し、左官工事業としてできることを自らの現場、会社において左官工事業界等と協力して実施している○現場のゴミゼロエミッション活動等に参加して、自社でできることを顧客（設計事務所、元請、発注者）に協力して実施している○現場の材料の3R（リユース、リサイクル、リデュース）を理解して顧客（設計事務所、元請、発注者）の要請に協力して、会社を代表した立場（会社または現場の統括責任者、卓越技能者）で率先垂範の行動を取っている○現場や会社の近隣等に対して（騒音や）振動、粉塵など健康に影響を与えないようにするため、具体的方法を立案して、全社的な活動を推進している	

●必要な知識

<p>1. 環境安全に関する管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法関連法令の左官工事に関係する項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の周知徹底方法 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味と会社としての指導義務 ・KY活動、送り出し教育の周知徹底方法 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分に関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 	
--	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S001L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	営業活動及び管理
	概 要	営業戦略の実施、技術の広報活動、営業活動から得られた情報活用や顧客の管理を行う能力。 上位レベルでは、営業戦略の立案、営業ツールの作成や指導、顧客とのつながりを維持する能力も含まれる

共通

施工管理

施工技能

能力細目	職務遂行のための基準
①営業活動 及びPR活動	<p>○＜野丁場＞上司の指示に基づいて、顧客リストの中から重点とする顧客（設計事務所、元請、発注者）を選定し、計画的な訪問活動（挨拶、引合等）を行っている</p> <p>○＜町場＞インターネットで個人顧客向けに健康志向のため塗り壁（左官）の良さをPR紹介している</p> <p>○営業活動計画に基づいて、アポイントメント等を設定し、ビジネスマナーやエチケット等を踏まえた好感の持てる営業活動を心掛けている</p> <p>○顧客（設計事務所、元請、発注者）が要求している資料（左官工法、施工事例、作業要領等）を上司の指導のもとに整理して、送付している</p>
②営業情報 等の収集	<p>○＜野丁場＞業界紙やインターネット等のメディアから案件に結び付きそうな情報を収集し、上司に報告している</p> <p>○上司から指示された顧客（設計事務所、元請、発注者）との人間関係づくりを大事にし、新規建設計画の情報収集を上司の補佐として手伝っている</p> <p>○営業情報の収集のために、地域団体、同業者や建設関連業者等とのネットワークづくりを上司を補佐して手伝っている</p>
③顧客管理	<p>○顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せたことは洩らさずにメモを取り、受注情報を上司に報告している</p>

●必要な知識

<p>1. 営業情報に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済社会及び建設業界動向 ・ インターネットによる情報収集 ・ 顧客（設計事務所、元請、発注者）の会社動向及びニーズ把握 ・ 元請、同業者、関係先等からの情報管理 <p>2. 営業活動に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取引実績分析からの受注予測と見込み管理（月間、四半期） ・ 受注見込み管理（月間、四半期） 	<p>3. 左官施工に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工条件の把握 ・ 左官施工法全般 ・ 自社保有技術 ・ 設計図書の読解 ・ 左官工法の変更、施工法の提案
---	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S002L33

選択
能力ユニット

能力ユニット名

営業活動及び管理

概 要

営業戦略の実施、技術の広報活動、営業活動から得られた情報活用や顧客の管理を行う能力。
上位レベルでは、営業戦略の立案、営業ツールの作成や指導、顧客とのつながりを維持する能力も含まれる

共通

施工管理

施工技能

能力細目	職務遂行のための基準
①営業戦略、目標、計画の作成	○過去の営業データ等から主要な顧客（設計事務所、元請、発注者）の所長、購買窓口担当者等に対するアプローチ方法を検討して上司の指導の基に実施している
②営業活動及びPR活動	<p>○＜野丁場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）リストに基づいて、窓口担当者に定期訪問等による技術面の自社PR活動を行っており、質問等があれば詳細をその場で説明している</p> <p>○＜町場＞インターネットで個人顧客向けに健康志向のための塗り壁（左官）の良さをPR紹介している</p> <p>○＜町場＞個人顧客向けに行政機関やNPO等における健康志向のための塗り壁（左官）の良さを促進するために、左官仕上げ講習会等の解説をしている</p> <p>○上司に営業活動報告をして、受注に向けた的確なアドバイスを受けながら受注努力を行っている</p> <p>○訪問計画立案の際には、顧客（設計事務所、元請、発注者）ファイル等から、過去の見積実績、顧客情報等の事前確認を行い、訪問を有効にするよう心がけている</p> <p>○自社施工実績等会社案内（協会会社評価されるもの）を顧客（設計事務所、元請、発注者）に説明し、技術相談を受けたり提案を行ったりしている</p>
③営業情報等の収集	<p>○＜野丁場＞業界紙やインターネット等のメディア情報による顧客（設計事務所、元請、発注者）動向に注意して、発注情報を収集している</p> <p>○＜野丁場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）の購買窓口、作業所長、次席等との人間関係づくりを大切にして、新規建設計画の情報収集を迅速に行い上司と一緒に情報整理をしている</p> <p>○地域団体、同業者や建設関連業者等とのネットワークから情報を随時収集している</p> <p>○＜野丁場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）の協会会活動等に積極的に参加し、受注情報等を定期的に得ている</p>
④顧客管理	<p>○引合時の施工方法等の相談や、顧客（設計事務所、元請、発注者）の積算段階の下見積を依頼された場合には、上司と事前検討して決定した自社として具体的提案を説明して、施工協議をしている</p> <p>○＜野丁場＞安全協議会等への参加など、現場を中心とした営業活動を実施している</p> <p>○顧客（設計事務所、元請、発注者）から職長指名での商談が来た場合には、職長の仕事の状況を把握して、顧客の要請に対応する作業工程の調整を上司と行っている</p>

●必要な知識

<p>1. 営業情報に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会及び建設業界動向 ・インターネットによる情報収集 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の会社動向及びニーズ把握 ・元請、同業者、関係先等からの情報管理 <p>2. 営業活動に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引実績分析からの受注予測と見込み管理（月間、四半期） ・受注見込み管理（月間、四半期） 	<p>3. 左官施工に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工条件の把握 ・左官施工法全般 ・自社保有技術 ・設計図書の読解 ・左官工法の変更、施工法の提案 ・図面からの作業量算出
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S003L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	営業活動及び管理
	概 要	営業戦略の実施、技術の広報活動、営業活動から得られた情報活用や顧客の管理を行う能力。 上位レベルでは、営業戦略の立案、営業ツールの作成や指導、顧客とのつながりを維持する能力も含まれる

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①営業戦略、目標、計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ○＜野丁場＞全社営業活動方針を立案・作成し、周知徹底しており、自らも協力会の役員やまとめ役等の業務を通じて情報収集等の活動を行っている ○過去の営業データを基に主要な顧客（設計事務所、元請、発注者）への営業活動立案、実行を部下に指示し、その結果を確認して今後の活動や計画に活かしている
②営業活動及びPR活動	<ul style="list-style-type: none"> ○＜野丁場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）リストに基づいて窓口担当者に定期訪問等による技術面の自社PR活動を行っており、質問等があれば詳細をその場で説明している ○＜町場＞個人顧客を対象とする健康志向のための塗り壁（左官）の良さを紹介するためにインターネットPRや講習会の企画をし、左官業の普及促進に努めている ○＜町場＞個人顧客向けに行政機関やNPOにおける健康志向のため塗り壁（左官）の良さを促進するために、左官仕上げ講習会等の解説をしている ○同業者や建設関連業者等とのネットワークを活用して営業情報を随時収集し、会社を代表する決裁権を持って受注に結び付ける活動をしている ○部下の営業活動の報告に対して、受注活動上の検討課題と問題解決策とを指示・指導し、結果確認を実施している ○自社施工実績等会社案内（協会社評価されるもの）を顧客（設計事務所、元請、発注者）に説明し、技術相談を受けたり提案を行ったりしている
③営業情報等の収集	<ul style="list-style-type: none"> ○＜野丁場＞メディア情報にも関心を持ち発注情報等を的確に収集し、時期を逸することなく顧客（設計事務所、元請、発注者）を訪問して、会社としての決裁権を持って受注に結び付ける活動をしている ○＜野丁場＞大手ゼネコンの所長や地元ゼネコンの工事部長等との人間関係を活用して、部下を同行させながら情報収集を行っている ○自社施工実績等会社案内（協会社評価されるもの）を顧客（設計事務所、元請、発注者）に説明し、技術相談を受けたり、提案を行ったりしている ○＜野丁場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）の協会社活動等に積極的に参加し、受注情報等を定期的に得ている
④顧客管理	<ul style="list-style-type: none"> ○引合時の施工方法などの相談や、顧客（設計事務所、元請、発注者）の積算段階の下見積を依頼された場合には、自社としての会社を代表する決裁権を持って具体的提案を行い施工協議をしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）の動向を常に把握し、技術だけではなく施工に関する改善や効率化等をタイムリーに提案するよう部下を指導している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から職長指名での商談が来た場合には、職長の仕事の状況を把握して、外部の人脈を活用して顧客の要請に対応する作業工程の調整を行っている

施工管理

施工技能

●必要な知識

1. 営業情報に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会及び建設業界動向 ・インターネットによる情報収集 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の会社動向及びニーズ把握 ・元請、同業者、関係先等からの情報管理 2. 営業活動に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・部下の日報へのアドバイス ・取引実績分析からの受注予測と見込み管理（月間、四半期） 	3. 左官施工に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・受注見込み管理（月間、四半期） ・施工条件の把握 ・左官施工法全般 ・自社保有技術 ・設計図書の読解 ・左官工法の変更、施工法の提案 ・図面からの作業量算出
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S004L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	見積
	概 要	設計図書の内容を把握し、積算、見積書の作成及び顧客(設計事務所、元請、発注者)との折衝に関する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①見積条件の明確化	<p>○顧客(設計事務所、元請、発注者)が提示した資料や条件と打合せ議事録等とに食違いがないかどうか確認し、上司に報告している</p> <p>○上司の指導を理解した上で、見積に際して確認すべき事項(作業時期、場所、留意事項、見積提出時期等)を、顧客(設計事務所、元請、発注者)から聞き取りしている</p> <p>○現場踏査を行い、仮設等施工条件に加味できるものを確認し、上司に報告している</p>
②左官施工条件の確認	<p>○上司の指示に基づいて当該現場を訪問し、設計図書と現場条件の照査をしている</p> <p>○現地確認中に疑問点があればその場で確認しており、必要な回答は文書で受領し上司に報告している</p> <p>○顧客(設計事務所、元請、発注者)の方針や意向等と整合させるように、施工方法や内容等を品質、原価、工程、安全等の視点から検討した結果を上司に報告している</p>

施工管理

施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法関係法令の左官材料調合、下地、仕上げ施工の項目 ・JASS 5(左官コンクリート工事仕様書) ・建築工事標準仕様書の左官工事の項目 <p>2. 積算に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計図面(設計図、施工図等)からの数量拾い ・社内生産性の把握と工数算出 ・公表労務単価と社内労務単価 ・資材等の市況や他社相場 	<p>3. 現場調査に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場踏査の確認ポイント(練り場、置き場、搬入、仮設等) ・施工範囲の内容分析 ・チェックシートからの現場状況把握分析 <p>4. 見積に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積書の作成 ・見積書からの粗利益把握 ・追加、変更工事用の見積方法 ・物件毎の利益把握 ・工事物件全体の利益計算と決算予測 <p>5. 見積折衝に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係の円滑化 ・ネゴシエーション手法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S005L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	見積	共通
	概 要	設計図書の内容を把握し、積算、見積書の作成及び顧客(設計事務所、元請、発注者)との折衝に関する能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理
①見積条件の明確化		○顧客(設計事務所、元請、発注者)の提示条件に対して疑問点や見解の相違がある場合には、上司の指示の基に書面で顧客(設計事務所、元請、発注者)に確認している ○見積条件の確認とともに作業遂行に支障をきたす事項等を職長に確認して、裏付けデータを含めて文書化し、上司の指示の基に顧客(設計事務所、元請、発注者)に提出している		
②左官施工条件の確認		○現場踏査報告等に基づいて、仮設や近隣条件等の施工条件に加味できる事項等に関して顧客(設計事務所、元請、発注者)に確認している ○設計図書や現場条件等の疑問事項は顧客(設計事務所、元請、発注者)に確認し、必要事項は記録として残している ○上司の指導のもとに予定工法の費用対効果を考慮して、見積書作成条件を整理している ○顧客(設計事務所、元請、発注者)の方針、意向に整合するよう、品質、原価、工程、安全等の視点から、経済性を考慮した施工方法、施工内容等を上司の指導の基に検討している		施工技能
③積算及び見積書作成		○歩掛や施工実績に基づく材料調合、下地施工、仕上げ施工の労務人工数と作業日数の算出を上司の指示の基に試算しており、自社の標準となる適正な労務単価に基づいて集計している ○上司の指示のもとに適正粗利益を考慮して見積書(原価内訳)を作成している ○自社作業工程を顧客(設計事務所、元請、発注者)作成の工事基本工程計画と照合した上で、顧客(設計事務所、元請、発注者)へ提出している		
④見積折衝		○納得のいかない事項についてはきちんと質問し、顧客(設計事務所、元請、発注者)担当者との協議には落着いて自社の考え方を明確に述べている ○工期、工法の検討依頼がある場合には要望意図に沿った説明をしており、質問等に対しては上司に相談して適切に回答している ○見積内容(範囲、条件等)の変更がある場合には、会社方針に基づいて顧客(設計事務所、元請、発注者)に条件変更の依頼をして、見積書の再提出の折衝を行っている ○利益を意識して社内契約基準に準拠した契約を締結しようとしており、契約条件の変更等を求められた場合はマイナスにならないように折衝している		

●必要な知識

1. 左官工事の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法関係法令の左官材料調合、下地、仕上げ施工の項目 ・JASS 5 (左官コンクリート工事仕様書) ・建築工事標準仕様書の左官工事の項目 2. 積算に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・設計図面(設計図、施工図等)からの数量拾い ・社内生産性の把握と工数算出 ・公表労務単価と社内労務単価 ・資材等の市況や他社相場 	3. 現場調査に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・現場踏査の確認ポイント(練り場、置き場、搬入、仮設等) ・施工範囲の内容分析 ・チェックシートからの現場状況把握分析 4. 見積に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・見積書の作成 ・見積書からの粗利益把握 ・追加、変更工事用の見積方法 ・物件毎の利益把握 ・工事物件全体の利益計算と決算予測 5. 見積折衝に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係の円滑化 ・ネゴシエーション手法
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S006L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	見積
	概 要	設計図書の内容を把握し、積算、見積書の作成及び顧客（設計事務所、元請、発注者）との折衝に関する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①見積条件の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客（設計事務所、元請、発注者）の見積提示条件に対して見解の相違や疑問点がある場合は、書面で顧客（設計事務所、元請、発注者）に最終確認している ○見積条件の確認と施工に支障をきたす現場条件等の洗出しを部下に指示し、内容を確認してから、会社としての決裁権を持って顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議（必要な場合には文書で提示）している ○現場踏査報告に基づいて、仮設や近隣条件等の施工条件に加味できる事項を顧客（設計事務所、元請、発注者）に確認を得よう部下を指導している
②左官施工条件の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○事前に現場へ訪問し打合せを行い、設計図書と現場条件等を把握しており、留意点等は逐一確認して、必要に応じて確認事項を文書化するよう指導している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から工法について指示、相談のある場合は、社内ノウハウや実績に基づいて品質、原価、工程、安全等の視点から検討を行うよう部下に指示し、検討結果を確認して施工条件を見積書に明記して顧客に提出するよう指導している ○左官施工範囲、責任範囲（下地状態による追加数量や増額など）の交渉資料を吟味して会社としての条件明示を決定している
③積算及び見積書作成	<ul style="list-style-type: none"> ○歩掛や実績に基づく材料調合、下地施工、仕上げ施工の人工数の算出を、部下に指示するとともに、社内標準として適正な労務単価を設定している ○適正粗利益を考慮して見積書（原価内訳）を作成させており、競合がある場合は受注を優先するか、利益を優先するか会社としての判断を行っている ○部下（または自ら）が作成した作業工程計画を、顧客（設計事務所、元請、発注者）が作成した工事基本工程計画と照合して自ら最終決定した後、見積書に添付して提出させている ○市況や施工実績、業者見積り等を基に、最適な材料費及び仮設費用を把握し、単価を設定している
④見積折衝	<ul style="list-style-type: none"> ○値引き要請がある場合は、値引き要件を確認し過去の条件等を参考にしながら顧客（設計事務所、元請、発注者）と交渉し、必要利益の許容範囲で会社としての最終決定を経営者に代わって判断をしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの仕様変更や工程変更等の依頼に対しては迅速な対応を部下に指示し、結果として顧客から信頼性を高めている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から特別に指示や相談のある工法等について、品質、原価、工程、安全管理のいずれもが整合するように社内的な取りまとめを行っている ○目先の損得勘定だけでなく、先を読んだ信頼関係を築き、冷静かつ論理的な態度で協議や話し合いをしている ○施工が中断や延期等の場合のリスクについて顧客（設計事務所、元請、発注者）との協議を実施しており、駆け引きだけでなく相互繁栄に結び付けるように心掛けている ○自らが対応する依頼案件はもとより、部下の各々の個別現場の見積交渉の報告を受けて受注に向けた方策を的確にアドバイスしている

施工管理

施工技能

●必要な知識

1. 左官工事の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法関係法令の左官材料調合、下地、仕上げ施工の項目 ・JASS 5（左官コンクリート工事仕様書） ・建築工事標準仕様書の左官工事の項目 2. 積算に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・設計図面（設計図、施工図等）からの数量拾い ・社内生産性の把握と工数算出 ・公表労務単価と社内労務単価 ・資材等の市況や他社相場 3. 現場調査に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・現場踏査の確認ポイント（練り場、置き場、搬入、仮設等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工範囲の内容分析 ・チェックシートからの現場状況把握分析 4. 見積に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・見積書の作成 ・見積書からの粗利益把握 ・追加、変更工事用の見積方法 ・物件毎の利益把握 ・工事物件全体の利益計算と決算予測 5. 見積折衝に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係の円滑化 ・ネゴシエーション手法
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S007L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	契約・請求・精算
	概 要	現場施工条件を加味して、発注者（注文者）と適切な契約、請求及び精算業務を行う能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①請求	○追加、変更に対する見積書、契約書、請求書を上司の指示に基づいて作成している
②精算	○施工図を基に実施数量を算出し、顧客（設計事務所、元請、発注者）との精算手続きに必要な書類を上司の指導を受けながら作成している

施工管理

●必要な知識

1. 契約の法的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法 ・工事請負契約 ・施工体制台帳 ・民法の契約項目 ・契約のトラブル対応 2. 請求、回収の法的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・商法 ・手形法 ・請求、回収のトラブル対応 	3. 契約手続きの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・施工範囲、内容等の取決め ・社内契約基準 ・他工種との関連把握 ・契約書類の不備の発見と是正 4. 請求、回収手続きの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・与信管理 ・社内経理基準 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の支払基準 ・債権管理方法
---	---

施工技能

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S008L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	契約・請求・精算	共通
	概要	現場施工条件を加味して、発注者（注文者）と適切な契約、請求及び精算業務を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①契約	<ul style="list-style-type: none">○施工条件に関する取極等が社内契約基準に合致しない場合は、特記事項欄に記載して特殊条件であることや役割分担等を明確にした契約をしようとしている○月間の作業報告に基づいて顧客（設計事務所、元請、発注者）と作業量をすり合せして、契約条件に従って上司承認のもとに出来高に見合った請求をしている		
②請求	<ul style="list-style-type: none">○当初に予定した請求、入金額に差が発生している場合は、資金繰り等との関連も考慮して原因分析をし、計画の見直しを実施している○請求金額よりも少ない入金や、入金遅れ等が発生した場合には、上司の指示の基に原因確認を行い、顧客（設計事務所、元請、発注者）に連絡、確認している○追加変更に伴う請求については所定の金額の請求書を作成させて確認しており、特別な事項の発生があれば職長に確認を行うとともに経営者、上司に報告し指示を確認している○施工図に基づいて実施数量を算出し、上司の指示の基に顧客（設計事務所、元請、発注者）との精算手続きを実施している		施工技能
③精算	<ul style="list-style-type: none">○作業指示書の内容や職長の報告に基づいて契約外の施工を明確にし、上司に報告している		

●必要な知識

<p>1. 契約の法的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法 ・工事請負契約 ・施工体制台帳 ・民法の契約項目 ・契約のトラブル対応 <p>2. 請求、回収の法的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商法 ・手形法 ・請求、回収のトラブル対応 	<p>3. 契約手続きの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工範囲、内容等の取決め ・社内契約基準 ・他工種との関連把握 ・契約書類の不備の発見と是正 <p>4. 請求、回収手続きの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与信管理 ・社内経理基準 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の支払基準 ・債権管理方法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S009L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	契約・請求・精算	共通
	概要	現場施工条件を加味して、発注者（注文者）と適切な契約、請求及び精算業務を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①契約	<p>○部下から契約変更依頼がある場合は、顧客（設計事務所、元請、発注者）の変更事由を確認し、一過性か常態的かの判断に基づいて対応策を指示し、会社の損失を防止している</p> <p>○施工条件に関する取極等が社内契約基準に合致しない場合は、経営者の承認を受けて、特記事項欄に記載し特殊条件として役割分担等を明確した契約をするよう指導している</p> <p>○追加、変更契約等がある場合には、迅速に追加、変更契約書や議事録等の書面でその旨を取交わそうとしており、契約に関わる事項は全て記録等に残すよう指導している</p>	
②請求	<p>○月間の作業報告に基づいて顧客（設計事務所、元請、発注者）と作業量をすり合せして、契約条件に従って出来高に見合った請求をするよう指導している</p> <p>○請求金額よりも少ない入金や、入金遅れ等が発生した場合、部下からの原因確認と状況報告を受けた上で、顧客（設計事務所、元請、発注者）に会社を代表して自ら折衝している</p> <p>○予期しない追加変更に伴う請求金額が発生した場合、会社が不利益にならないよう対応策を指示すると共に部下を指導している</p>	
③精算	<p>○部下が実施した精算手続きに基づき、その内容を承認し、顧客（設計事務所、元請、発注者）との折衝等では自社にマイナスにならないように指導している</p> <p>○部下や職長からの報告に基づいて契約外の施工を明確にし、支出に見合った増額への交渉を会社を代表して追加精算の手続きを顧客（設計事務所、元請、発注者）と折衝している</p>	

●必要な知識

<p>1. 契約の法的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業法 ・工事請負契約 ・施工体制台帳 ・民法の契約項目 ・契約のトラブル対応 <p>2. 請求、回収の法的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商法 ・手形法 ・請求、回収のトラブル対応 	<p>3. 契約手続きの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工範囲、内容等の取決め ・社内契約基準 ・他工種との関連把握 ・契約書類の不備の発見と是正 <p>4. 請求、回収手続きの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与信管理 ・社内経理基準 ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の支払基準 ・債権管理方法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S010L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工計画書等作成及び打合せ
	概 要	建物の構造を把握し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求事項を明確にした上で、施工方法を計画、提案し、顧客(設計事務所、元請、発注者)及び作業班と調整する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①設計図書、現場条件の把握	<p>○上司の指示の基に、設計図、仕様書、施工図の内容を確認し、わからないところを上司に質問している</p> <p>○施工の検討を行うために、顧客(設計事務所、元請、発注者)から遅滞なく施工図等必要資料を入手している</p> <p>○上司からの指示に基づいて工事現場の周辺環境に関する調査を実施し、顧客(設計事務所、元請、発注者)からも情報を入手して状況等を報告している</p> <p>○練り場、置き場の設置や揚重機の管理等について、上司の指導を受けながら勉強し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の仮設計画を把握しようとしている</p> <p>○上司の指導の基に、一般的な形状や作業状況等に対応する作業方法や工法に関する資料等を集めて勉強している</p>
②施工要領、作業手順書等の作成	<p>○パソコンを利用して、施工要領書、作業手順書等を標準フォーマットに則って、上司の指導を受けながら作成している</p>
③顧客(設計事務所、元請、発注者)との調整	<p>○顧客(設計事務所、元請、発注者)との協議、打合せ等はすべて記録として保管し、上司に報告している</p> <p>○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの要望や打合せ事項等を、漏れなく上司の指示どおりに作業班に伝達している</p> <p>○上司の指示に基づいて、顧客(設計事務所、元請、発注者)に提出する安全書類等(新規入場者名簿、有資格者写し、健康診断書等)、施工要領書、作業手順書他必要書類の手配、作成をしている</p>

施工管理

施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工順序 ・ 材料の手配 ・ 運搬及び保管 ・ 材料の調合 ・ 作業員適正人員配置 ・ 関連他工事との調整 ・ 工程計画の確認 ・ 施工上の問題点の絞り込み <p>2. 施工関連計画書作成の理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工要領書、作業手順書の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左官施工工法(下地、仕上げ、特殊)内容 ・ 自社保有技術の適用 ・ 仮設計画内容 ・ 練り場、置き場の配置と生産性 ・ 施工図作成方法 <p>3. 文書、資料作成の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書、記録等の管理 ・ パソコンの取扱い ・ C A Dによる計画図作図 <p>4. 左官施工計画の説明、折衝の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法の図解説明 ・ 管理手法(特性要因図、A B C分析等)を活用したプレゼンテーション
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S011L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工計画書等作成及び打合せ	共通
	概要	建物の構造を把握し、顧客（設計事務所、元請、発注者）の要求事項を明確にした上で、施工方法を計画、提案し、顧客（設計事務所、元請、発注者）及び作業班と調整する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①設計図書、現場条件の把握	○左官工事の出来映えや工法、仕様、材料に不具合等が発生しないように、設計図、仕様書、施工図等の内容を確認している ○自らの経験や社内情報等と職長との打合せに基づいて、施工順序に従った材料の手配、運搬、保管、調合、作業者の配置等を上司の指導のもとに計画している ○材料調合が必要なものは使用日程を想定し、練り場、置き場への、材料入庫、調合、現場搬入計画等を作成しており、上司のチェックを受けて、社内のすり合せに同席して、打合せ調整方法を体得しようとしている	
②施工要領、作業手順書等の作成	○自らの経験や社内情報等に基づいて、施工要領書を作成し、上司のチェックを受けている ○施工図の不明点を質疑するとともに、不具合や手直し、手戻り等が発生しない方法を上司の指導のもと立案して、顧客（設計事務所、元請、発注者）へ提出している ○経験や施工実績に基づいて、経済的、合理的、効率的な作業や工法、出来映え等の改善提案を含めた施工要領書、作業手順書等を検討のうえ作成し、上司の承認を得ている	
③顧客（設計事務所、元請、発注者）との調整	○上司に同行して、施工計画書類（施工要領、作業手順、工程上の影響点、安全上の留意点等）を顧客（設計事務所、元請、発注者）に提示、説明している ○施工上、他業者との調整、練り場、置き場など協議を要する事項について、その条件の変更依頼を顧客（設計事務所、元請、発注者）に適切に伝えて記録に残し、上司に報告している	
④作業班との調整	○顧客（設計事務所、元請、発注者）が作成した仮設計画に基づいて、自社作業に関連する仮設項目（練り場、置き場の設置や揚重機の管理等）を職長の確認を受けて、作業のための事前準備事項や不足事項を確認しており、指摘事項があれば上司に報告している ○コンクリート打設時期等、他業者の作業進捗の説明を職長から受けるとともに、その進捗状況から逆算して作業班の乗込み時期や材料手配時期の目安を打合せして、上司に報告している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要望や打合せ事項を文書にまとめて、上司に報告し、内容の確認（場合によっては顧客折衝）をしてもらい、作業に関わる重要な事項は職長、作業班に洩れのないように説明し社内引継をしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から材料調合、下地、仕上げ施工において追加、変更依頼がある場合は、上司の承認を受けてから職長に状況を説明し対応を要請している	

●必要な知識

1. 左官施工計画の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工順序 ・ 材料の手配 ・ 運搬及び保管 ・ 材料の調合 ・ 作業員適正人員配置 ・ 関連他工事との調整 ・ 工程計画の確認 ・ 施工上の問題点の絞込み 2. 施工関連計画書作成の理知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工要領書、作業手順書の把握 ・ 左官施工工法（下地、仕上げ、特殊）内容 ・ 自社保有技術の適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設計画内容 ・ 練り場、置き場の配置と生産性 ・ 施工図作成方法 3. 文書、資料作成の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書、記録等の管理 ・ パソコンの取扱い ・ C A Dによる計画図作図 4. 左官施工計画の説明、折衝の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法の図解説明 ・ 管理手法（特性要因図、A B C分析等）を活用したプレゼンテーション
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S012L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工計画書等作成及び打合せ	共通
	概要	建物の構造を把握し、顧客（設計事務所、元請、発注者）の要求事項を明確にした上で、施工方法を計画、提案し、顧客（設計事務所、元請、発注者）及び作業班と調整する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理 施工技能
①設計図書、現場条件の把握	○練り場、置き場の稼働状況、他現場の工程、材料入庫、現場搬入を把握し、職長にアドバイスしている ○周辺の環境について現場調査方法や顧客からの情報入手方法を部下に指導している ○自ら施工要領書や作業手順書を作成するほか、施工実績や社内ノウハウを基に作業効率向上を踏まえて、部下の作成した施工要領や作業手順等の作成指導をしている		
②施工要領、作業手順書等の作成	○部下の作成した材料の手配、運搬、保管、調合、作業員の配置計画等について、最も生産効率の上がるように施工実績や社内ノウハウに基づいて指導している ○部下又は顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工技術的な相談がある場合は、構築物特性を踏まえた施工方法等を上司と相談しながら具体的な回答をしている ○施工図の不明点等を相談された場合、不具合や手直し、手戻りが発生しないような方法を自ら考え、上司に相談してその結果を確認している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要請で、実績等を基に、経済的、合理的、効率的な作業や工法、納まり等の改善提案等を検討、作成し上司の承認のもとに提案している ○誰にでもわかりやすい計画書や材料調合、下地、仕上げ施工工程表が作成できるように、標準フォーマットを設定して徹底させている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）との打合せに部下を同行して、書類内容の説明だけでなく、信頼性を高める誠意ある対応をすることを学ばせている		
③顧客（設計事務所、元請、発注者）との調整	○部下が顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せた記録に目をとおり、顧客満足優先で対応を考えているかどうかを確認し、適切な指導を実施している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）と調整した施工計画書類（施工要領、作業手順、工程上の影響点、安全上の注意点等）の不十分な箇所の改善指導をしている ○下地精度不良の場合、左官仕上げ後の品質、耐久性への影響を考慮して下地修正方法を提案し、必要に応じてトラブル防止のための覚書を交わしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）が作成した仮設計画から自社作業に関連する仮設項目を抽出し、職長、作業班と確認している		
④作業班との調整	○自社作業に関連する仮設（練り場・置き場の設置や揚重機の管理等）について他業種との共有可能なものや不足事項等があれば、顧客（設計事務所、元請、発注者）等と交渉や確認をした上で、作業班や職長に指示を出している ○部下から、作業班の乗込み時期や材料手配の報告を受け、全体工程表に基づき顧客（設計事務所、元請、発注者）と詳細スケジュールの確認を行っている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要望や打合せ事項を文書にまとめ、合意した作業に関する重要な事項は職長、作業班に漏れのないよう説明して社内引継をしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から材料調合、下地、仕上げ施工において追加、変更依頼がある場合、工期、利益確保を加味しながら職長に状況を説明し対処している ○利益を考慮して経験や情報を基に効率的な材料調合、下地、仕上げ施工を検討して適切な予算を組んでいる		

●必要な知識

1. 左官施工計画の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工順序 ・ 運搬及び保管 ・ 作業員適正人員配置 ・ 工程計画の確認 2. 施工関連計画書作成の理知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工要領書、作業手順書の把握 ・ 左官施工工法（下地、仕上げ、特殊）内容 ・ 自社保有技術の適用 ・ 練り場、置き場の配置と生産性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工図作成方法 3. 文書、資料作成の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書、記録等の管理 ・ パソコンの取扱い ・ C A Dによる計画図作図 4. 左官施工計画の説明、折衝の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法の図解説明 ・ 管理手法（特性要因図、A B C分析等）を活用したプレゼンテーション
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S013L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工計画書等作成及び打合せ	共通
	概要	建物の構造を把握し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求事項を明確にした上で、施工方法を計画、提案し、顧客(設計事務所、元請、発注者)及び作業班と調整する能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①設計図書、現場条件の把握		○自社の施工力を向上させるように、設計図、仕様書、施工図等のチェックポイントをまとめて、チェックできるように教育している ○練り場、置き場の稼働状況や各現場の工程、材料入庫、現場搬入状況を把握し、必要に応じて顧客（設計事務所、元請、発注者）と職長との調整、全社と現場との調整を図るなどしている ○周辺の環境について現場調査方法顧客（設計事務所、元請、発注者）からの情報入手方法を部下に指導している ○自ら施工要領書や作業手順書を作成するほか、施工実績や社内ノウハウを基に作業効率向上を踏まえて、部下の作成した施工要領や作業手順等の作成指導をしている			
②施工要領、作業手順書等の作成		○部下の作成した材料の手配、運搬、保管、調合、作業員の配置計画等について、最も生産効率の上がるように施工実績や社内ノウハウに基づいて指導している ○部下から技術的な相談がある場合には、施工実績や事例等を基に構築物特性を踏まえた施工技術・作業方法等を指導して、その実施結果を確認している ○部下から施工図等の不明点等を相談された場合は、不具合、手直し等が発生しないように作業ポイント・方法を具体的に指導して、その実施結果を確認している ○殆どの書式が標準化されるよう、パソコンを利用して様々な資料を作成することを全社的に推進しており、社内技術管理と効率化とを積極的に進めている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要請で、実績等を基に、経済的、合理的、効率的な作業や工法、納まり等の改善提案等を検討、作成し提案するよう指導している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）との打合せに部下を同行して、書類内容の説明だけでなく、信頼性を高める誠意ある対応をすることを学ばせている			
③顧客（設計事務所、元請、発注者）との調整		○部下が顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せた記録に目をとおり、顧客満足優先で対応を考えているかどうかを確認し、適切な指導を実施している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）と調整した施工計画書類（施工要領、作業手順、工程上の影響点、安全上の注意点等）の不十分な箇所の改善指導をしている ○＜野丁場＞事業主としての現場の安全と作業品質の点検、巡視を実施して、元請ゼネコンに報告している ○下地精度不良の場合、左官仕上げ後の品質、耐久性への影響を考慮して下地修正方法を提案し、必要に応じてトラブル防止のための覚書を交わしている ○顧客（設計事務所、元請、発注者）と調整した施工計画書類（施工要領、作業手順、工程上の影響点、安全上の注意点等）の不十分な箇所の改善指導をしている			
④作業班との調整		○各種データから各現場毎の工程確認を行っており、不足労務の現場には外注業者に応援を依頼するなど、全社的な視点からの調達を実施している ○部下から作業班の乗込み時期や材料手配の報告を受け、全体工程表に基づき顧客（設計事務所、元請、発注者）と詳細スケジュールの詰めを行っており、指導している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要望や打合せ事項を文書にまとめ、合意した作業に関する重要な事項は職長、作業班に漏れのないよう説明して社内引継を行うよう指導している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から材料調合、下地、仕上げ施工において追加、変更依頼がある場合、担当の部下が工期、利益確保を加味しているかどうかを最終チェックしている			

●必要な知識

1. 左官施工計画の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工順序 ・ 運搬及び保管 ・ 作業員適正人員配置 ・ 工程計画の確認 2. 施工関連計画書作成の理知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工要領書、作業手順書の把握 ・ 左官施工工法(下地、仕上げ、特殊)内容 ・ 自社保有技術の適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の手配 ・ 材料の調合 ・ 関連他工事との調整 ・ 施工上の問題点の絞込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練り場、置き場の配置と生産性 ・ 仮設計画内容 3. 文書、資料作成の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書、記録等の管理 ・ パソコンの取扱い ・ CADによる計画図作図 4. 左官施工計画の説明、折衝の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工方法の図解説明 ・ 管理手法(特性要因図、ABC分析等)を活用したプレゼンテーション
---	--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S014L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工管理	共通
	概要	顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求に基づき、自主的に行う施工管理業務及び工事現場全体を取りまとめる能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none">○上司の指示に基づいて作業標準の内容を理解し、不安全行動の有無、ヒヤリ、ハットの芽を摘取る安全作業かどうかを現場巡回において点検している○作業者の健康診断の実施状況を上司と共に把握している○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの作業安全指示書の内容を上司の指導の基に検討して、不明点を積極的に質問することで仕事の内容を理解しようとしている○上司の指導を受けながら、作業安全指示書どおりに現場作業が実施されているかをチェックして、確認した事項について上司に報告し、必要に応じて職長に結果を報告している			
②品質管理	<ul style="list-style-type: none">○品質管理基準値と記載された仕様書に相違が無いか、上司の指導を受けながら、事前に確認している○上司の指導に基づいて、顧客(設計事務所、元請、発注者)と連絡を取り、職長とともに顧客検査に立会って、その検査結果を上司に報告している			
③左官材、資機材の管理	<ul style="list-style-type: none">○左官材(下地、仕上げ施工用原材料等)を検品、搬入、指定場所に保管し、結果を上司に報告している			

●必要な知識

<p>1. 環境安全の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法等関連法令の左官工事の項目 ・作業安全指示書内容の理解 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味 ・KY活動、送り出し教育の意味と目的 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容理解 ・産業廃棄物処分に関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 <p>2. 原価管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業会計法 ・資金繰り計画 ・実行予算の作成及び管理 ・外注管理方法 ・コストダウンと生産性向上の管理技法(VE、IE他) ・予算と実績との原価対比分析 	<p>3. 工程管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表及び作業手順書 ・練り場、置き場の工程管理 <p>4. 品質管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質に関する各種管理基準値 ・左官材の形状、材質、メーカー等の特徴 ・JASS5、標準仕様書等の検査方法 ・品質自主点検項目の内容理解 ・不具合事例集の理解 ・社内品質管理水準の把握 <p>5. 資機材管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官工事の器工具や機械等の使用方法 ・仮設計画の作成方法 ・在庫管理(適正在庫、在庫調整)
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S015L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工管理	共通
	概要	顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求に基づき、自主的に行う施工管理業務及び工事現場全体を取りまとめる能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①原価管理	<ul style="list-style-type: none">○上司の指導の基で効率的な材料調合、下地、仕上げ施工等を検討し、社内標準化情報を参考にして予算組みを学習している○現場の状況に応じた材料や工法の選定、仮設の効率的な設置等コストダウンの方法等について上司の指導を受けて体得しようとしている○上司の指示により作業日報を集計し原価実績として予算対比表に記入している			
②工程管理	<ul style="list-style-type: none">○上司の指示のもと日程をシミュレーションし、工法及び作業工程を計画している○上司の指示で工程(日々、週間、月間)打合せに職長とともに出席し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の立場や状況等を理解するよう努力をしている○作業工程を基に作業班や材料の効率手配等の手順を作成し上司の指導を受けている○練り場、置き場の段取りやスケジュール調整等で調整がつかない場合は、上司に相談し双方が合意できるよう対応している			
③環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none">○顧客(設計事務所、元請、発注者)の安全パトロールに参加し現場の安全状況を確認しており、不具合がある場合は上司の指示により不具合箇所を指摘し職長に改善を要請している○安全協議会等に上司の代行として参加して、顧客(設計事務所、元請、発注者)が目指す安全内容と自社が徹底すべき安全活動を学習し上司に報告している○顧客(設計事務所、元請、発注者)の指示や作業所規則等に基づいて、現場乗り込み前に送出し教育を実施している○新規入場者教育、健康診断、安全打合せ(是正箇所、巡回チェック等)を日報等で確認し、不具合の場合は指摘、改善確認をするとともに結果を上司に報告している○作業安全指示書に基づいて現場作業を職長とともにチェックして、結果を上司に報告している○顧客(設計事務所、元請、発注者)から指示された安全提出書類、作業員名簿、安全衛生管理計画(体制)等を作成し、上司の承認を受け着工前に提出している○作業着手前に道具、機械の自主点検の実施、作業終了時は後片付け、整理整頓を確実に実施しているか職長とともに確認している○地域の行事には上司や職長とともに参加して、普段から練り場、置き場の近隣については挨拶するなどのコミュニケーションを職長、作業者とともに行っている			

次頁へ続く

④品質管理	<p>○注文書の元請下請役割分担の遂行内容を理解してその範囲内で品質が維持されているか確認している</p> <p>○職長に作業状況を確認し作業手順書どおりに作業が進まない場合には、上司に報告し対処方法について確認し、職長を通して顧客（設計事務所、元請、発注者）に相談し修正作業に反映させている</p> <p>○職長に自主検査（出来形と管理基準値を対比）の結果状況を確認し、品質に関わる不具合の指摘等がある場合は上司に報告し、対処方法を確認の上、職長を通して修正作業に反映させている</p> <p>○職長に他職種との取合い部分の状況を確認し、品質に関わる不具合の指摘等がある場合は上司に報告し、対処方法を確認の上、職長を通して修正作業に反映させている</p> <p>○職長に左官材（下地、仕上げ施工用原材料等）の品質状況を確認し、不具合の指摘等があった場合は上司に報告し、対処方法を確認の上、職長を通して作業に反映させている</p>
⑤左官材、資機材の管理	<p>○作業工程に基づいて作業に支障のない足場であるか現場から報告を受けており、使用する足場の不具合等が報告された場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）に相談し対応を要請している</p> <p>○左官材、関連材の顧客（設計事務所、元請、発注者）支給分と自社調達分を把握した上で、自社調達分は調達計画を作成して効率の良い購買を上司に提案している</p>

●必要な知識

<p>1. 環境安全の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法等関連法令の左官工事の項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の周知徹底方法 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味と会社の指導義務 ・KY活動、送り出し教育の周知徹底方法 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分にに関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 <p>2. 原価管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業会計法 ・資金繰り計画 ・実行予算の作成及び管理 ・外注管理方法 ・出来高査定 ・コストダウンと生産性向上の管理技法（VE、IE他） ・予算と実績との原価対比分析 ・施工条件を加味した正確な数量拾い出し ・材料調合、下地、仕上げ施工、組立に関する歩掛 	<p>3. 工程管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表及び作業手順書 ・練り場、置き場の工程管理 ・人員適正配置 <p>4. 品質管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質に関する各種管理基準値 ・左官材の形状、材質、メーカー等の判別 ・JASS5、標準仕様書等の検査方法 ・注文書や役割分担表の内容理解 ・取り合い業種の作業内容理解 ・品質自主点検項目の内容確認 ・不具合事例集の社内周知 ・社内品質管理水準の把握 <p>5. 資機材管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官工事の器工具や機械等の使用方法 ・仮設計画の作成方法 ・在庫管理（適正在庫、在庫調整）
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S016L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工管理	共通
	概 要	顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求に基づき、自主的に行う施工管理業務及び工事現場全体を取りまとめる能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①原価管理	<ul style="list-style-type: none">○計画より利益が下回る予想の場合は予算書の見直しを行い利益回復が可能な項目を洗い出し挽回すべく努力している○現場の状況に応じた材料や工法の選定や仮設の効率的な設置等にコストダウンを意識して、共通で使用可能なものは顧客（設計事務所、元請、発注者）や他職への交渉で共同使用を要請している○作業進捗を日報を基に確認し実行予算との対比分析を行い出来高は月次で把握している○出来高数量と取極価格を基に上司の承認後、事務方に請求と支払額の指示をしている○担当現場の総稼動人工数と材料費、運搬費用等を計算し工事原価を把握している○予算書と工事原価との費目別の差異を確認している		
②工程管理	<ul style="list-style-type: none">○顧客（設計事務所、元請、発注者）が要求する工程に施工管理職の立場で日程をシミュレーションし、要求に応じた工法及び作業工程を計画している○工程打合せ時に顧客（設計事務所、元請、発注者）へ資材置場、練り場、置き場、場内小運搬等の総合仮設の計画を提案し、両社にメリットのある作業環境を構築する努力をしている○工程表に基づいて関連他工種との調整を行い、工程短縮や作業の効率化等両社にメリットが出るようすり合せ、顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議して修正依頼をしている○作業工程に基づきムリ、ムダ、ムラの無い作業班、材料の手配、搬入、保管の計画をしており、全体工程管理の見地から工程調整も行っている○練り場、置き場と現場との段取り、スケジュール調整等について社内打合せでは対応を任されており、相互にメリットが出る方向で決めている○顧客（設計事務所、元請、発注者）の安全パトロールに参加し、現場の安全状況を確認するとともに不具合がある場合は安全日誌等から傾向を読み取り、社内会議で報告し全社的な改善提案をしている		
③環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none">○安全協議会に参加し、顧客（設計事務所、元請、発注者）が目指す安全内容と自社が徹底すべき安全活動をすり合せ、幹部会で報告し、全社的な安全活動を実施している○顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示や作業所規則等に基づいて、現場乗込み前に送出し教育を部下に実施させて、結果と効果の確認をしている○新規入場者教育、健康診断、安全打合せ（是正箇所、巡回チェック等）をする社内環境を整え、安全に対する啓蒙活動を職長とともに徹底している○作業安全指示書を活用し、部下からの報告を基に現場を統括的にチェック、指導し、是正箇所や教訓的な項目は今後に活かすようデータとしてまとめている○部下が作成した安全提出書類、作業員名簿、安全衛生管理計画（体制）等をチェックし、顧客（設計事務所、元請、発注者）提出前に安全活動を作業班に意識づけ徹底させている○自主点検等で不具合報告を受けた場合は費用や機器類の手配等で現場単位で解決できない事項は現場間の調整を含め対応している○練り場、置き場での近隣対策を職長（班長）とともに定期的に計画して部下に実施するよう指示している○注文書の元請下請役割分担の遂行内容が適正かどうかをチェックして、職長から契約以外の追加作業があった場合、顧客（設計事務所、元請、発注者）との協議を行い解決を図っている		

次頁へ続く

④品質管理	<p>○各現場が作業手順書通りに作業が進んでいるか管理しており、作業手順書通りに進まない現場や図面との差異がある場合は職長とともに顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議をし解決を図っている</p> <p>○各現場の自主検査結果を管理しており、不具合の現場が出た場合は是正処置結果を検証するとともに、予防処置として次の現場で活用するよう管理している</p> <p>○他職種との取合い部分で不具合がある場合は是正処置結果を検証するとともに、問題解決が図られない場合は他職種との調整や顧客（設計事務所、元請、発注者）との協議を行い対処している</p> <p>○左官材に不具合が発生した場合は是正処置結果を検証し、原因、対策、費用等の情報を顧客や仕入先に反映して問題解決を図っている</p> <p>○現場打合せで作業工程と仮設計画とのすり合わせを行い良い状態で作業するよう管理している</p>
⑤左官材、資機材の管理	<p>○共有仮設で不具合がある場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議し改善を要請している</p> <p>○各現場の左官材、関連材の調達を調整し、搬入、搬出、練り場、置き場の確保や材料調合、下地、仕上げ施工等の後工程に不具合が出ないよう現場作業を考慮した段取りをしている</p> <p>○左官材、関連材の自社調達をする場合（材工一式）は、発注ロットや市況等の総合的判断でタイミングよく発注している</p> <p>○新技術等の情報を自社の既存保有技術等との融合が可能かを自ら検討して、成果に結び付けられるものは現場で指示して実行させ、その結果を検証している</p>

●必要な知識

<p>1. 環境安全の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法等関連法令の左官工事の項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の周知徹底方法 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味と会社の指導義務 ・KY活動、送り出し教育の周知徹底方法 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分に関する現場のルール ・安全に関する行事の参画 <p>2. 原価管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業会計法 ・資金繰り計画 ・実行予算の作成及び管理 ・外注管理方法 ・出来高査定 ・コストダウンと生産性向上の管理技法（VE、IE他） ・予算と実績との原価対比分析 ・施工条件を加味した正確な数量拾い出し ・材料調合、下地、仕上げ施工、組立に関する歩掛 	<p>3. 工程管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表及び作業手順書 ・練り場、置き場の工程管理 ・人員適正配置 <p>4. 品質管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質に関する各種管理基準値 ・左官材の形状、材質、メーカー等の判別 ・JASS5、標準仕様書等の検査方法 ・注文書や役割分担表の内容判断 ・取り合い業種の作業内容の判断 ・品質自主点検項目の内容確認 ・不具合事例集の社内周知と徹底方法 ・社内品質管理水準の把握と向上方法 <p>5. 資機材管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官工事の器工具や機械等の使用方法 ・仮設計画の作成 ・在庫管理（適正在庫、在庫調整）
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S017L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工管理	共通
	概 要	顧客（設計事務所、元請、発注者）の要求に基づき、自主的に行う施工管理業務及び工事現場全体を取りまとめる能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①原価管理	<ul style="list-style-type: none">○部下が作成した実行予算の適正性を目標利益、社内標準化情報、自分の経験や情報を基に確認し、より効率的で实际的な予算書とすべく指導している○全現場単位または年間単位等のボリュームで材料や工法および仮設等の準備を検討して価格を想定し、顧客（設計事務所、元請、発注者）や業者と折衝している○必要に応じて実行予算と実績との対比報告を受けて利益予測をし、予測利益が目標を下回りそうな場合は対処方法を部下に指示している○部下から提出された請求、支払予定額が適正かどうか確認しており、過誤と考えられる場合は確認の上、自ら会社を代表して再度交渉している○現場別に総稼動人工数と材料費用などを確認し、全社の工事原価を把握している○予算書と工事原価との費目別差異を把握し管理会計情報や積算データとして活用している	
②工程管理	<ul style="list-style-type: none">○各現場の活動状況について定期報告を確認し、常に全社としての問題点と捉えて状況を把握し、解決のための指導を行っている○個別現場で人員計画の無理や不足が発生した場合には、現場間の施工班の融通や外注業者への増員依頼をしており、常に迅速に対応できる体制を確保している○作業工程に基づいたムリ、ムダ、ムラの無い作業班、材料の手配、搬入、保管の計画的実施を指導しており、全体工程管理の見地から工程調整も行っている○練り場、置き場の段取りやスケジュール調整等は各々の施工管理職に実施させて双方にメリットのある運営を指導しており、各々の状況等を総合的に判断して最終決定している	
③環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none">○顧客（設計事務所、元請、発注者）の安全パトロールに参加し現場の安全状況を確認するとともに、不具合の場合等は安全日誌等から傾向値を読み取り、社内会議で報告し全社的に改善を実施している○安全協議会に参加し、顧客（設計事務所、元請、発注者）が目指している安全内容と自社が徹底すべき安全活動をすり合せ、幹部会に報告後、全社的な啓蒙活動を統括的に推進している○顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示や作業所規則等に基づいて、現場乗込み前に送出し教育を部下に実施させ、結果と効果の確認をしている○新規入場者教育、健康診断、安全打合せ（是正箇所、巡回チェック等）をする社内環境を整え、安全に対する啓蒙活動を会社の責任として推進している○作業安全指示書を活用し、部下からの報告を基に現場を統括的にチェック、指導し、是正箇所や教訓的な項目は今後に活かすようデータとしてまとめている○部下が作成した安全提出書類、作業員名簿、安全衛生管理計画（体制）を最終確認し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に提出する前に、安全徹底の考え方を作業班に意識付け徹底したか、効果も含めて確認している○自主点検等で不具合報告を受けた場合は費用や機器類の手配等で現場単位で解決できない事項は現場間の調整を含め対応している○練り場、置き場での近隣対策を工場長とともに定期的に計画して部下に実施するよう指示している	

次頁に続く

④品質管理	<p>○注文書の元請下請役割分担の遂行内容が適正かどうかをチェックして、職長から契約以外の追加作業があった場合、顧客（設計事務所、元請、発注者）との協議を行い解決を図っている</p> <p>○各現場が作業手順書どおりの作業進捗か管理しており、作業手順書どおりに回らない現場や図面との差異がある場合は職長とともに顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議をし解決を図っている</p> <p>○他職種との取合い部分で不具合がある場合は是正処置結果を検証するとともに、問題解決が図られない場合は他職種との調整や顧客（設計事務所、元請、発注者）との協議を行い対処している</p> <p>○品質確保のため遵守すべき基準値の明確化と作業ルールを徹底し、他職種にも協力依頼をしている</p> <p>○左官材に不具合がある場合は是正処置結果を検証するとともに、原因、対策、費用等の情報を顧客（設計事務所、元請、発注者）や仕入先に反映し、問題解決を図っている</p>
⑤左官材、資機材の管理	<p>○現場打ち合わせ時、左官作業工程と仮設計画とのすり合わせを実施し、作業が最良の状態で行えるよう確認している</p> <p>○共有する仮設で不具合等が報告された場合は、顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議し改善の回答を引出すように部下を指導している</p> <p>○各現場の左官材、関連材の調達を調整し、搬入、搬出、練り場・置き場の確保や材料調合、下地、仕上げ施工等の後工程に不具合が出ないよう現場作業を考慮した段取りを指導している</p>

●必要な知識

<p>1. 環境安全の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法等関連法令の左官工事の項目 ・健康診断受診確認表の総合判断 ・作業安全指示書内容の周知徹底方法 ・職長、作業主任者の役割、責任の法的な意味と会社の指導義務 ・KY活動、送り出し教育の周知徹底方法 ・作業場の安全衛生計画の把握分析 ・安全テキスト、作業手順書の内容検討 ・産業廃棄物処分に關する現場のルール ・安全に関する行事の参画 <p>2. 原価管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業会計法 ・資金繰り計画 ・実行予算の作成及び管理 ・外注管理方法 ・出来高査定 ・コストダウンと生産性向上の管理技法（VE、IE他） ・予算と実績との原価対比分析 ・施工条件を加味した正確な数量拾い出し ・材料調合、下地、仕上げ施工、組立に關する歩掛 	<p>3. 工程管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表及び作業手順書 ・練り場、置き場の工程管理 ・人員適正配置 <p>4. 品質管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質に關する各種管理基準値 ・左官材の形状、材質、メーカー等の判別 ・JASS5、標準仕様書等の検査方法 ・注文書や役割分担表の内容判断 ・取り合い業種の作業内容の判断 ・品質自主点検項目の内容確認 ・不具合事例集の社内周知と徹底方法 ・社内品質管理水準の把握と向上方法 <p>5. 資機材管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左官工事の器具工具や機械等の使用方法 ・仮設計画の作成 ・在庫管理（適正在庫、在庫調整）
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S018L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	工事全体管理	共通
	概要	企業内の工事全体を管理すると共に技術、技能の社内蓄積、活用及び生産性向上に向けた取組みと人材育成を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①技術力向上	<ul style="list-style-type: none">○ISO品質管理、安全管理等のマネジメントシステムに準じた施工関連資料を収集して分析し、部門内で効率良く活用できるようにしている○協力業者施工は自社責任という観点から、普段から協力業者の技術レベルなどを把握して、自社社員と同等の教育をしている○生産性を改善するような施工事例情報を収集し電子化したり、施工方法等を自ら検討して会社の財産になるものはマニュアルや手順書として作成し、勉強会等を通じて共有と標準化に努めている○デジカメやVTRを活用して施工管理に関する記録を取っている○普段から経済的、合理的、効率的な作業の展開を目指しており、成果に結びつくものは職長と打合せして実施させている○自ら経験した仕事の各々の管理ポイントを業務フローとともに資料として体系化し、部下からの質問にはまず自分で考えさせてから、資料に基づいて体系立てて教育指導している	
②人材育成	<ul style="list-style-type: none">○作業要領書、作業手順書等の重要性をしっかりと意識させながら、その内容と具体的な作業段取り、材料調合、下地、仕上げ施工等の仕事の流れに対応させて教育指導をしている○部下に対する指導ポイントを明確にし、計画的な現場内教育を実施している○「エントリー」や若年層の部下に対しては挨拶などの基本的なビジネスマナーをきちんと指導している○適宜、部下に同行して顧客（設計事務所、元請、発注者）への対応方法を実地指導している○部下一人ひとりとの話し合いの場を持ち、各人の施工管理能力の良さとより強化すべき点等を話し合い、強化すべき点は改善目標を相談して設定し、能力向上を図る動機付けをしている○経営者や上司の補佐役的な立場で情報の一元管理を行うことにより、各工事工程の流れの中での人員計画や、全社的な調整により建設生産性管理を実施することに取組んでいる○経営者や上司と連携を取りながら構造物の特性（規模、構造、用途等）を検討・研究して、成果に結びつきそうな事項は現場に指示して実行させ、その結果を検証している○上司の指示を受けて、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対して調査診断に伴う事前説明を行い、現状の問題点と要望を聞き取り記録している	

●必要な知識

<p>1. 左官工事施工技術の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新工法(構造変更や仮設方法) ・施工マニュアルの標準化 ・コストダウン、工期短縮、省力化等の施工事例 <p>2. 技術管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理技法(VE、ISO、他) ・データベース構築 ・情報の一元管理(共通、共有化) <p>3. 教育訓練の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練ニーズの把握 ・教育訓練体系の作成 ・教育訓練カリキュラムの作成 	<p>4. 部下、後輩への接し方の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らのファーストアプローチ ・他人の悩み事の理解 ・励まし方、注意の与え方、話し方 ・OJT技法 <p>5. リーダーシップの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップスタイル分析 ・リーダーシップの適合条件と状況対応 ・モチベーションの与え方 <p>6. 協力業者育成の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力業者の技術レベル把握 ・協力業者育成方法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S019L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	工事全体管理	共通
	概要	企業内の工事全体を管理すると共に技術、技能の社内蓄積、活用及び生産性向上に向けた取組みと人材育成を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○業界紙誌や同業他社等から新技術の情報を収集し、自社の既存保有技術等と統合を施工管理職や現場管理職に指示して実行して検証を行っている ○ISO等を積極的に導入し、施工管理ノウハウの蓄積等に基づいた社内の管理技術力向上を図っている ○協力業者の会社全体の技術レベルなどを把握し、協力業者施工は自社責任との観点から、自社社員と同等の教育を実施するよう指示しており、優良協力業者には優先的発注等を実施して協力業者の意識を高め育成している ○生産性改善等に役立つような施工事例情報を収集し電子化し、施工マニュアルや作業手順書等の作成を指示して、施工ノウハウの共有と標準化を図っている ○デジカメやVTRを活用した施工管理記録を取り、それらを活用して技術の伝承に力を入れている ○普段から経済的、合理的、効率的作業の啓蒙をしており、顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示や要請に迅速に対応して、工法や納まり等の改善提案を積極的に行えるよう指導している 		
②人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○全社的人材育成計画に基づいて、部下一人ひとりに対する育成計画を立案させ、担当指導者も指名し、指導育成に当たらせている ○社内教育体系に基づいて人材育成計画を立案し、推進している ○部下の能力を見極め、経験や能力を身に付けさせるために担当現場のローテーションを実施している ○必要な場合には本人の上司から育成状況や課題などを確認して、さらなる指導方法を指示している ○部下一人一人との話し合いの場を持ち、各人の施工管理能力の良さとより強化すべき点等を話し合い、強化すべき点は改善目標を相談して設定して、能力向上を図る動機付けをしている ○生産性を改善するような施工事例情報を収集し、全社的に周知している ○情報の一元管理を行うことにより、各工事工程の流れの中での人員計画や全社的な調整により生産性管理を実施しており、その情報は施工管理職や現場管理職を指導するためのデータとして活用している ○構造物の特性（規模、構造、用途等）を研究し、品質管理、施工管理、原価管理、安全管理等の注意点を施工管理職や現場管理職に指示し、実施計画に反映させている 		

●必要な知識

1. 左官工事施工技術の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・最新工法（構造変更や仮設方法） ・施工マニュアルの標準化 ・コストダウン、工期短縮、省力化等の施工事例 2. 技術管理の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・管理技法（VE、ISO、他） ・データベース構築 ・情報の一元管理（共通、共有化） 3. 教育訓練の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練ニーズの把握 ・教育訓練体系の作成 ・教育訓練カリキュラムの作成 	4. 部下、後輩への接し方の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・自らのファーストアプローチ ・他人の悩み事の理解 ・励まし方、注意の与え方、話し方 ・OJT技法 5. リーダーシップの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップスタイル分析 ・リーダーシップの適合条件と状況対応 ・モチベーションの与え方 6. 協力業者育成の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・協力業者の技術レベル把握 ・協力業者育成方法
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S020L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画	共通
	概要	神社、仏閣、純日本建築及び歴史的西洋建築等の古い建物を対象にした劣化調査や診断を効果的に行い適切な、修復・復元方法を計画し提案する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①修復・復元技術診断調査	<ul style="list-style-type: none">○建物構造及び左官施工部分の状態から、修復診断の方法、使用材料の調査、材料調達の方法等を上司の指導を受けて実施している○神社、仏閣等の和風建築、重要文化財等の土壁(又は古い西洋建築)の劣化や災害による亀裂のダメージを上司の指導で調査している○建物構造及び左官施工部分の状態から、上司の指導のもと復元に適した使用材料(塗り壁の自然素材等)の調査を行い、材料調達の方法を検討している○診断調査結果に基づき、上司の指導のもと材料調合、下地、仕上げ施工に関する工法の選択、工期、施工図面等の修復計画を作成している		
②修復・復元計画作成	<ul style="list-style-type: none">○上司の指導のもと修復・復元計画を顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明し、理解と合意を得る努力をしている○修復・復元計画に基づき、修復・復元チームの編成を上司の指示の元に手配、段取りをしている		施工技能

●必要な知識

<p>1. 伝統左官技能知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本壁(木舞下地に壁土)の施工過程知識 ・荒土の材質の判別 ・スサ、のり、色土、石灰等自然素材の意味と特徴 ・下塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗りの塗り方の技法 ・京壁、砂壁、大津壁等の仕上げの高度技術・技法 ・気候、施工条件(乾燥期間、養生等)と塗り方のタイミング ・日本建築の歴史的な左官技法 ・日本建築の修復・復元の文献内容の理解 <p>2. 左官工事の規定・仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>3. 左官工事の施工技法・専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定(機械能力と作業量) ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトブラスター、石膏ブラスター、漆喰塗りなど) ・左官仕上げの不具合事例 ・漆喰彫刻等の装飾的表現 ・ナマコ壁、胴蛇腹、洗い出しの伝統左官技能の粋 	<p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・設計図及び仕様書の理解 <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズ(顧客からの声) ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S021L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元計画	共通
	概要	神社、仏閣、純日本建築及び歴史的西洋建築等の古い建物を対象にした劣化調査や診断を効果的に行い適切な、修復・復元方法を計画し提案する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	
①修復・復元技術 診断調査	<p>○診断チームを編成し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対して調査診断に伴う事前説明を行い協力を得ている。又それに伴う質問（診断方法、工期、予算など）にも適切に対応している</p> <p>○診断調査の方法、修復技術、専門家人脈等について調査研究を行い顧客（設計事務所、元請、発注者）や部下からの相談に的確に対応している</p> <p>○神社、仏閣等の和風建築、重要文化財等の土壁（又は古い西洋建築）の劣化や災害による亀裂のダメージを過去の工事履歴他を参考にしながら卓越技能者（L4）とともに部下に適切な調査診断方法を指導している</p> <p>○建物構造及び左官施工部分の状態から、復元に適した使用材料（塗り壁の自然素材等）の調査を行い、材料調達の方法について部下の相談を受けると共に調達先の選定と折衝を行っている</p>	施工管理 施工技能
②修復・復元計画作成	<p>○修復・復元チームの編成にあたり、特殊、高度なもの（材料調合、左官技能）が求められる場合、人脈を通じてチームを編成している</p> <p>○診断調査結果に基づき、材料調合、下地、仕上げ施工に関する工法の選択、工期、施工図面等の修復・復元計画の作成、又は部下の作成案に対する改善指導を行っている</p> <p>○診断調査結果から材料調合方法、下地、仕上げ施工に関して高度な工法が求められる場合、専門家の応援を得て修復計画を練り直し、伝統技法による修復・復元に卓越技能者（L4）とともに知恵を出している</p> <p>○修復・復元にあたり、他の職種（大工他）との事前調整や確認作業が必要な場合、リーダーシップをとって顧客満足の修復・復元計画を作成している</p> <p>○修復・復元計画を顧客（設計事務所、元請、発注者）に説明し、理解と合意とを得ている。又、修復・復元に伴う工期、予算、品質等に対する質問や要望に裏付けを持って答え、信頼される的確な対応をしている</p>	

●必要な知識

1. 伝統左官技能知識 <ul style="list-style-type: none"> ・日本壁（木舞下地に壁土）の施工過程知識 ・荒土の材質の判別 ・スサ、のり、色土、石灰等自然素材の意味と特徴 ・下塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗りの塗り方の技法 ・京壁、砂壁、大津壁等の仕上げの高度技術・技法 ・気候、施工条件（乾燥期間、養生等）と塗り方のタイミング ・日本建築の歴史的な左官技法 ・日本建築の修復・復元の文献内容の理解 2. 左官工事の規定・仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） 3. 左官工事の施工技法・専門知識+RC <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトブラスター、石膏ブラスター、漆喰塗りなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官仕上げるの不具合事例 ・漆喰彫刻等の装飾的表現 ・ナマコ壁、胴蛇腹、洗い出しの伝統左官技能の粹 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームニーズ（顧客からの声） ・健康志向としての左官ニーズ ・リフォーム市場の統計データ ・住宅品質確保促進法 ・日本住宅性能表示基準 ・瑕疵担保責任の特例
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S022L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	段取り	共通
	概要	顧客（設計事務所、元請、発注者）又は施工管理職から指示された条件を基に、作業班の事前準備を考え、作業者に指示し確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①入場前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○計画された体制と要求される工程から施工の進め方や役割分担等を計画し、作業者に乗込み日等を指示して必要な準備をさせている ○作業者が行った材料の手配（大手は材料支給、地元では左官が手配）、段取り等を確認して不足事項を再指示している ○乗込み前に顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せを行い、要求工程と自社施工体制の整合性を図るとともに、作業の全体把握のための施工計画書を確認している ○乗込み前現場打合せで作業計画等を入手し、作業者に作業指示するとともに、送出し教育の指導をしている ○新しい施工方法等に現場で取組む場合には実作業前に勉強会を開催したり講習会に参加できるように会社に要請している ○工程表、作業手順書等を基に左官作業の流れ等を想定し、作業者に役割分担と作業手順の説明を行っている 	
②作業手順等の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○作業班の編成の際に、作業員名簿に基づき、役割、責任、分担の確認と作業内容を基に指示をしている ○他職種業者との取合い部分の工程を把握し打合せで円滑な作業ができるように依頼をしている ○工程表、作業手順書等を基に前工程、後工程を確認し、工程遅れが生じる場合の打合せを他職種業者としている ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工上の不具合や健康志向、アレルギー対策等を相談された場合、自工程で出来る方法を検討し顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認を得て作業者に指示をしている 	
③現場状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞作業者に現場作業に必要な準備事項を抽出させて現場で確認し、不備な部分がある場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）に対応依頼するとともに改善策を検討している ○周辺環境や養生等に留意し、作業者の視点と顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示事項に従って事前対策を立てて、作業日誌等に残している ○他職種とのあいばん作業における問題点を顧客（設計事務所、元請、発注者）と解決策を協議して、承認を得たあと作業者に指示を出している ○想定外の作業遅延要件が発生した場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議し、議事録や日報等で明確にして施工管理職に報告している 	
④材料、器具・工具の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○作業者が管理している器工具類の破損、磨耗等の使用状況を適宜点検し、良好な状態で使用するよう指示している ○作業から提出された作業に必要な器工具類の申請書を確認し、代替が必要な場合は作業に支障が出ないように手配等を指示している ○＜町場＞ミキサー、マゼラー等作業に必要な現場持込み機械類について、作業場所・環境の確保のため、事前に顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認をもらっている 	
⑤作業前の準備	<ul style="list-style-type: none"> ○精度確保が必要な作業等には作業に適した者とともに、必要材料や適切な器工具の正確な使用を指示している ○前工程、後工程の出会い丁場等の場合には他職種業者と調整をし作業環境の整備にあたっている 	

●必要な知識

1. 安全衛生の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・安全装置や保護具の性能及び取扱い ・作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 ・作業手順書（送出し教育用テキストとして） ・安全作業の周知徹底 ・労働安全衛生法による義務としての職長教育 2. 作業段取りの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業現場乗込み前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・工程表や作業手順書の読解 ・現場作業に必要な準備事項（使用工具や材料等の数量確認） <ul style="list-style-type: none"> ・左官作業手順（段取り等） ・現場近隣協定等の周知徹底事項 3. 左官作業の実務知識 <ul style="list-style-type: none"> ・現場と設計の食い違いの解決 4. 作業関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の不具合に関する事例 ・新工法や作業改善の事例
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S023L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	段取り	共通
	概要	顧客（設計事務所、元請、発注者）又は施工管理職から指示された条件を基に、作業班の事前準備を考え、作業者に指示し確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①入場前準備	<ul style="list-style-type: none">○計画された体制と要求される工程から施工の進め方や役割分担等を計画し、作業者に乗り込み日等を指示して必要な準備をさせている○複数現場分の材料の手配、段取り等の報告を受け、調整が必要な場合は的確な指示を出している○乗込み前に顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せを行い、要求工程と自社施工体制の整合性を図っており、作業の全体把握のための施工計画書を確認し、他現場との調整作業を行っている○乗込み前現場打合せで作業計画等を入手し、作業者に作業指示するとともに、送出し教育の指導をしている○新しい施工方法等に現場で取組む場合は事前の勉強会や講習会に会社としての判断で参加させている○打合せ時に工法や作業改善について顧客（設計事務所、元請、発注者）から要請された場合には、施工管理職と相談し施工検討案を提出している	
②作業手順等の確認	<ul style="list-style-type: none">○職長から提出した作業員名簿を基に作業班の編成、作業員の役割、責任、分担の確認報告を受け、必要であれば適任者の配備調整をしている○職長から他職種業者との取合い部分の相談を受けた場合、会社としての立場で調整を行っている○工程表、作業手順書等を基に前工程、後工程を確認し、工程遅れが生じる場合の打合せを他職種業者としている○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工上の不具合や健康志向・アレルギー対策等を相談された場合、自工程で出来る方法を検討し顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認を得て作業者に指示をしている	
③現場状況の確認	<ul style="list-style-type: none">○＜町場＞作業者に現場作業に必要な準備事項を抽出させて現場で確認し、不備な部分がある場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）に対応依頼するとともに改善策を検討している○周辺環境や養生等に留意し、作業者の視点と顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示事項に従って事前対策を立てて、作業日誌等に残している○他職種とのあいばん作業における問題点等を顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議して、解決策の承認を得たあと職長に指示を出している○想定外の作業遅延要件が発生した場合は顧客（設計事務所、元請、発注者）と協議し、議事録や日報等で明確にして施工管理職に報告後、再発しないように対策等を全社的に周知している	
④材料、器具・工具の確認	<ul style="list-style-type: none">○作業者が管理している器工具類の破損、磨耗等の使用状況を適宜点検し、良好な状態で使用するよう指示している○職長から提出された作業に必要な器工具類の申請書を確認し、代替が必要な場合は早めに承認し、準備指示をしている○＜町場＞ミキサー、マゼラー等作業に必要な現場持込み機械類について、作業場所や作業環境の確保のため、事前に顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認をもらっている	
⑤作業前の準備	<ul style="list-style-type: none">○精度確保が必要な作業等には作業に適した者とともに、必要材料や適切な器工具の正確な使用を指示している○前工程、後工程の出会い丁場等の場合には他職種業者と調整をし作業環境の整備にあたっている	

●必要な知識

1. 安全衛生の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・安全装置や保護具の性能及び取扱い ・作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 ・作業手順書（送出し教育用テキストとして） ・安全作業の周知徹底 ・労働安全衛生法による義務としての職長教育 2. 作業段取りの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業現場乗込み前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・工程表や作業手順書の読解 ・現場作業に必要な準備事項（使用工具や材料等の数量確認） ・現場近隣協定等の周知徹底事項 ・左官作業の実務知識 ・現場と設計の食い違いの解決 ・作業関連知識 ・作業の不具合に関する事例 ・新工法や作業改善の事例
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S024L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工作業管理
	概 要	顧客（設計事務所、元請、発注者）の要求するQCDS（品質、コスト、工程、安全、環境）の作業管理を主体的に現場で実施する能力。また、変更点、問題点等を顧客（設計事務所、元請、発注者）及び施工管理職と打合せて対処する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①品質管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客（設計事務所、元請、発注者）と自社の役割分担を工事条件書等から確認し、その範囲で施工品質が維持できるよう作業者に指示している ○作業手順書どおりの左官作業がチェックして、不具合には是正方法を指示し結果を確認している ○品質を確保するために自主検査項目を徹底し、顧客（設計事務所、元請、発注者）の作業所ルールに従った記録を作成している ○＜町場＞作業から施工品質上の不具合や図面との食違いの報告がある場合は、施工図等を再確認して顧客（元請、発注者）と協議しており、顧客（設計事務所、元請、発注者）の承認を得て作業者に是正の指示をしている ○他職種との取合い部分で不具合がある場合は内容検討後、代替案を持ち上司とともに顧客（設計事務所、元請、発注者）と対処方法を協議しており、決定事項を基に作業者に指示をしている
②工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客（設計事務所、元請、発注者）作成の工程表に基づいて、左官作業の週間及び月間作業計画を作業者に説明し指示している ○毎日の作業後に出来高を計画と対比し工期が遅れないよう工程計画の調整を検討している ○現場全体打合せにおいて他職種業者と関わる問題点や調整ポイント等を確認し、円滑に作業を遂行できる方法を提案している ○＜町場＞毎日の作業打合せで指摘された作業工程上の問題点や調整ポイント等を顧客（設計事務所、元請、発注者）に確認して解決方法を一緒に検討している
③環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客（設計事務所、元請、発注者）の安全パトロールに参加し、現場の安全状況を確認するとともに不具合がある場合は、社内会議で報告している ○KY活動に全員を参加させて作業員全員が積極的に発言するように配慮している ○作業標準を遵守して、不安全行動やヒヤリ・ハット等の芽を摘取る安全作業の確認をしており、作業員全体に徹底している ○送出し教育や新規入場者教育、健康診断等を作業員全員に受けさせ、顧客（設計事務所、元請、発注者）との安全打合せ（是正箇所、巡回チェック等）に参加している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）からの作業安全指示書の内容に従って現場内をチェックしており、是正箇所や留意点等を作業員に周知徹底している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から指示された安全提出書類、作業員名簿、安全衛生管理計画（体制）等を着工前に施工管理職経由で提出している ○作業員が実施した自主点検や整理整頓等を確認し不備な点は徹底指導している ○地域の行事には積極的に参加し、普段から練り場、置き場等の近隣については挨拶などのコミュニケーションを取るよう指示している
④材料、器具・工具の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○左官材料の管理を、品質を損なわないように、適切な集積、養生方法などを計画し作業指示を出している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）へ追加届出の必要な持込機械や道具等の事項は会社へ依頼し届出をしている ○器具工具類（モルタルミキサー、ポンプ車、マゼラー）などの在庫や稼働状況等の確認を作業員に指示し、作業工程に照合した計画的な調達を行っている ○作業工程に基づいて左官材、関連材の在庫状況の確認を作業員に指示して常に適正管理している

施工管理

施工技能

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法の事業者責任（送出し教育や健康診断等の義務） ・KY活動 ・安全管理活動の実施方法 2. 作業管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の作業工程 ・職長からの指示内容 ・施工体制台帳 ・作業安全指示書の周知徹底 ・左官工事で使用する器具工具や機械等の取扱い方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官材料の在庫管理 ・工事特性からの重点作業管理項目 ・月間・週間作業工程 ・建設リサイクル法に基づく廃材分別 3. 建設関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・工程計画（バーチャートやガントチャート等） ・建築基準法関連法令の左官工事に関する事項 ・左官材料の在庫管理
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S025L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工作業管理	共通
	概要	顧客(設計事務所、元請、発注者)の要求するQCDS(品質、コスト、工程、安全、環境)の作業管理を主体的に現場で実施する能力。また、変更点、問題点等を顧客(設計事務所、元請、発注者)及び施工管理職と打合せて対処する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①品質管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客(設計事務所、元請、発注者)と自社の役割分担を工事条件書等から確認し、その範囲で施工品質が維持できるよう職長に指示している ○作業手順書と通りの左官作業が行われているかを職長にチェックさせ、不具合には適正な是正対策をしているかを検証している ○品質を確保するために職長に自主検査項目を徹底するように指示を出し、顧客(設計事務所、元請、発注者)の作業所ルールに従うように指導している ○＜町場＞職長から施工品質上の不具合や図面との食違いの相談がある場合は、施工図等を再確認して顧客(設計事務所、元請、発注者)と協議して承認を得た上で是正の指示をしている ○他職種との取合い部分で不具合がある相談を受けた場合、職長から代替案の説明を受け、それを基に顧客(設計事務所、元請、発注者)と対処方法を協議している 	
②工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客(設計事務所、元請、発注者)の工程会議に出席し、他職種業者との調整役を任されて、躯体に関わる工程管理の一部を実施、管理している ○作業工程に基づいてムリ、ムダ、ムラの無い作業遂行を維持して、作業の総移動人工数や材料、運搬費用等も会社として全体数値を把握をしている ○現場全体打合せにおいて他職種業者と関わる問題点や調整ポイント等を確認し、円滑に作業を遂行できるように他職種業者と調整をしている ○＜町場＞毎日の作業打合せで指摘された作業工程上の問題点や調整ポイント等を顧客(設計事務所、元請、発注者)に確認して解決方法を一緒に検討している 	
③環境、安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客(設計事務所、元請、発注者)の安全パトロールに参加し、現場の安全状況を確認するとともに不具合がある場合は安全日誌等から傾向を読み取り、社内会議で報告し全社的な改善提案をしている ○危険度の高い作業の場合、陣頭指揮をとって作業の安全確保に全力を注いでいる ○作業標準を遵守して、不安全行動やヒヤリ・ハット等の芽を摘取る安全作業の最終的な確認・報告を職長から受けている ○送出し教育や新規入場者教育、健康診断等を作業者全員に受けさせ、顧客(設計事務所、元請、発注者)との安全打合せ(是正箇所、巡回チェック等)に現場責任者として参加している ○顧客(設計事務所、元請、発注者)からの作業安全指示書の内容に従って現場内をチェックした報告を職長から受け、必要であれば是正箇所や留意点等を指示している ○顧客(設計事務所、元請、発注者)から指示された安全提出書類、作業員名簿、安全衛生管理計画(体制)等を着工前に施工管理職経由で提出している ○職長から、自主点検や整理整頓等の報告を受け、実施状況をを確認し必要であれば是正箇所や留意点等を指示している ○地域の行事には積極的に参加し、普段から練り場、置き場等の近隣については挨拶などのコミュニケーションを取るよう指示している 	
④材料、器具・工具の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○左官材料の管理を、品質を損なわないように、適切な集積、養生方法などを計画し作業指示を出している ○顧客(設計事務所、元請、発注者)へ追加届出の必要な持込機械や道具等の事項は会社へ依頼し届出をしている ○器具工具類(モルタルミキサー、ポンプ車、マゼラー)などの在庫や移動状況等の報告を受け、作業工程に照合した計画的な調達を行うように職長に指示をしている ○作業工程に基づいた左官材、関連材の状況を把握し、適正管理するように職長に指示をしている 	

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法の事業者責任(送出し教育や健康診断等の義務) ・KY活動 ・安全管理活動の実施方法 2. 作業管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の作業工程 ・施工体制台帳 ・工事特性の重点作業管理項目 ・職長からの指示内容 ・作業安全指示書の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官工事で使用する器具工具や機械等の取扱い方法 ・左官材料の在庫管理 ・建設リサイクル法に基づく廃材分別 ・建設関連知識 ・工程計画(バーチャートやガントチャート等) ・建築基準法関連法令の左官工事に関する事項 ・左官材料の在庫管理
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S026L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	材料調合の管理	共通
	概 要	施工法や施工場所、環境などにより適切な材料の選択と調合について作業者に指示し、それらを確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理 施工技能
①材料の選定	○施工図等の設計図書や現地状況に基づいて、当該現場に最適な左官材料を選定して調合するよう作業者に指示している ○難易度の高い早強剤、リフリート等の選定、調合に関しては、熟練、卓越技能者と相談して行っている ○左官材料の特性を十分理解して使用方法(混ぜる量等)と仕様(混ぜてはいけないもの等)についての違いを作業者によく説明している		
②調合の確認	○作業者が調合した材料が当該現場の仕様に合致しているかどうか確認して、不適合があれば指摘し正確な調合方法を指導し再発防止を図っている		
③運搬の指示	○材料運搬は作業効率を向上できるように現場状況に合致した最適化段取りを考慮して、作業指示を行っている		

●必要な知識

<p>1. 左官材料の管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント（こね場）の配置、動線、容量等の計画 ・動力や水等の効果的な設備の選定 ・主要材料（固結材、結合材、骨材）の保管方法 ・左官材料の特徴と品質 ・下地構造や仕上げ方法と左官材料との相性に関する理解 ・自然素材と既調合材料との管理方法の違い <p>2. 材料調合の管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの場合の材料選定（練混ぜ方の仕様書による手順と適用範囲、使用制限の理解） ・作業の塗り方、作業スピードによる練混ぜ容量の理解 	<p>3. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工順序 ・材料の手配 ・運搬及び保管 ・材料の調合 ・作業員適正人員配置 ・関連他工事との調整 ・工程計画の確認 ・仮設計画内容 ・練り場、置き場の配置と生産性
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S027L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	材料調合の管理	共通
	概要	施工法や施工場所、環境などにより適切な材料の選択と調合について作業者に指示し、それらを確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①材料の選定	○常に工事利益確保や作業効率化を前提に、施工図等の設計図書や現地状況に基づいて、当該現場に最適な左官材料を選定して調合するよう職長に指示している		
	○難易度の高い早強剤、リフリート等の選定、調合に関しては、直接職長に指示を出している		
	○左官材料の特性を十分理解して使用方法(混ぜる量等)と仕様(混ぜてはいけないもの等)についての違いを作業者によく説明している		
②調合の確認	○作業者が調合した材料が当該現場の仕様に合致しているかどうか確認して、不適合があれば指摘し正確な調合方法を指導し再発防止を図っている		施工技能
③運搬の指示	○材料運搬は作業効率を向上できるように現場状況に合致した最適化段取りを考慮して、作業指示を行っている		

●必要な知識

<p>1. 左官材料の管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント（こね場）の配置、動線、容量等の計画 ・動力や水等の効果的な設備の選定 ・主要材料（固結材、結合材、骨材）の保管方法 ・左官材料の特徴と品質 ・下地構造や仕上げ方法と左官材料との相性に関する理解 ・自然素材と既調合材料との管理方法の違い <p>2. 材料調合の管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの場合の材料選定（練混ぜ方の仕様書による手順と適用範囲、使用制限の理解） ・作業の塗り方、作業スピードによる練混ぜ容量の理解 	<p>3. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工順序 ・材料の手配 ・運搬及び保管 ・材料の調合 ・作業員適正人員配置 ・関連他工事との調整 ・工程計画の確認 ・仮設計画内容 ・練り場、置き場の配置と生産性
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S028L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	下地塗りの管理	共通
	概 要	仕上げのための下地塗りを行う場合、下地構造の精度や状態を点検し、壁、天井のほか庇、窓台、抱き回り等も含めて作業品質適確保の作業指示を与える能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①下地材料の点検、処理		<ul style="list-style-type: none">○外壁、内壁、柱、開口部等の作業実施前に、各部位及びその周辺清掃(クリーン化)しているかを確認して作業指揮をしている○鋼製金網類(ラスシート、平ラス、ワイヤーラス)下地の場合、仕様書に従い重ね継手、補強張り、カ骨等を入れているかどうかを点検しながら作業を指揮している○鋼製金網類(ラスシート、平ラス、ワイヤーラス)下地の作業手順を現場状況に合わせて見直し、所定の留め方、張り方の作業が行われているかを確認している○下地精度不良の場合、左官仕上げ後の品質、耐久性への影響を考慮して、下地修正を指摘、提案している。必要に応じてトラブル防止のために覚書を交わすことを施工管理職(統括責任者)へ助言している○現場工程に基づき、Pコンのモルタル埋めを作業者に指示して作業全体を指揮している○現場工程に基づき、防塵マスクや防塵めがねを着用して壁面にサンダー掛けをするよう作業者に指示し、作業全体を指揮している○コンクリート面やコンクリートブロック面等における下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、水系などであたりを付け、塗り厚が均一になるように点検して、作業者に是正を指示している○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、コーナー材を精度良く取り付けているかどうかを確認して、作業全体を指揮している○下地の表面状態が仕上げ厚に適しているかどうか(有害な不陸、目違いなど)を確認した上で、作業に取りかかるように作業者に指示して、不具合箇所を修正するように指示している○コンクリート下地の場合、平滑面、打ち継ぎ面の処置(目荒らしをしているか、丸セパレーターの穴や打ち継ぎにセメント防水処理をしているか等)をした上で、水洗い清掃し、次の作業に取りかかっているかどうかを確認しながら作業全体の指揮をしている○コンクリート下地の場合、型枠撤去後、作業手順に則り、豆板(ジャンカ)にモルタルを充填し、浮いている部分を削り取ったり、不陸の著しい箇所は付送りしているかを確認しながら作業全体を指揮している○ALCパネルの下地の場合、躯体に完全に固定されていることを確認し、作業手順に則り接合部にモルタル詰めをするように作業者に指示している○Pca(プレキャスト)パネル下地の場合、表面レイタンスやはく離剤の付着を取り除き、作業手順に則り接合部はモルタル(コンクリート)を充填するように作業者に指示している○＜町場＞木造軸組の場合、柱と梁等の接合をボルト2度締めをしているか確認して、弛んでいるような場合は顧客(設計事務所、元請、発注者)に報告している			
②下地塗り		<ul style="list-style-type: none">○左官材塗り面のコンクリートの状態を確認して、作業手順に則り、適正な時期に接着剤の塗布を行っているかどうかを作業指揮している○墨出しの基本が仕上げの良し悪しを決定する要因であることを作業者に説明して、墨出し作業を丁寧に確認している○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、水系などであたりを付け、塗り厚が均一になるように点検して、是正箇所があれば作業指示をしている○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、コーナー材を精度良く取り付けているかどうかを確認して作業指揮している○タイル下などの貼り物下地の場合、仕様書に記述された適合した材料と塗り厚による工程、養生期間を守って、下地塗り作業をしているかどうかを作業指揮している○塗装や吹き付け等の下地の場合、仕様書に記述された適合した材料と塗り厚による工程、養生期間を守り、求められる精度を確保した下地塗り作業を行っているかを作業指揮している○クロス貼りなどの下地の場合、仕様書に記述された適合した材料と塗り厚による工程、養生期間を守り、求められる精度を確保した下地塗り作業を行っているかどうかを作業指揮している○コンクリート下地の場合、作業手順に則り下地塗りを施し、横の櫛目を引いたり、目地を取付けているかどうかを作業指揮している○施工図に従った大きさ、位置に化粧目地を作っているかどうかを確認しながら作業指揮している○薄塗り仕上げでは、仕様書に記述された適合した材料の使用や作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っているかを確認して、是正箇所があれば作業指示をしている○厚塗り仕上げでは、仕様書に記述され適合した材料や工程・養生期間等の作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っているかを確認し、是正箇所があれば作業指示をしている			

次頁へ続く

<p>③庇、窓台、抱き回り、その他 (笠木、巾木)</p>	<p>○下地がコンクリート、木造いずれの場合でも壁との取合い、サッシのちりを確認し、所定の水勾配をつけて墨出し、塗り厚を精度よく決めているかを確認しながら、作業指揮をしている</p> <p>○下地施工後しっかり養生された状況を確認・判断して是正箇所を作業指揮している</p> <p>○作業手順に従って箱定木を作り、壁に取り付け、出来映えの良い塗り込み押え仕上げをしているかどうかを作業指揮している</p> <p>○＜町場＞壁との取合いを確認して、漏水防止のコーキング目地を入れ取外し後コーキングを注入しているかどうかを作業指揮している</p> <p>○作業手順に従って見上げ面の仕上げは、庇、天井に雨水が廻らないよう確認し、箱定木を作って水切り(おだれ)を設けているかどうかを作業指揮している</p> <p>○笠木の場合、取合い埋め込み金物等を事前に確認し、水切りを作っているかを作業指揮している</p> <p>○巾木の場合、出巾木、入り巾木、同一面巾木の各施工手順に従い、墨出し、塗り厚調整、仕上げをしているかどうかを作業確認している</p>
-----------------------------------	--

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・ 建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・ 建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・ 左官施工法（日本左官業組合連合会） ・ 左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード） ・ 左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・ 仕上材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗りなど） ・ 左官仕上げの不具合事例 	<p>3. 下地塗りの作業管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下地塗り材料の種類と特性 ・ 目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・ 各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・ 鏝（こて）押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・ 他の仕上げとの関連性
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S029L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	コンクリート打放し薄塗り仕上げの管理	共通
	概要	前工程であるコンクリート打設等の打放し素地を、適正な仕上げ表面にするように作業指示とそれらの確認をする能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理
①コンクリート打設後の全面薄塗り、部分薄塗り	<p>○現場工程から判断して、Pコンのモルタル埋めを、所定の品質が得られるように実施しているかどうかを作業指揮している</p> <p>○現場工程から判断して、壁面のサンダー掛けを所定の品質(浮きや目違いの修正)が得られるように実施しているかどうかを作業指揮している。サンダー掛けの場合には、資格者の指導の基に防塵メガネ、マスクを必ず着用するよう指導している</p> <p>○平滑面、打継ぎ面の処置(目荒らしをしているか、丸セパレーターの穴や打継ぎにセメント防水処理をしているか等)を確認した上で、水洗い清掃し、次の作業に取りかかるように作業指揮している</p> <p>○コンクリート下地の場合、型枠撤去後、豆板(ジャンカ)にモルタルを充填し、浮いている部分を削り取ったり、不陸の著しい箇所は付送りするかどうかを顧客(設計事務所、元請、発注者)の指示に従って作業指揮している</p> <p>○打放し仕上げとして、専用器具によってPコン処理仕上げを行い、所定の品質が得られるように作業確認している</p>	
②仕上げ	○打放し仕上げ面の状態によって、施工方法、材料などを確認し全面薄塗り、部分薄塗りの作業指揮をしている	施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・ 建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・ 建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・ 左官施工法(日本左官業組合連合会) ・ 左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード) ・ 左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・ 左官仕上げの不具合事例 ・ 下地処理の点検方法 ・ 目地の役割と付け方 ・ 定木の使い方と精度の確認 	<p>3. 下地塗りの作業管理知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下地塗り材料の種類と特性 ・ 目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・ 各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・ 鏝押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・ 他の仕上げとの関連性 <p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート下地劣化の構造 ・ 塗装の劣化原因 ・ シーリングの劣化原因 ・ 建物診断方法(外観目視、打診他) ・ 補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・ エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・ 前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・ 後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・ 設計図及び仕様書の理解
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S030L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	床の仕上げの管理	共通
	概要	土間や均しコンクリート、階段モルタル、三和土床などの床の仕上げに関し、各部位に合致した適正な作業ポイントを指示しそれらを確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①床及び土間 コンクリート 直か仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○仕上げ用の基準墨を確認し、所定の水勾配かどうか確認している ○コンクリート直か仕上の場合、コンクリート打設後、手際よく所定の高さに荒均し、タンピング、定木ずりして平坦に敷均している ○コンクリート面が締まってきたタイミングを感じとり、木罫(こて)を用いて、中むら取りをしている ○金罫(こて)仕上げをする場合は、罫(こて)むらと凸凹を生じさせない精度の高い平滑さで仕上げているかどうかを作業確認している ○最終金罫(こて)仕上げの時期をコンクリートの締まり具合から判断して適度な力で出来映えの優れた最終仕上げをしているかどうかを作業指揮している ○Pca(プレキャスト)パネル下地の場合、前工程の作業である表面レイタンスやはく離剤の付着を取り除いているか、接合部はモルタル(コンクリート)を充填しているかを確認した上で、仕上げの段取りをしている 	
②床、階段 モルタル仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○下地コンクリートの不陸部分を作業手順に従ってモルタル調整し、表面に所定の櫛目を引いているかどうかを作業確認している ○内部モルタル塗りの場合、張り物下地(じゅうたん、カーペット、Pタイル)になることを考慮して不陸、罫(こて)むらが目立たない精度の均し仕上げをしているかを作業指揮している ○塗り、均し面積に応じたスピードで、定木ずりや機械罫(トロウエル)を活用しているかを作業指揮している ○外部床モルタル仕上げの場合、目地切り、水勾配、他の仕上げの取合いを考慮して均し面積に応じたスピードで均しをしているかどうかを作業指揮している ○施工区画の歩行動線を事前に決めて塗継ぎのない指導をしている ○塗付け後の散水養生、養生期間を守り、亀裂や剥離を生じさせないように作業指示を出している 	
③セルフレベリングによる均し 仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○石膏系とセメント系の2種類の材料特性(石膏系は耐水性に乏しい)に応じた使い分けを自ら判断して、元請と協議し指示を受けている ○下地の状態、処理を確認後、打設スピードに合わせた練混ぜを作業指揮している ○トンボを用いて打設を行い、打継ぎ部はタッピングにより、新旧の材料を馴染ませている ○打設後の養生を仕様書(手順書)を守り、硬化後のひび割れ、不陸、気泡跡を生じさせないコツを作業指導している ○不陸やムラの補修があればその方法を指示している 	
④三和土(たたき)床仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞山土に石灰等を混ぜて枠の中で均し、要領よくつき固めているかを作業指揮している 	

●必要な知識

<ol style="list-style-type: none"> 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事) ・建築工事監理指針(同上)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上)・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例・他の仕上げとの関連性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・罫(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・床仕上げ面積と作業スピードの関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の配置と作業動線の関連知識 ・仕上がり面の精度の点検方法 ・天候、施工条件による作業変更(養生期間、塗り方の順序等)の知識 3. 下地塗りの作業管理知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性・他の仕上げとの関連性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・罫(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因・設計図及び仕様書の理解 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S031L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	仕上げ塗り壁施工の管理
	概 要	塗り壁施工に関し、セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、繊維壁、吹付化粧仕上げ、人造石などの各施工方法の適切な作業ポイントを指示し、それらを確認する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
① 鏝(こて)塗りの技能確認	<ul style="list-style-type: none"> ○塗り方の基本を守って塗り作業しているかを確認しながら仕上げ面のひび割れや剥離がなく、均一な状態であるかを点検している ○下地によって左官材料(混和剤の分量等)の加減を作業前に調整し、仕上げの出来映えをよくする最適な塗り方を実践しているかどうかを確認している ○壁に対する鏝(こて)の角度が適切であり、凸凹やムラ、波跡無く均一に仕上げているかどうかを作業確認している ○下塗り、中塗りの乾き具合が上塗りのタイミングに最適であるかどうかを熟練技能者と相談しながら作業指揮している
② セメントモルタル塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○下地調整、下塗り、むら直し面の場合、水引きの程度を見計らって金櫛を用い、荒く櫛目を均等に引いているかどうかを作業指揮している ○下地施工後しっかり養生された状況かどうかを作業確認して仕上げ作業指揮している ○仕様書、手順どおり、且つ素材を加味した仕上げ施工を実施しているかどうかを確認している ○コンクリート面の塗り作業においては、作業手順に従って、はく離などの発生が起こらないように、コンクリートの状態を確認して、適正な時期に接着剤の塗布を行っているかどうかを作業指揮している ○コンクリートブロック面や軽量鉄骨下地組面などにおいて、ラス張りをを行い、塗り厚による工程、養生期間に従って、仕上げ塗り作業を行っているかどうかを作業指揮している ○クラックなどに対応した適切な目地の確認を行い、塗り厚による作業手順に従って仕上げ塗り作業を行っているかどうかを作業指揮している ○壁モルタル仕上げの場合、塗面に水湿しを行い、全体的に所定の塗厚を満遍なく塗り付けているかを作業指揮している
③ 石膏プラスター塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○ちりの汚れをしっかりと除去して清掃しているかどうかを作業確認している ○表面に浮き出てくるスサなどを見極めて、また天候(湿度、温度、風向き等)を考慮した最適な塗り作業(塗る順序、材料の調合の修正、こての選び方等)をしているかどうかを作業確認している ○ラスこすり、下塗り、むら直し面の櫛目と水湿しを行い、所定通りの塗厚に出来映えの良い塗りつけをしているかどうかを作業指揮している ○耐アルカリ性の既調合プラスター材料かを確認し、施工している
④ 漆喰塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○中塗りの水引き具合を見て上塗りし、その水引きを見て鏝(こて)押え仕上げをしているか作業指揮している。乾燥収縮の大きい漆喰の特徴を理解し、1回の塗厚を薄くして、均一でむらなく塗付けを作業指揮している
⑤ 繊維壁塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞上塗りを所定の平滑さで金鏝(こて)仕上げしているかどうかを作業指揮している
⑥ 吹き付化粧仕上げ塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○見本塗り(見本)による仕上げ工程・模様・色・つやを作成し、本塗りにおいては吹き付け(リシン、スタッコ、吹付タイル)のいずれの仕上げ面に模様むら、色むらが出ない仕上げをしているかを作業指揮している

施工管理

施工技能

次頁へ続く

⑦人造石塗り	<p>○下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業結果の状態を点検して、中塗り(セメントモルタル、目地割り、目地棒張付け)作業のタイミング(乾燥状態)を所定の作業手順書と照らし合わせて確認の上、作業の実施指示を出している</p> <p>○洗出し、研出し用の種石の材料粒度、色を調合する場合、熟練技能者と相談しながら設計図書の意匠と食違いないように材料の現場受取り検査をし、その良し悪しの結果報告を顧客(設計事務所、元請、発注者)にしている</p> <p>○洗出し、研出し用に混入する種石材料(碎石、セメント、消石灰、石粉、着色剤、顔料など)の調合を適切な比率で実施しているかどうかを現場確認している</p> <p>○研出しの場合、顧客(設計事務所、元請、発注者)との打合せに従い上塗り後、サンダーや研磨機やグラインダーを使って所定の砥石で荒研ぎをし、その表面を目つぶししているかどうか、中研ぎとして平坦にした後、仕上げの研出し、艶だしをしているかを現場確認している</p> <p>○洗出しの場合、顧客(設計事務所、元請、発注者)との打合せに従い、伏せ込み後、水引き具合を見て刷毛で表面のあまを拭取り、噴霧器でむらのないようにあまだけ洗い落としているかどうかを現場確認している。また、洗いすぎると種石まで流れ出すため、噴霧器のノズル先端と上塗り面との間隔など水引き具合で調整しているか、作業は上から仕上げるため、下側の未処理部分への影響が出ることも想定し、樋などを作り洗い水処理を行っているか等も現場確認している</p>
⑧乾式リフォーム・改修施工	<p>○＜町場＞コンクリート建物の外壁(タイル張り、吹付塗装仕上げ)の場合、顧客(設計事務所、元請、発注者)からの要請・相談を受けて現地調査し、外壁の劣化現象(剥離や亀裂等)の原因を顧客(設計事務所、元請、発注者)に報告している</p> <p>○＜町場＞乾式の内装仕上材の場合、現況の内装仕上材(クロスなど)の結露や汚れ、剥離などの劣化を調査し、左官仕上の効果と美観のメリットを顧客(設計事務所、元請、発注者)に説明している</p> <p>○＜町場＞床の場合、既存材料(ビニールシート、タイル、フローリング等)の汚れ、変色、フクレ、反り、浮きなどの劣化を調査し、床の用途に応じた施工方法を提案し、説明している</p> <p>○＜町場＞モルタル塗り全面除去外壁仕上工法の場合(原則3階以上の建物には用いない)、モルタル除去の後、ピンのたたきこみ、繊維ネットのふせこみ、ポリマーセメント、モルタル塗り付けなど、一連の作業を納まりの寸法を順守して品質、精度よく仕上げるように指示をしている</p> <p>○＜町場＞ひび割れ補修工法の場合、カット、清掃、プライマー塗布、シール、樹脂モルタル充てんの作業の流れに従い、現状の劣化度に応じて品質、精度よく作業するように指示をしている</p>

●必要な知識

<ol style="list-style-type: none"> 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> 建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) 建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) 建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) 左官施工法(日本左官業組合連合会) 左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> 見本塗り、試験塗りの方法 左官塗りに適合する下地と塗り工法 仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) 左官仕上の不具合事例 仕上げ塗り壁の作業管理知識 <ul style="list-style-type: none"> 鏝(こて)の種類と使い方(用途)の知識 目地張り、仕上げ系張りの点検方法 各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 	<ul style="list-style-type: none"> 他の仕上げとの関連性 下地材料、下地処理の点検方法 定木の使い方と精度の確認 乾燥具合の判断と上塗りのタイミングの理解 天候、施工条件による作業スピード、塗り方、手順の修正の判断 <ol style="list-style-type: none"> 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> コンクリート下地劣化の構造 塗装の劣化原因 シーリングの劣化原因 建物診断方法(外観目視、打診他) 補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) エポキシ樹脂等使用材料の特徴 前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 設計図及び仕様書の理解
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S032L34

選択 能力ユニット	能力ユニット名	粗面仕上げ施工の管理	共通
	概要	粗面仕上げに関し、各施工方法の適切な作業ポイントを指示し、それらを確認する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①リシン掻き 落とし仕上げ	<p>○下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業結果の状態を確認して、上塗り(リシン材伏せ込み)作業のタイミング(乾燥状態)を設計図書や作業手順書と照らし合わせて自ら判断し、顧客(設計事務所、元請、発注者)に連絡の後、作業指示を出している</p> <p>○下塗りの表面を作業手順書等の基準と照らし合わせ確認後、上塗りのリシン材をよく伏せ込んでいるかを点検している</p> <p>○設計意匠を理解して仕上げ見本と食違いのないよう、均一な粗面になるように掻き落とし作業を指揮管理し、特に開口部回りや目地周辺の細かな仕上げ点検に目を光らせている</p> <p>○セメント系リシンについて夏場のドライアウト、冬場の白華現象を防止する知識(水回り処理など)を身につけ、気候や温度等を確認し作業者に適切な作業指導をしている</p> <p>○掻き落としの角を損傷しないように目地棒を取り外し、目地を充填しているかを作業手順書に基づき作業確認している</p> <p>○顧客(設計事務所、元請、発注者)との打合せに基づき、所定の調合(セメント、骨材、顔料など)を正しく計量して均一な材料調合をしているを確認している</p> <p>○仕上げのとき塗り継ぎの跡や筋が目立って汚くならないように、鏝(こて)を使って材料の中の石の噛み合わせを利用して仕上げ面を均一に見映えよく塗っているかを作業確認している</p> <p>○仕上げ見本を見て所定の調合(セメント、骨材、顔料など)を正しく計量して均一な材料調合をしているかどうかを設計図書等と照らし合わせ、現場責任者として正しく判断している</p>		
②その他	<p>○鏝(こて)及びローラー仕上の場合、所定の模様が形成できるように塗り厚を定めて均一に塗付けているかどうかを作業指揮している</p> <p>○合成樹脂材塗り仕上げの場合、所定の模様が櫛引でも形成出来るように作業指揮している</p>		

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・ 建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・ 建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・ 左官施工法（日本左官業組合連合会） ・ 左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 	<p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見本塗り、試験塗りの方法 ・ 左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・ 仕上げ材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等） ・ 左官仕上げの不具合事例 ・ 仕上げ見本と調合との確認 ・ 掻き落とし作業のポイント（均一性、色むら防止の知識） ・ 目地棒の除去と目地詰め方法
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S033L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	作業班の統率及び指導力	共通
	概要	現場作業のリーダーとして、自らが施工中の態度、取組み姿勢、現場のルールを遵守し、良い仕事をチームワークで行うように仕向け、技術、技能だけではなく態度要件をも伝承する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理
①リーダーシップ	<p>○作業班のリーダーとして、挨拶の励行や作業場のクリーン化等、ビジネスマナーや作業態度で他者の範となるよう、作業者に行動で示している</p> <p>○作業班のリーダーとして班全体の雰囲気や意識に注意を払いながら仕事を進めており、作業遂行上に影響を与えるようなことがあれば上司や施工管理職と相談して解決している</p> <p>○ムダや不安全が発生しないように現場の整理整頓や必要な養生を作業者に実施させ結果を確認し顧客（設計事務所、元請、発注者）に報告して現場を離れている</p>	施工技能
②統率と面倒見	<p>○職人の技能を見極めて作業班を編成し、現場の作業範囲と作業量をバランスよく作業者に割り当てしている</p> <p>○KY活動や打合せ等の場面において、過去の経験や裏付け事例等を活用して、当日に実施する作業の説明をわかりやすく作業者に話をしている</p> <p>○施工要領書の内容について具体的な作業段取りや組立作業等に対応させて指示をしている</p> <p>○作業員一人ひとりと話合いの場を持ち、各人の技能の良さと身につける点等を話合い、能力向上を図ろうとする動機付けをしている</p> <p>○班のメンバー構成を把握して、作業員の中から後輩等への世話役を指名し、補佐役として育成している</p> <p>○作業員からの相談を前向きに受止めて世話をしてやり、やる気を出させるように仕向けている</p> <p>○作業員の作業上の質問等には的確に答えており、やって見せてやらせてみて、具体的に指導している</p>	

●必要な知識

<ol style="list-style-type: none"> 1. 工事現場の基本ルールの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客（設計事務所、元請、発注者）の作業所規則の部下指導 ・新規入場者教育の徹底 2. 法的規制、社内諸規定の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の部下指導 ・労働基準法 ・労務管理と社内教育計画 3. 監督者としての指導の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業員の適正配置とコミュニケーションの取り方 ・OJT技法 ・リーダーシップの修得 ・後輩への接し方、教え方 ・折衝における人間関係 	
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S034L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	作業班の統率及び指導力	共通
	概要	現場作業のリーダーとして、自らが施工中の態度、取組み姿勢、現場のルールを遵守し、良い仕事をチームワークで行うように仕向け、技術、技能だけではなく態度要件をも伝承する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ○全作業者のリーダーとして、挨拶の励行や作業場のクリーン化等、マナーや作業態度等で他者の範となるように作業者に行動で示している ○全作業者のリーダーとして全体の雰囲気や各々の意識に注意を払いながら仕事を進めており、作業遂行上に影響を与えるようなことがあれば経営者と相談をして解決している ○全社員のリーダーとして、現場や社内外を問わず人をうまくまとめ、困難な仕事や挑戦的な仕事にも率先して取り組んでいる ○ムダや不安全が発生しないように現場の整理整頓や必要な養生を作業者に実施させ結果を確認し顧客(設計事務所、元請、発注者)に報告して現場を離れている 	
②統率と面倒見	<ul style="list-style-type: none"> ○職人の技能を見極めて作業班を編成し、現場の作業範囲と作業量をバランスよく作業者に割り当てしている ○作業員全体の人材育成を推進するため、施工管理職とともに社内講習会の講師をしたり、最新工法や専門知識を自ら学んで作業員への指導を積極的に行っている ○OJT(On the Job Training、職場内訓練)を理解し、作業員全体の技能レベル向上のための教育を計画し実施している ○作業員の能力を全社的な立場で見極め、経験や能力を身に付けさせるための担当現場のローテーションを守っている ○工事終了後に反省会を開き、成功例や失敗例を顧客(設計事務所、元請、発注者)や職長、作業班メンバーと情報を共有化し、施工技能の向上につなげている ○職長が多忙な時は施工図チェック等の業務を支援している ○自分の後継者となる職長を指名し、育成に力を注いでいる ○メンバー一人ひとりの力量を把握して、力量に応じて個別的に指導育成している ○リーダーシップの取れる作業員に対しては本人と話し合っ、現場管理職として育成するように指導している ○班のメンバー構成を把握して、作業員の中から後輩等への世話役を指名し、補佐役として育成している ○作業員からの相談を前向きに受止めて世話をしやり、やる気を出させるように仕向けている ○作業員の作業上の質問等には的確に答えたり、やって見せてやらせてみて、具体的に指導している 	

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールの知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客(設計事務所、元請、発注者)の作業所規則の部下指導 ・新規入場者教育の徹底 2. 法的規制、社内諸規定の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の部下指導 ・労働基準法 ・労務管理と社内教育計画 	3. 監督者としての指導の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業員の適正配置とコミュニケーションの取り方 ・OJT技法 ・リーダーシップの修得 ・後輩への接し方、教え方 ・折衝における人間関係
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S035L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理	共通
	概要	日本壁に用いられる伝統左官施工を管理し、さらに修復・復元が必要な日本建築及び歴史的西洋建築の診断、改修方法を卓越技能者と共に検討し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に適切な提案をする能力	

能力細目	職務遂行のための基準
①劣化診断	○＜町場＞伝統的日本壁または歴史的西洋建築、特殊仕上塗りなどの場合、上司の指導に基づき、亀裂やはがれや風化の原因を調べ、下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間、作業量を計画し、上司承認の上で顧客（設計事務所、元請、発注者）に提案・説明している
②補修・改修施工	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）との打合せによる施工方法の内容を理解している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合、伝統左官技法を除いた施工方法であれば適切な修復方法を提案し承認を得て作業指示を出している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による修復対象物が伝統技能・技法以外のものであれば調査・確認し、適切な作業方法を提案している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合は、伝統左官技法を除いた適切な修復方法を提案し承認を得て作業指示を出している
③材料、器・工具及び作業の管理	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの特別な要望に対し、実施予定の各工法に見合う材料、器・工具類を準備、段取りしている ○＜町場＞作業の進捗確認時には顧客（設計事務所、元請、発注者）要望どおりに仕上がるか、材料指定や使用する器・工具等の準備について、詳細に仕様書とつき合わせるよう指示している
④材料調合	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの特別な要望に対し、実施予定の各工法に見合った材料調合状況かどうかを、上司の指導のもと、逐次確認するように作業者に指示している ○＜町場＞作業の進捗確認時には顧客（設計事務所、元請、発注者）要望どおりに仕上がるか、材料調合の方法等について、詳細に仕様書とつき合わせるよう指示している
⑤各部位の施工	○＜町場＞仕様書どおりの施工を実施するように作業指示している
⑥下地施工	○＜町場＞伝統的日本壁（木舞下地に土壁）の場合、設計家の意図するイメージを感じ取り、適した材料（荒木田土）を選定し、すさ、のり、色土、石灰を混ぜ合わせる調合の段取りを上司の指導の基に作業指揮している ○＜町場＞伝統的日本壁（木舞下地に土壁）の場合、水質及び砂の粒土、塩分、泥分、有機分の含有量の品質試験を使用前に実施している ○＜町場＞伝統的日本壁（木舞下地に土壁）の場合、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきに注意している ○＜町場＞木舞下地の場合、割り竹、丸竹を用いて壁圧（重さに耐える）に応じた組み方をしているかどうかを作業指揮をしている。また、並物、中物、上物などの編み方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定しているかを確認している
⑦木舞掻き	○＜町場＞作業手順に則り、割り竹、丸竹を用いて壁圧（重さに耐える）に応じた組み方をしているかを作業確認している ○＜町場＞並物、中物、上物などの掻き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定しているかを確認しながら作業全体を指揮している
⑧仕上げ施工	○＜町場＞荒壁塗り、裏壁塗り、貫伏せ塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗り、ちり塗り、角はかり等を各々の塗り方に従い、強度、付着力、平滑性を確認しながら上司の指導の基に作業指揮をしている ○＜町場＞各塗り方について亀裂防止を念頭に乾燥期間、鏝（こて）の押え（こすり塗りなど）や均し方法を駆使して仕上げしているかを上司の指導の基に作業確認している

施工管理

施工技能

次頁に続く

⑨日本伝統 左官技法	<p>○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁（土蔵塗、ナマコ壁）、土塀、漆喰彫刻、蛇腹引き及び石膏彫刻いずれかの技術管理を経験し、設計図面に基づき、建築家、施主（発注者）と上司の同席の基に施工打合せしている</p> <p>○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁（土蔵塗、ナマコ壁）、土塀、漆喰彫刻、蛇腹引き及び石膏彫刻の技法のいずれかの材料調合、下地施工、仕上げ塗りを上司の指導の基に任されて作業管理をしている</p>
---------------	---

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・ 建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・ 建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・ 左官施工法（日本左官業組合連合会） <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・ 見本塗り・試験塗りの方法 ・ 下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード） ・ 左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・ 仕上材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトブラスター、石膏ブラスター、漆喰塗りなど） ・ 左官仕上げの不具合事例 	<p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木舞下地の公正とその部材の役割 ・ 木舞下地の種類（並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等） ・ 木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性（例：すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等） <p>4. 木舞下地作業管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹の割り方について ・ 木舞のかき工具 ・ 間渡し竹について ・ かき縄について ・ 木舞かき施工と作業方法 <p>5. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木舞下地の点検方法 ・ 荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料（漆喰材料、大津壁材料等）の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S036L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築及び歴史的西洋建築の修復・復元及び伝統左官施工の管理
	概 要	日本壁に用いられる伝統左官施工を管理し、さらに修復・復元が必要な日本建築及び歴史的西洋建築の診断、改修方法を卓越技能者と共に検討し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に適切な提案をする能力

共通

施工管理

施工技能

能力細目	職務遂行のための基準
①劣化診断	○＜町場＞伝統的日本壁または歴史的西洋建築、特殊仕上塗りなどの場合、亀裂やはがれや風化の原因を調べ、下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間、作業量を初期費用やライフサイクルコストを含めて計画し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に提案、説明している
②補修・改修 施工	○＜町場＞伝統的日本壁、特殊仕上塗りなどの場合、亀裂やはがれの原因を調べ、下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間、作業量を初期費用やライフサイクルコストを含めて計画し、顧客（設計事務所、元請、発注者）に提案、説明している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守しながら、その場の費用対効果（利益確保）だけではなく、左官施工通した経済メリット、景観維持、環境衛生面等（省エネやリサイクルにつながること等）を加味して作業を指示している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合、伝統左官技法を含めた自分の修復経験や社内修復経験者のノウハウを駆使した提案を行い承認されれば、その修復技能、技法を指示しながら若手に伝えている ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工の場合、伝統左官技法を含めた修復後の耐用期間をシミュレーションし、一過性の費用対効果（利益確保）だけではなく、必要であれば新技術、技法等での対応も提案している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合、伝統左官技法を含めた自分の修復経験や社内修復経験者のノウハウを駆使した提案を行い承認されれば、自らの人脈を駆使して、最高の技能者を集めて作業指示を行い、その施工ノウハウを若手に経験させている
③材料、器工具 及び作業の 管理	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの特別な要望に対して、実施予定の各工法に見合った最適な材料の選定や、作業に必要とする器・工具類の準備を過去の経験から見分けて、その準備と段取りを指示している ○＜町場＞若手には、特別な要望（限定条件）時の見分け方のコツをOJTで伝えている ○＜町場＞使用材料、器工具類の特殊性を考慮し、天候、気候、作業環境を加味した作業の進捗管理を行っており、ちょっとした湿乾差でも作業に微妙な変化を与えることを学ばせている ○＜町場＞特殊な左官施工の場合、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対し、一過性の費用対効果だけではなく、伝統技術面、ライフサイクルコスト的な面、耐久面、環境衛生面等の重要性を説明し納得、承認してもらっている
④材料調合	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの特別な要望に対して、実施予定の各工法に見合った最適な材料の選定とその調合方法について、準備と段取りを指示している ○＜町場＞天然材料を使用する場合、天然材料の見分け方、調合割合、調合方法等のコツをOJTで伝えている ○＜町場＞使用材料（天然材料）の特殊性を考慮し、天候、気候、作業環境を加味した作業の進捗管理を行っており、ちょっとした湿乾差でも調合作業に微妙な変化を与えることを学ばせている

次頁に続く

⑤各部位の施工	<p>○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの特別な要望に対し、実施予定の各工法に見合う最適な材料、器・工具類を駆使した各部位の施工を指示し、作業の進捗に合わせて要所を確認している</p> <p>○＜町場＞若手には、部位ごとの重要ポイントをOJTで伝えている</p>
⑥下地施工	<p>○＜町場＞伝統的・日本壁施工の各種段取り指示を行い、使用材料、成分、及び品質試験方法、調合、施工方法等の詳細を、将来補修を担当する職人のために記録に残している</p> <p>○＜町場＞伝統的・日本壁（木舞下地土壁）の場合、水質及び砂の粒土、塩分、泥分、有機分の含有量の品質試験を使用前に実施させ、その結果の適切性を判断している</p> <p>○＜町場＞伝統的・日本壁（木舞下地土壁）の場合、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきに注意し全体作業の指揮をとっている</p> <p>○＜町場＞木舞下地の場合、割り竹、丸竹を用いて壁圧（重さに耐える）に応じた組み方をしているか作業指揮している。また、並物、中物、上物などの編み方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定しているかを確認している</p>
⑦木舞搔き	<p>○＜町場＞作業手順に則り、割り竹、丸竹を用いて壁圧（重さに耐える）に応じた組み方をしているか作業を確認している</p> <p>○＜町場＞並物、中物、上物などの搔き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定しているかを確認しながら作業全体を指揮している</p>
⑧仕上げ施工	<p>○＜町場＞荒壁塗り、裏壁塗り、貫伏せ塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗り、ちり塗り、角はかり等を各々の塗り方の指示を出し、強度、付着力、平滑性を確認して作業全体を指揮している</p> <p>○＜町場＞将来、仕上げ施工を担当する職人のために施工方法は記録に残している</p> <p>○＜町場＞各塗り方について亀裂防止を念頭に乾燥期間、鏝（こて）の押え（こすり塗りなど）や均し方法を駆使して仕上げしているかどうか作業全体の指揮をしている</p>
⑨日本伝統左官技法	<p>○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁（土蔵塗、ナマコ壁）の場合、土塀、漆喰彫刻、蛇腹引き及び石膏彫刻いずれかの技術管理を経験し、設計図面に基づき、建築家、施主（発注者）と会社を代表して施工打合せしている</p> <p>○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁（土蔵塗、ナマコ壁）の施工を、建築家、施主（発注者）から任されて作業指示をしている。将来、伝統施工を担当する職人のために現場管理の記録を残している</p> <p>○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁（土蔵塗、ナマコ壁）、土塀、漆喰（彫刻）、蛇腹引き及び石膏彫刻の技法のいずれかの材料調合、下地施工、仕上げ塗りを顧客（設計事務所、元請、発注者）から任されて作業管理をしている</p>

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石こうボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗りなど） ・左官仕上げの不具合事例 	<p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の公正とその部材の役割 ・木舞下地の種類（並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等） ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性（例：すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等） <p>4. 木舞下地作業管理の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料（漆喰材料、大津壁材料等）の理解
--	---

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S037L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	段取り作業	共通
	概要	左官作業の実施者として、職長等の指示を理解し円滑な作業を実施するための作業段取りをする能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①入場前準備	●職長から指示されたとおり現場乗込み時に必要な道具、材料等の準備を行い、結果の確認を受けている ●送出し教育にて安全活動の目的、方法を学んでいる ○新しい施工方法等に取り組む場合には、職長の指示等をメモすることにより間違いの無い施工に努める	
②作業手順等の確認	●作業に必要な基本的な用語や名称(材料や道具の名前)、用途を理解している ●毎日の作業を通じて、職長や先輩から作業手順の体得に努めている ●作業全体の流れを理解しながら与えられた自分の作業の役割を確認している ○作業班の週間、毎日の工程打合せに出席し、作業進捗目標を理解している ○作業について指示されたことや計画上のわからない点を職長に質問し、疑問点を残さないようにしている	
③現場状況の確認	○日々の打合せに基づいて、資材置き場や工具類の設置場所等の作業上に必要な事項を確認しており、隣接部分の使用用途等についても職長に確認している ●職長から指示されたとおり、近隣状況等の周辺環境を確認している ●使用可能な足場等の仮設の点検を行い、使用上の作業所ルールを確認している ●作業にあたり注意事項を遵守し、不安全行動などを起こさないように心掛けている ○作業場の片付け状況や他工種で養生が必要な箇所などの作業環境上の障害を確認し、不具合があれば職長に報告し、指示に基づいて改善している	
④器具・工具の確認	●職長から指示された作業に必要となる器工具等の数量を確認して、作業場に運搬している ○職長から指示されたとおりに点検リスト等に基づいて器工具等の保管状況を確認し、報告している ●毎日の作業前に各人使用の工具の確認を行い職長に報告している	

●: 施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・安全装置や保護具の性能及び取扱い方法 ・作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 ・作業手順書（送出し教育のテキストとして） ・作業安全管理（作業主任者制度や救急処置等） 2. 作業段取りに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・左官作業手順（段取り等） ・作業現場に乗り込む前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・工程表、作業手順書の読解 ・現場作業に必要な準備事項 ・現場近隣協定等の周知徹底事項 3. 作業関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の不具合に関する事例 ・新工法や作業改善の事例
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S038L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	段取り作業	共通
	概 要	左官作業の実施者として、職長等の指示を理解し円滑な作業を実施するための作業段取りをする能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①入場前準備		■職長から現場乗込み日の指示を受けて、必要な道具、材料等の準備、点検等を指示しながら後輩作業者と一緒に実施し、結果を報告している ○職長の指示のもとで、材料の手配、段取り等を行い作業者同士で確認している ■乗込み前現場打合せに職長とともに参加して作業計画等に関する情報を入手しており、不足分があれば職長に相談している ○送出し教育を受講し新現場の乗込みポイントを職長に質問している ○新しい施工方法等に現場で取組む場合は職長の指示で事前の勉強会、講習会等に参加している			
②作業手順等の確認		○工程表、作業手順書等を基に左官作業の流れ等を自分なりに想定し、不明事項は職長に質問して確認している ■工程表、作業手順書等を基に前工程、後工程を確認して、作業効率を上げるために職長に他職種業者との打合せの場の設定を依頼している ○取合い部分の工程を職長から説明を受け、自分の役割分担を把握している ■職長の指示に基づいて作業の役割責任分担の確認と作業班の編成を行っている			
③現場状況の確認		○工程表や作業手順書に基づいた現場状況で作業上の不具合や納まり上の問題が出た場合には、職長に報告をし対応策の指示を受けている ■他職種とのあいばん作業で足場等作業に影響ある仮設等の問題点を職長に相談している ■材料の搬入、運搬、保管、材料置き場、調合場所、道具、注意事項の遵守、特殊要件等の作業上に必要な事項を確認し、不明点を職長に確認している ○周辺環境を自分で確認して養生等の必要性を検討し、職長の指示を受けている ■周辺環境、養生等に留意し、作業者の視点と顧客（設計事務所、元請、発注者）の指示事項に従って事前対策を立てて作業日誌等に残している			
④器具・工具の確認		■作業に必要な器具等の数量を施工実績や経験を基に準備し職長に確認している ○器具工具類の指定保管場所等を確認、点検し、職長に報告している ○点検リスト等に基づいて器具工具の保管状況を確認しており、異形や破損等は職長に報告し指示を受けている ○毎日の作業前に各人使用の工具の点検と会社支給の器具工具類の点検を行い不具合がある場合は職長に報告している ■器具工具類の毎日の作業前点検で不具合がある場合は社内手続きにより処理して、必要な代替や予備品等の手配を行っている			
⑤作業前の準備		○熟練を要する作業で必要あれば精度確保のため器具工具を準備している ○他職種と並行作業がある場合はお互いの作業に支障が発生しないよう職長に調整を要請している			

■：施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

<p>1. 安全衛生に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全装置や保護具の性能及び取扱い方法 作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 作業手順書（送出し教育のテキストとして） 作業安全管理（作業主任者制度や救急処置等） <p>2. 作業段取りに関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 左官作業手順（段取り等） 	<ul style="list-style-type: none"> 作業現場に乗り込む前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等） 工程表、作業手順書の読解 現場作業に必要な準備事項 現場近隣協定等の周知徹底事項 <p>3. 作業関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業の不具合に関する事例 新工法や作業改善の事例
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S039L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	段取り作業	共通
	概 要	左官作業の実施者として、職長等の指示を理解し円滑な作業を実施するための作業段取りをする能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①入場前準備	<ul style="list-style-type: none">○計画された体制と要求される工程から計画された作業の進め方や役割分担等について、熟練した経験から判断して職長の指示と整合性を取っている○複雑な納まりについて、要領良い段取り等を行うために施工図等を確認しながら自らの経験に基づき職長に提案している○職長から材料の手配、段取り等の相談を受けたとき、自らの経験に基づき職長に提案している○乗込み前現場打合せに職長とともに参加し、作業計画に関わる情報を入手し効率的施工方法を自ら考えている○送出し教育を受講し新現場の乗込みポイントを職長に確認している○新しい施工方法等に現場で取組む場合は職長の指示で事前の勉強会・講習会等に参加している		
②作業手順等の確認	<ul style="list-style-type: none">○工程表、作業手順書等を基に左官作業の流れ等を確認し、職長の指示と整合性を取っている○工程表、作業手順書等を基に前工程、後工程を確認し作業が円滑にいく方法を職長に助言している○作業班の週間、毎日の工程打合せに出席し、工程に基づく作業目標を確認している○作業の役割、責任分担及び作業班の仕事内容の検討項目を職長に助言している		
③現場状況の確認	<ul style="list-style-type: none">○工程表や作業手順書を基に現場状況で作業の不具合や納まりの問題点があれば職長に指摘しており、職長に相談されたら対策案等を説明している○他職種とのあいばん作業について足場等作業に影響のある問題点を職長に指摘しており、職長に求められたら対策案などを説明している○材料の搬入、運搬、保管、材料置き場、調合場所、道具、注意事項の遵守、特殊要件等の作業に必要な事項を確認し、不明事項を職長に助言している		
④器具・工具の確認	<ul style="list-style-type: none">○作業に必要な器具等の数量を施工実績や経験を基に判断して準備し職長に確認、助言している○自分の経験で器具類の破損、磨耗等状況を定期的に点検し、常に良好な状態で使用できるようチェックしている○毎日の作業前に各人使用の工具の点検と会社支給の器具類の点検を行い、不具合がある場合は職長に報告している		
⑤作業前の準備	<ul style="list-style-type: none">○精度確保が必要な作業等は、適切な器具を要領よく使用すれば作業が可能なことをやって見せている○他職種と並行作業がある場合はお互いの作業に支障が発生しないように職長に調整を要請している		

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・安全装置や保護具の性能及び取扱い方法 ・作業後の片付けや整理整頓及び清潔の保持 ・作業手順書（送出し教育のテキストとして） ・作業安全管理（作業主任者制度や救急処置等） 2. 作業段取りに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・左官作業手順（段取り等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業現場に乗り込む前に収集すべき情報（足場や仮置ヤードの大きさ等） ・工程表、作業手順書の読解 ・現場作業に必要な準備事項 ・現場近隣協定等の周知徹底事項 3. 作業関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の不具合に関する事例 ・新工法や作業改善の事例
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S040L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	品質・工程維持	共通
	概要	作業上の自分の立場と作業の目的を理解し、その手順を遵守しながら円滑な作業を遂行する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①作業工程の見極め	○職長や先輩等から説明を受けている週間、月間の作業工程のうち、本日分の自分の作業と役割を意識している ●毎日の作業打合せに参加して、翌日の作業内容を指示されて、その内容を理解して確認している		
②作業品質の遵守	○職長や先輩等の指示どおりに、作業手順に従ってミスのないように作業を実施している ○職長からの説明により元請・下請役割分担の取極内容をほぼ理解している ●職長や先輩等の指導に基づいて、左官材料の材質、気候条件等を覚えて点検している ●職長や先輩等の指導に基づいて、左官材料や湿式建材、乾式建材等の品質基準を理解して、正しく区別している		
③安全作業の遵守	●KY活動に毎日参加して、職長や先輩等の経験等を聞き、自分の安全意識を高めている ●不安全行動やヒヤリ・ハット等を起こさないように、職長や先輩等から指示されたとおり、安全作業を遂行しようとしている ○送出し教育や新規入場者教育、健康診断等を受けて、職長や先輩、同僚等に迷惑をかけないようにしている ●職長や先輩等の指導を受けて、作業終了後の後片付けと整理整頓をしっかりと実施している ○地域の行事には上司や職長とともに参加し、普段から練り場、置き場等の近隣については挨拶などのコミュニケーションを取っている		
④材料、器具・工具の整理整頓	●職長や先輩等の指導に基づいて、左官材料や工法を正しく識別し、指示されたとおりに、打合せで決められた場所に種類別に分別保管している ●職長や先輩等に指示された通り、器工具類は種類ごとに分別して、雨風に影響されない所定の場所に整理保管している ●職長、先輩の指示に従って、場内ストックヤードから現場作業位置まで小運搬作業をしている ○作業打合せに従って左官材料、器工具類を手順通りに整理、保管している ●：施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している		

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法の事業者責任（送出し教育や健康診断等の義務） ・KY活動 ・安全管理活動の実施方法 2. 作業管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の作業工程 ・職長からの指示内容 ・月間、週間作業工程 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事特性からの重点作業管理項目 ・品質管理基準値 ・左官工事で使用する器工具、機械等の取扱い方法 ・左官工事作業の消耗材料の管理 ・建設リサイクル法 3. 建設関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・工程計画（バーチャートやガントチャート等） ・建築基準法関連法令の左官工事に関する事項
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S041L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	品質・工程維持	共通
	概要	作業上の自分の立場と作業の目的を理解し、その手順を遵守しながら円滑な作業を遂行する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①作業工程の見極め	■週間、月間の作業工程を確認し、現場乗込み時に作業が滞りなく実施できるようにしており、工程上の不具合等があれば職長に確認している ○週間、月間の作業工程を見て自分の作業と役割を確認し作業を実施している ■現場の全体打合せ等に職長の代行として参加して作業工程の全体像を勉強している ■毎日の作業打合せにおいて、翌日の作業内容を説明し、全体工程の遅延や作業に関する問題点等があれば職長に報告している ○毎日の作業打合せで自分の翌日の作業内容を確認している			
②作業品質の遵守	○職長から指示された元請、下請役割分担の内容を理解して、その範囲内で施工品質が維持できるよう作業を実施している ○作業手順書どおりに左官作業を実施して中間検査時や作業終了後に職長に品質と出来形との確認を受け、不具合があれば是正して必要に応じて（指示されて）是正処置をとっている ○施工品質上の不具合や、図面との食違いがあれば職長に報告している ○他職種との取合い部分における品質の不具合があれば職長に報告している			
③安全作業の遵守	■KY活動に参加して討議では進んで発言しており、自分が発言したことについては後輩の範となるよう行動で示している ○作業標準を遵守して、不安全行動やヒヤリ・ハット等の芽を摘取る安全確認をし、後輩の範となるよう行動で示している ○送出し教育や新規入場者教育、健康診断等を受けて、良い体調で作業ができるように、常に健康には気を配っている ○作業安全指示書の内容を理解して現場をチェックし結果を報告しており、不具合が指摘された場合は指示された安全行動を確認している ■安全提出書類の内容を着工前に確認し、不明点は職長に確認して指示を受けている ○作業着手前に器工具類の自主点検を行い、終了後は後片付け、整理整頓を正しく実施して職長に報告している ○地域の行事には上司や職長とともに参加し、普段から練り場、置き場等の近隣については挨拶などのコミュニケーションを取っている			
④材料、器具・工具の整理整頓	○左官材料の管理については規定どおり、品質を損なわないよう適切な集積方法や養生を実施している ■職長の指示を受けて、作業工程に基いた器工具類の在庫や稼働状況、原材料関連のストック等をチェックして、必要があれば調達を申請している ■定期的に材料の状況をチェックして、使用不可と判断されたものは識別し明示して使用しないように処置し、職長に報告している			

■：施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法の事業者責任（送出し教育や健康診断等の義務） ・KY活動 ・安全管理活動の実施方法 2. 作業管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の作業工程 ・職長からの指示内容 ・月間、週間作業工程 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事特性からの重点作業管理項目 ・品質管理基準値 ・左官工事で使用する器工具、機械等の取扱い方法 ・左官工事作業の消耗材料の管理 ・建設リサイクル法 3. 建設関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・工程計画（バーチャートやガントチャート等） ・建築基準法関連法令の左官工事に関する事項
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S042L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	品質・工程維持	共通
	概 要	作業上の自分の立場と作業の目的を理解し、その手順を遵守しながら円滑な作業を遂行する能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①作業工程の見極め		○顧客(設計事務所、元請、発注者)作成の施工計画書に基づいた週間及び月間の左官作業工程計画を基に作業の全体像を把握している ○週間、月間の作業工程計画を見て自分の作業と役割を理解し実施している ○毎日の作業打合せにおいて翌日の作業内容を理解し、全体工程の中で遅延や作業に関する問題点等があれば、自分の経験等を基に職長に改善案を説明している			
②作業品質の遵守		○工事条件書等から役割分担を読み取り、その範囲で施工品質を維持するよう作業を徹底しており、想定外の事象が発生した場合は職長に報告し、指示を受け確認しながら自分でも検討している ○作業手順書とおりに左官作業を実施して中間検査時や作業終了後に職長に品質と出来形との確認を受けており、不具合があれば自身の経験から是正方法の助言を職長に与えている ○施工品質上の不具合や図面との差異がある場合には施工図等を再確認し、問題点があれば職長に確認している ○他職種との取合い部分で不具合がある場合は、内容を検討して代替案を職長に説明している			
③安全作業の遵守		○KY活動に参加して発言しており、自分が発言した事項については後輩の範となるよう行動で示している ○作業標準を遵守して、不安全行動やヒヤリ・ハット等の芽を摘取る安全作業をして、後輩の範となるよう行動で示している ○送出し教育や新規入場者教育、健康診断等を受けて、良い体調で作業ができるように、常に健康には気を配っている ○職長の指示を受け作業安全指示書の内容を基に現場内を詳細にチェックしており、不具合がある場合は職長に改善策を説明して、安全改善行動を自らやって見せている ○安全提出書類内容を着工前に確認し、内容の不明な点は職長に確認し、指示を受けている ○作業者が実施した自主点検や整理整頓等の最終確認に協力し、不備な点は職長に指摘しており、器工具類は作業者の要であることを自ら徹底している ○地域の行事には積極的に参加し、普段から練り場、置き場等の近隣については挨拶などのコミュニケーションを取るよう指示している			
④材料、器具・工具の整理整頓		○左官材料の管理については規定どおり、品質を損なわないよう適切な集積方法や養生を実施している ○作業工程に基づいて器工具類の在庫や稼動状況、原材料関連のストック等を確認して、常に良好な状況にするようチェックしている ○作業工程に基づいて左官材、関連材の在庫状況確認を行い、常に最適な状況にあるように自らチェックしている			

●必要な知識

1. 安全衛生に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法の事業者責任（送出し教育や健康診断等の義務） ・KY活動 ・安全管理活動の実施方法 2. 作業管理に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の作業工程 ・職長からの指示内容 ・月間、週間作業工程 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事特性からの重点作業管理項目 ・品質管理基準値 ・左官工事で使用する器工具や機械等の取扱い方法 ・左官工事作業の消耗材料の管理 ・建設リサイクル法 3. 建設関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・工程計画（バーチャートやガントチャート等） ・建築基準法関連法令の左官工事に関する事項
--	---

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S043L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	材料調合	共通
	概要	適切な左官材料の選択と調合について職長等の作業責任者からの管理の下に、最適な左官材料を作る能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理 施工技能
①材料の選定	○職長や先輩等の指示どおりに、作業手順に従ってミスのないように作業を実施している ●使用する材料名称をメモを取りながら覚えている		
②調合の確認	○左官材料の使用方法和仕様についての違いを覚えている ○職長や先輩等の指示どおりに、作業手順に従ってミスのないように作業を実施している ●使用する材料の各分量をメモを取りながら覚えている		
③調合材の運搬	○職長や先輩等の指示どおりに、作業手順に従ってミスのないように作業を実施している ●運搬段取り、ルート等をメモを取りながら覚えている		

●: 施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している

●必要な知識

<p>1. 左官材料の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント（こね場）の配置、動線、容量等の計画 ・動力や水等の効果的な設備の選定 ・主要材料（固結材、結合材、骨材）の保管方法 ・左官材料の特徴と品質 ・下地構造や仕上げ方法と左官材料との相性に関する理解 ・自然素材と既調合材料との管理方法の違い <p>2. 材料調合の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの場合の材料選定（練混ぜ方の仕様書による手順と適用範囲、使用制限の理解） ・作業の塗り方、作業スピードによる練混ぜ容量の理解 	<p>3. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工順序 ・材料の手配 ・運搬及び保管 ・材料の調合 ・作業員適正人員配置 ・関連他工事との調整 ・工程計画の確認 ・仮設計画内容 ・練り場、置き場の配置と生産性
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S044L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	材料調合	共通
	概要	適切な左官材料の選択と調合について職長等の作業責任者からの管理の下に、最適な左官材料を作る能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理 施工技能
①材料の選定	○施工図等の設計図書や現地状況に基づいて、左官材料を選定している ○難易度の高い早強剤、リフリート等の選定、調合に関しては、上司、先輩からの指示により行っている		
②調合の確認	○左官材料の使用方法和仕様の違いを理解して気候に合わせた調合を学んでいる ○調合した材料が、指示された通りに仕上がっているか仕様書と確認している。不具合があれば手直している		
③調合材の運搬	○材料運搬は移動時間や使用量に応じて適正なタイミングで行っている		

●必要な知識

<p>1. 左官材料の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント(こね場)の配置、動線、容量等の計画 ・動力や水等の効果的な設備の選定 ・主要材料(固結材、結合材、骨材)の保管方法 ・左官材料の特徴と品質 ・下地構造や仕上げ方法と左官材料との相性に関する理解 ・自然素材と既調合材料との管理方法の違い <p>2. 材料調合の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの場合の材料選定(練混ぜ方の仕様書による手順と適用範囲、使用制限の理解) ・作業の塗り方、作業スピードによる練混ぜ容量の理解 	<p>3. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工順序 ・材料の手配 ・運搬及び保管 ・材料の調合 ・作業員適正人員配置 ・関連他工事との調整 ・工程計画の確認 ・仮設計画内容 ・練り場、置き場の配置と生産性
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S045L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	材料調合	共通
	概 要	適切な左官材料の選択と調合について職長等の作業責任者からの管理の下に、最適な左官材料を作る能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①材料の選定	<p>○施工図等の設計図書や現地状況に基づいて、当該現場に最適な左官材料を自分の経験に基づき選定し、調合方法等を作業者に手本としてやって見せている</p> <p>○難易度の高い早強剤、リフリート等の選定、調合に関しては、一つひとつ作業者に手本としてやって見せている</p>	
②調合の確認	<p>○左官材料の使用方法和仕様の違いを十分理解して、気候に合わせた混ぜ方や不具合の材料組合わせなどを具体的に指摘している</p> <p>○作業者が調合した材料が当該現場の仕様に合致しているかどうか確認して、不具合があれば指摘、手直して最適な材料に仕上げている</p>	
③調合材の運搬	<p>○材料運搬は作業効率を向上できるように現場状況に合致した最適化への段取りを考慮して、手本となる作業を行っている</p>	

●必要な知識

<p>1. 左官材料の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント(こね場)の配置、動線、容量等の計画 ・動力や水等の効果的な設備の選定 ・主要材料(固結材、結合材、骨材)の保管方法 ・左官材料の特徴と品質 ・下地構造や仕上げ方法と左官材料との相性に関する理解 ・自然素材と既調合材料との管理方法の違い <p>2. 材料調合の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの場合の材料選定(練混ぜ方の仕様書による手順と適用範囲、使用制限の理解) ・作業の塗り方、作業スピードによる練混ぜ容量の理解 	<p>3. 左官施工計画の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工順序 ・材料の手配 ・運搬及び保管 ・材料の調合 ・作業員適正人員配置 ・関連他工事との調整 ・工程計画の確認 ・仮設計画内容 ・練り場、置き場の配置と生産性
--	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S046L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	下地塗り	共通
	概要	仕上げのための下地塗りを行う場合、職長等の作業責任者の管理の元に下地構造の精度や状態を点検し、壁、天井のほか庇、窓台、抱き回り等も含めて作業を遂行する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①下地材料の点検、処理	<ul style="list-style-type: none">○作業前の打合せを基に、職長や先輩の指示に従い、外壁、内壁、柱、開口部等作業実施前に各部位及びその周辺清掃(クリーン化)している○鋼製金網類(ラスシート、平ラス、ワイヤーラス及びフェルト)下地の作業手順を学びながら、職長や先輩の指示に従い所定の留め方、張り方をしているかを下地点検している○コンクリート下地の場合、現場工程、職長の指示に従って、Pコンのモルタル埋めを行っている○コンクリート下地の場合、現場工程、職長の指示に基づいて、防塵マスクや防塵めがねを着用し、壁面のサンダー掛けを研削砥石資格者の立会い指導に従って学びながら実施している○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、水系などであたりを付けられるように職長や先輩から教わりながら作業をしている○墨出しの基本が仕上げの良し悪しを決定する要因であることを作業をしながら覚えていく	
②下地塗り	<ul style="list-style-type: none">○左官材塗り面のコンクリートの状態を確認して、職長の指示に従って適正な時期に接着剤の塗布を行っている○職長の指示に従い施工図に従った大きさ、位置に化粧目地を作っている○下地塗り作業の基本について先輩等の手伝い(補助作業)を通して塗り方のコツを身体で覚えようとしている	
③庇、窓台、抱き回り、その他(笠木、巾木)	<ul style="list-style-type: none">○下地施工後しっかり養生されているかどうかを職長、先輩の指導のもと確認し、状況を報告をしている○先輩作業者と一緒に見上げ面の仕上げは、庇・天井に雨水が廻らないよう箱定木を作って水切り(おだれ)を設けている○笠木の場合は、職長に教わりながら取り合いや埋め込み金物等を事前に確認し、所定の水切りを作っている○巾木の場合は、先輩作業者と一緒に出巾木、入り巾木、同一面巾木の各施工手順に従い、墨出し、塗り厚調整、仕上げをしている○設計図面に基づき、ちり、垂直、精度の点検を先輩作業者に教わりながら定木型板やさし金等で実施している	

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプaster、石膏プaster、漆喰塗りなど) ・左官仕上げの不具合事例 3. 下地塗りの作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S047L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	下地塗り	共通
	概要	仕上げのための下地塗りを行う場合、職長等の作業責任者の管理の元に下地構造の精度や状態を点検し、壁、天井のほか庇、窓台、抱き回り等も含めて作業を遂行する能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①下地材料の点検、処理		○作業前の打合せに従い、外壁、内壁、柱、開口部等作業実施前に各部位及びその周辺清掃（クリーン化）している ○下地精度を調べて雨漏りやタイルを貼った場合の浮き、剥れの影響がないかを確認し、不具合があれば職長に報告している ○鋼製金網類（ラスシート、平ラス、ワイヤーラス及びフェルト）下地の作業手順を理解して、所定の留め方、張り方を行っているかを確認し、不具合があれば職長に報告している ○コンクリート下地の場合、現場工程に基づいてPコンのモルタル埋めを行っている ○コンクリート下地の場合、現場工程を基に、研削砥石資格者の立会いで、防塵マスクや防塵めがねを着用して壁面のサンダー掛けを行っている ○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し水系などであたりを付けている ○下地の表面状態が仕上げ厚に適しているかどうか（有害な不陸、目違いなど）を確認した上で作業に取りかかっている ○コンクリート下地の場合、平滑面、打ち継ぎ面の処置（目荒らしをしているか、丸セパレーターの穴や打ち継ぎにセメント防水処理をしているか等）をした上で、水洗い清掃し、次の作業に取りかかっている ○墨出しの基本が仕上げの良し悪しを決定する要因であることを自覚して作業している			
②下地塗り		○左官材塗り面のコンクリートの状態を確認して、作業手順に則り適正な時期に接着剤の塗布を行っている ○コンクリート下地の場合、作業手順に則り下地塗りを施し、横の櫛目を引いたり、目地を取付けている ○施工図に従った大きさ、位置に化粧目地を作っている ○薄塗り仕上げにおいて、仕様書に記述された適合した材料の使用や作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っている ○厚塗り仕上げにおいて、仕様書に記述された適合した材料や工程、養生期間などの作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っている ○タイル下や塗装などの下地塗りの場合、仕様書に記述された適合した材料と塗り厚による工程・養生期間を守り、求められる精度を確保した下地塗り作業をしている ○下地がコンクリート、木造いずれの場合でも壁との取合い、作業手順に従ってサッシのちりを確認し、所定の水勾配をつけて墨出し、塗り厚を決めている			
③庇、窓台、抱き回り、その他（笠木、巾木）		○下地施工後しっかり養生された状況を確認・判断して作業手順に従って仕上げ作業をしている ○作業手順に従って箱定木を作り壁に取り付け、塗り込み押え仕上げをしている ○＜町場＞作業手順に従って壁との取り合いには漏水防止のコーキング目地を入れ、取外し後、コーキングを注入している ○作業手順に従って見上げ面の仕上げは、庇、天井に雨水が廻らないよう箱定木を作って水切り（おだれ）を設けている ○笠木の場合は、取合いや埋込み金物等を事前に確認し、作業手順に従って水切りを作っている ○巾木の場合は、出巾木、入り巾木、同一面巾木の各施工手順に従い、墨出し、塗り厚調整、仕上げをしている ○設計図面に基づき、ちり、垂直、精度の点検を定木型板やさし金等で実施している			

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗りなど） ・左官仕上げの不具合事例 3. 下地塗りの作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・他の仕上げとの関連性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝（こて）押さえ、塗りこみのタイミング及び程度
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S048L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	下地塗り
	概 要	仕上げのための下地塗りを行う場合、職長等の作業責任者の管理の元に下地構造の精度や状態を点検し、壁・天井のほか庇、窓台、抱き回り等も含めて作業を遂行する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①下地材料の点検、処理	<ul style="list-style-type: none"> ○下地精度を調べて雨漏りやタイルを張った場合の浮き、剥れの影響を予測して職長に助言している ○鋼製金網類(ラスシート・平ラス・ワイヤーラス及びフェルト)下地施工をする場合、仕様書に従い重ね継手、補強張り、カ骨等を入れているかどうかを確認しながら作業の手本を示している ○コンクリート下地の場合、現場工程に基づき、Pコンのモルタル埋め作業の手本を示している ○コンクリート下地の場合、現場工程、職長との打合せに従って、防塵マスクや防塵めがねを着用して壁面のサンダー掛けを行い作業の手本を示している ○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、水系などであたりを付け、塗り厚が均一になるように点検して、作業者に手本を示している ○コンクリート面やコンクリートブロック面などにおける下地左官の仕上がり面を返り墨から確認し、コーナー材を精度良く取付け良い作業の手本を示している ○下地の表面状態が仕上げ厚に適しているかどうか(有害な不陸、目違いなど)を確認した上で、自ら作業に取りかかっている。また、不具合箇所がある場合、自ら修正手直し作業の手本を示している ○コンクリート下地の場合、平滑面、打ち継ぎ面の処置(目荒らしをしているか、丸セパレーターの穴や打継ぎにセメント防水処理をしているか等)をした上で、水洗い清掃し次の作業に取りかかるように手本を示している ○墨出しの基本が仕上げの良し悪しを決定する要因であることを自ら作業の手本を示して実施している
②下地塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○左官材塗り面のコンクリートの状態を確認して、作業手順に則り、自ら判断して適正な時期に接着剤の塗布を行っている ○コンクリート下地の場合、作業手順に則り下地塗りを施し、横の櫛目を引いたり、目地を取付けている ○薄塗り仕上げにおいて、仕様書に記述された適合した材料の使用や作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っている ○厚塗り仕上げにおいて、仕様書に記述された適合した材料や工程、養生期間などの作業手順を理解し、求められる精度を確保した仕上げ塗り作業を行っている ○タイル下や塗装などの下地塗りの場合、仕様書に記述された適合した材料と塗り厚による工程、養生期間を守り、求められる精度を確保した下地塗り作業の手本を示している ○下地がコンクリート、木造いずれの場合でも壁との取合い、サッシのちりを確認して、所定の水勾配をつけて墨出し、塗り厚を決め、作業者に手本を示しながら精度の高い仕上げをしている
③庇、窓台、抱き回り、その他(笠木、巾木)	<ul style="list-style-type: none"> ○下地施工後しっかり養生された状況を確認、判断して作業手順に従って仕上げ作業をしている ○作業手順に従って箱定木を作り壁に取付け、塗込み押え仕上げをしている ○＜町場＞作業手順に従って壁との取り合いには漏水防止のコーキング目地を入れ取外し後コーキングを注入している ○作業手順に従って見上げ面の仕上げは、庇、天井に雨水が廻らないよう箱定木を作って水切り(おだれ)を設けている ○笠木の場合は、取合いや埋込み金物等を事前に確認し、作業手順に従って水切りを作っている ○巾木の場合は、出巾木、入り巾木、同一面巾木の各施工手順に従い、墨出し、塗り厚調整、仕上げをし、手本となる作業をしている ○設計図面にに基づき、ちり、垂直、精度の点検を定木型板やさし金等で自ら手際よく確認している

施工管理

施工技能

次頁に続く

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上材の種類と特徴 (セメントモルタル、ドロマイトブラスター、石膏ブラスター、漆喰塗りなど) ・左官仕上げの不具合事例 <p>3. 下地塗りの作業知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S049L11			
選択 能力ユニット	能力ユニット名	コンクリート打放し薄塗り仕上げ	
	概 要	職長等の作業責任者の管理の下に前工程であるコンクリート打設等の打放し素地を、適正な仕上げ表面にする作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準		
①コンクリート打設後の全面薄塗り部分薄塗り	○職長の指示に従って、Pコンのモルタル埋めを先輩作業者と一緒に教わりながら作業している		
	○職長の指示に従って、研削砥石資格者の立会いで教わりながら壁面のサンダー掛けを行っている		
	○サンダー掛けの場合には、先輩に教わりながら、防塵メガネとマスクを着用して作業している		
	○平滑面、打ち継ぎ面の処置（目荒らし、丸セパレーターの穴や打継ぎのセメント防水処理等）を先輩と一緒に教わりながら、水洗い清掃し、次の作業に取りかかっている		
	○型枠撤去後、作業手順を理解して、先輩作業者と一緒に教わりながら、豆板（ジャンカ）にモルタルを埋め、浮いている部分を削り取ったり、不陸の著しい箇所は付送りしている		
②仕上げ	○打放し仕上げ面の状態によって、先輩作業者と一緒に教わりながら、全面薄塗り部分薄塗り作業をしている		

●必要な知識	
1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・左官仕上の不具合事例 ・下地処理の点検方法 ・目地の役割と付け方 ・定木の使い方と精度の確認 	3. 下地塗りの作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝（こて）押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S050L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	コンクリート打放し薄塗り仕上げ	共通
	概要	職長等の作業責任者の管理の下に前工程であるコンクリート打設等の打放し素地を、適正な仕上げ表面にする作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①コンクリート打設後の全面薄塗り部分薄塗り	<ul style="list-style-type: none">○現場工程、職長との打合せどおり、Pコンのモルタル埋めをし、所定の品質が得られるように作業している○現場工程、職長との打合せに基づいて、壁面のサンダー掛けを行っている○サンダー掛けの場合には、防塵メガネとマスクを着用して作業をしている○平滑面、打ち継ぎ面の処置(目荒らし、丸セパレーターの穴や打ち継ぎのセメント防水処理等)をした上で、水洗い清掃し、次の作業に取りかかっている○型枠撤去後、作業手順に則り、豆板(ジャンカ)にモルタルを埋め、浮いている部分を削り取ったり、不陸の著しい箇所は付送りしている○打放し仕上げとして、専用器具によってPコン処理仕上げを行う作業をしている		
②仕上げ	<ul style="list-style-type: none">○打放し仕上げ面の状態によって、職長の指示に従い施工方法、材料などを打合せた後、全面薄塗り、部分薄塗り仕上げをしている		

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・左官仕上げの不具合事例 ・下地処理の点検方法 ・目地の役割と付け方 ・定木の使い方と精度の確認 	3. 下地塗りの作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝（こて）押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S051L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	コンクリート打放し薄塗り仕上げ	共通
	概要	職長等の作業責任者の管理の下に前工程であるコンクリート打設等の打放し素地を、適正な仕上げ表面にする作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①コンクリート打設後の全面薄塗り部分薄塗り	<p>○現場工程から判断して、職長と相談しながらPコンのモルタル埋めを、所定の品質が得られるように実施している</p> <p>○現場工程から判断して、職長と相談しながら、壁面のサンダー掛けを、所定の品質が得られるように実施している</p> <p>○サンダー掛けの場合には、防塵メガネとマスクを着用して手本となる作業をしている</p> <p>○平滑面、打ち継ぎ面の処置（目荒らし、丸セパレーターの穴や打継ぎのセメント防水処理等）をした上で、水洗い清掃し、自ら判断して次の作業に取りかかっており、作業者に手本となる作業を示している</p> <p>○コンクリート下地の場合、型枠撤去後、豆板（ジャンカ）にモルタルを埋め、浮いている部分を削り取ったり、不陸の著しい箇所は付送りするよう自ら作業の手本を示している</p> <p>○打放し仕上げとして、専用器具によってPコン処理仕上げを行い、所定の品質が得られるように自ら手本となる作業をしている</p>		
②仕上げ	○コンクリートの素地仕上げのため、躯体コンクリートの色に合わせた調合を行い、塗り方を工夫して素地そのままの仕上げ表現をしている		

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・左官仕上げの不具合事例 ・下地処理の点検方法 ・目地の役割と付け方 ・定木の使い方と精度の確認 	<p>3. 下地塗りの作業知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝（こて）押さえ、塗りこみのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 <p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S052L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	床の仕上げ	共通
	概要	土間や均しコンクリート、階段モルタル、三和土(たたき)床などの床の仕上げに関し、各部位に合致した適正な作業をする能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①床及び土間 コンクリート 直か仕上げ	○職長の指示の基に、床コンクリート面の表面レイトンス、泥、ゴミを取り除き、清掃を入念に行い水洗いしている ○仕上げ用の基準墨を先輩と一緒に、所定の水勾配かどうか教わりながら確認している ○コンクリート直か仕上の場合、先輩作業と一緒にコンクリート打設後、所定の高さに荒均し、タンピング、定木ずりして平坦に敷均している ○先輩作業者に教わりながら、木鏝(こて)を用いて、作業を覚えている	
②床、階段モルタル仕上げ	○下地コンクリートの不陸部分を先輩作業者に教わりながら、表面に櫛目を引いている ○下地施工後しっかり養生された状況を先輩作業から教わりながら、一緒に仕上げ作業の補助手伝いをしている ○塗付け後の散水養生期間を守り、亀裂や剥離を生じさせないための注意事項を先輩作業から教わっている	
③セルフレベル ングによる 均し仕上げ	○職長の指示に従い下地の状態・処理を確認後、打設スピードに合わせて(指示通りの)練混ぜをしている ○職長、先輩の指示通りにトンボを用いて打設を行い、打継ぎ部はタッピングにより、新旧の材料を馴染ませるコツを教わっている	
④三和土(たたき)床仕上げ	○＜町場＞先輩作業と一緒に山土(山砂利)に石灰等を混ぜて枠の中で均す作業を手伝っている	

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・床仕上げ面積と作業スピードの関係 ・人員の配置と作業動線の関連知識	・仕上がり面の精度の点検方法 ・天候、施工条件による作業変更(養生期間、塗り方の順序等)の知識 3. 下地塗りの作業知識 ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 4. 建築関連の知識 ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S053L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	床の仕上げ	共通
	概要	土間や均しコンクリート、階段モルタル、三和土（たたき）床などの床の仕上げに関し、各部位に合致した適正な作業をする能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①床及び土間 コンクリート 直か仕上げ	○床コンクリート面の表面レイタンス、泥、ゴミを取り除き、清掃を入念に行い、水洗いしている ○コンクリート直か仕上の場合、コンクリート打設後、所定の高さに荒均し、タンピング、定木ずりして平坦に敷均している ○コンクリート面が締まってきたタイミングを感じとり、木罎(こて)を用いて、中むら取りをしている ○罎(こて)むらと凸凹を生じさせない平滑さで金罎(こて)及び機械罎(こて)仕上げをしている		
②床、階段 モルタル 仕上げ	○下地コンクリートの不陸部分を作業手順に従ってモルタル調整し、表面に櫛目を引いている ○内部モルタル塗りの場合には、張り物下地(じゅうたん、カーペット、Pタイル)になることを考慮して、不陸、罎(こて)むらが目立たない均し仕上げをしている ○塗り、均し面積に応じたスピードで、均し定木ずりや機械罎(トロウエル)を活用している ○外部床モルタル仕上げの場合には、目地切り、水勾配、他の仕上げの取合いを考慮して、均し面積に応じたスピードで均しをしている ○施工区画の歩行動線を事前に決めて塗継ぎのない作業をしている ○塗付け後の散水養生期間を守り、亀裂や剥離を生じさせないように点検、注意している		施工技能
③セルフ レベリング による 均し仕上げ	○石膏系とセメント系の2種類の材料特性(石膏系は耐水性に乏しい)に応じた使い分けをしている ○トンボを用いて打設を行い、打継ぎ部はタッピングにより、新旧の材料を馴染ませている ○打設後の養生を仕様書(手順書)を守り、硬化後のひび割れ、不陸、気泡跡等の点検をして不具合を補修している		
④三和土 (たたき) 床仕上げ	○＜町場＞山土(山砂利)に石灰等を混ぜて枠の中で均し、要領よくつき固めている		

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法（コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード） ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等） ・左官仕上げの不具合事例 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・罫（こて）押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・床仕上げ面積と作業スピードの関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の配置と作業動線の関連知識 ・仕上がり面の精度の点検方法 ・天候、施工条件による作業変更（養生期間、塗り方の順序等）の知識 3. 下地塗りの作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・罫（こて）押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S054L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	床の仕上げ	共通
	概要	土間や均しコンクリート、階段モルタル、三和土(たたき)床などの床の仕上げに関し、各部位に合致した適正な作業をする能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理 施工技能
①床及び土間 コンクリート 直か仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○床コンクリート面の表面レイトンス、泥、ゴミ等を取り除き、清掃を入念に行って、水洗いしている ○仕上げ用の基礎墨を確認し、所定の水勾配かどうか確認している ○コンクリート直か仕上の場合、コンクリート打設後、所定の高さに荒均し、タンピング定木ずりして平坦に敷均している ○コンクリート面が締まってきたタイミングを感じとり、木鏝(こて)を用いて、中むら取りをしている ○コンクリートの締まり具合から最終金鏝(こて)仕上げの時期を判断している ○タイミングよい時期に適度な力で最終仕上げをしている 	
②床、階段 モルタル 仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○下地コンクリートの不陸部分を作業手順に従って手本となるような要領でモルタル調整し、表面に櫛目を引いている ○内部モルタル塗りの場合には、張り物下地(じゅうたん、カーペット、Pタイル)になることを考慮して不陸、鏝(こて)むらが目立たない精度の高い均し仕上げをしている ○塗り、均し面積に応じたスピードで、均し定木ずりや機械鏝(トロウエル)を活用し、手本となる作業を示している ○外部床モルタル仕上げの場合には、目地切り、水勾配、他の仕上げの取合いを考慮して、均し面積に応じたスピードで精度の高い均しをしている ○施工区画の歩行動線を事前に決めて塗継ぎのない作業の手本を示している ○塗付け後の散水養生期間を守り、亀裂や剥離を生じさせない作業の注意項目を熟知して職長から判断を任されている 	
③セルフ レベリング による 均し仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○石膏系とセメント系の2種類の材料特性(石膏系は耐水性に乏しい)に応じた使い分けをしている ○下地の状態、処理を確認後、打設スピードに合わせて練混ぜを指示している ○トンボを用いて打設を行い、打継ぎ部はタッピングにより、新旧の材料を馴染ませている ○打設後の養生を仕様書(手順書)を守り、硬化後のひび割れ、不陸、気泡跡を生じさせないコツを体得しており、不陸やムラの補修方法を熟知している 	
④三和土 (たたき) 床仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞山土(山砂利)に石灰等を混ぜて枠の中で均し、要領よくつき固め作業の手本を示している ○深草砂利、消石灰、ニガリを使用して、風流に数奇屋建築や茶室の土間、軒下に施工している 	

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 <p>2. 左官工事の施工、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地材の表面処理方法(コンクリート、コンクリートブロック、ALCパネル、プレキャストパネル、鋼製金網類、石膏ボード) ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・床仕上げ面積と作業スピードの関係 ・人員の配置と作業動線の関連知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がり面の精度の点検方法 ・天候、施工条件による作業変更(養生期間、塗り方の順序等)の知識 <p>3. 下地塗りの作業知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下地塗り材料の種類と特性 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 <p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S055L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	仕上げ塗り壁施工作業
	概 要	塗り壁施工に関し、セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、繊維壁、吹付化粧仕上げ、人造石などの各施工方法に合致した適切な作業を行う能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
① 鏝(こて)塗り技能	<ul style="list-style-type: none"> ● 中首鏝(こて)、元首鏝(こて)の使い方を学んでいる ○ 中首鏝(こて)を使って広い壁を平らにムラなく塗る方法を学んでいる ● 材料の練り方(下地の出来具合、中塗り状況などを見極めた調合をしているか等)によって仕上げがどのように変化するか、鏝(こて)をどのように選ぶかを学んでいる ● 塗り方の基本(左からちり周りを決めてそれから中を塗っていく方法、ドカ付けしない等)を学んでいる
② セメントモルタル塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下地施工後しっかり養生された状況の確認方法を教わっている ○ 仕上げ作業を先輩の指導を受けながら作業の補助、手伝いをしている ○ 仕様書、手順を勉強して、素材を加味した仕上げ方法を教わっている ○ コンクリート面の塗り作業においては、剥離などが発生しないように、コンクリートの状態の確認方法を教わっており、職長の指示に従って適正な時期に接着剤の塗布を行っている ○ 壁モルタル仕上げの場合には、先輩の指示で塗面に水湿しを行っている
③ 石膏プラスター	○ 先輩作業者の指示のもとに、一緒に教わりながら、むら直し中塗り面を所定どおりの塗り厚に塗りつけている
④ 漆喰塗り	○ 職長、先輩の指示のもとに、ちりの汚れをしっかりと除去して清掃している
⑤ 繊維壁塗り	○ <町場>繊維材料塗りの場合、シーラー塗布、目地処理の確認方法を教わりながら、補助・手伝いをしている
⑥ 吹き付化粧仕上げ塗り	○ 先輩作業者の指導の基に、本塗りにおいては吹付け(リシン、スタッコ、吹付タイル)のいずれの仕上げ面に模様むら、色むらが出ない仕上げを教わっている
⑦ 人造石塗り	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先輩の指導の基に、指示された下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業の手伝いをしている ○ 上塗り(仕上げ種石塗付け)は作業を手伝いながら少しずつ基本から学んでいる ○ 研出しの場合、一連の作業を手伝いながら基本を一つひとつ学んでいる ○ 洗出しの場合、一連の作業を手伝いながら基本を一つひとつを学んでいる
⑧ 乾式リフォーム・改修施工	<ul style="list-style-type: none"> ○ <町場>職長や先輩と一緒に、コンクリート建物の外壁(タイル張り、吹付塗装仕上げ)の現地調査をして、外壁の劣化現象(剥離や亀裂等)の原因を調べる方法を学んでいる ○ <町場>ひび割れ補修工法は、作業(カット、清掃、プライマー塗布、シール、樹脂モルタル充填)の流れに従って職長や先輩と一緒に補修作業の手伝いをしている

施工管理

施工技能

●: 施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している

● 必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 3. 仕上げ塗り壁の作業知識 <ul style="list-style-type: none"> ・鏝(こて)の種類と使い方(用途)の知識 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 ・鏝(こて)押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の仕上げとの関連性 ・下地材料、下地処理の点検方法 ・定木の使い方と精度の確認 ・乾燥具合の判断と上塗りのタイミングの理解 ・天候、施工条件による作業スピード、塗り方手順の修正の判断 4. 建築関連の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法(外観目視、打診他) ・補修・改修の工法(アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法) ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程(コンクリート工事、木工事等)の施工法 ・後工程(吹付工事、タイル工事等)の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S056L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	仕上げ塗り壁施工作業	共通
	概 要	塗り壁施工に関し、セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、繊維壁、吹付化粧仕上げ、人造石などの各施工方法に合致した適切な作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
① 鏝(こて)塗り技能	○元首鏝(こて)を使って細かい仕上げ(役物等)をしている ○小規模な塗り作業を任されて作業している ○壁に対する鏝(こて)の角度が適切であり、凸凹やムラ、波跡無く均一に仕上げています ○下塗り、中塗りの乾き具合を手で触って、感触によりその状態を判断して上塗りのタイミングを見計らっている		
② セメントモルタル塗り	○下地施工後しっかり養生された状況を確認・判断して仕上げ作業をしている ○仕様書、手順どおり、且つ素材を加味した仕上げ施工を実施している ○コンクリート面の塗り作業においては、作業手順に従って、剥離などが発生しないように、コンクリートの状態を確認して、適正な時期に接着剤の塗布を行っている ○クラックなどに対応した適切な目地の確認を行い、塗厚による作業手順に従って仕上げ塗り作業を行っている ○壁モルタル仕上げの場合には、塗面に水湿しを行い、全体的に所定の塗厚を満遍なく塗り付けている ○下地調整、下塗り、むら直し面の場合は、水引きの程度を見計らって金櫛を用い、荒く櫛目を均等に引いている		
③ 石膏プラスター塗り	○中塗り、むら直し面の櫛目を引き、所定通りの塗厚に塗りつけている ○耐アルカリ性の既調合プラスター材料か確認し、施工している		
④ 漆喰塗り	○ちりの汚れをしっかりと除去して清掃している ○中塗りの水引き具合を見て上塗りし、その水引を見て鏝(こて)押え仕上げしている ○乾燥収縮の大きい漆喰の特徴を理解し、1回の塗厚を薄くして、均一でむらなく塗付けている(土中塗りの場合は完全乾燥後)		
⑤ 繊維壁塗り	○＜町場＞上塗りを所定の平滑さで金鏝(こて)仕上げしている		
⑥ 吹き付化粧仕上げ塗り	○本塗りにおいては吹付け(リシン、スタッコ、吹付タイル)のいずれの仕上げ面に模様むら、色むらが出ない仕上げをしている		
⑦ 人造石塗り	○目地棒を設計図書に基づき通りよく取り付けしている ○目地割は亀裂、ひび割れを生じさせないように、意匠として小さく入れている ○洗出し、研出し用の種石の材料粒度、色を調合する場合、職長や熟練技能者からの指示に従い、調合作業をしている ○上塗り(仕上げ種石塗付け)は種石と種石の間に隙間が生じないように、職長や熟練技能者の指導の基で人造鏝(こて)で良く伏せ込み、ブラシでセメントノロを取り除いた上で、十分に押さえ込むことを学んでいる ○研出しの場合、職長や熟練技能者の指導の基に上塗り後、研磨機やグラインダーを使って所定の砥石で荒研ぎを学びつつその表面を目つぶしし、中研ぎとして平坦にした後、仕上げの研ぎ出し、艶だしをしている ○洗出しの場合、職長や熟練技能者の指導の基に、伏せ込み後、水引き具合を見て刷毛で表面のあまを拭取り、噴霧器でむらのないようにあまだけ洗い落としている。洗いすぎると種石まで流れ出すため、噴霧器のノズル先端と上塗り面との間隔など水引き具合で調整が必要な部分は適切なタイミングで助言されている		

次頁に続く

<p>⑧乾式 リフォーム・ 改修施工</p>	<p>○＜町場＞職長や熟練技能者との打合せに基づき、コンクリート建物の外壁（タイル張り、吹付塗装仕上げ）の現地調査をして、外壁の劣化現象（剥離や亀裂等）の原因を調べている</p> <p>○＜町場＞乾式の内装仕上材は、現況の内装仕上材（クロスなど）の結露や汚れ、剥離等の劣化を調査して職長や熟練技能者に報告している</p> <p>○＜町場＞床は既存材料（ビニールシート、タイル、フローリング等）の汚れ、変色、フクレ、反り、浮きなどの劣化を調査して職長や熟練技能者に報告している</p> <p>○＜町場＞ひび割れ補修工法は、作業（カット、清掃、プライマー塗布、シール、樹脂モルタル充填）の流れに従って、劣化度に応じて精度よく作業している</p> <p>○＜町場＞モルタル塗り全面除去外壁再仕上工法（原則3階以上の建物には用いない）は、モルタルの除去後、ピンの叩き込み、繊維ネットの伏せ込み、ポリマーセメント、モルタル塗り付け等、一連の作業を納まりの寸法を遵守して精度良く仕上げている</p>
--------------------------------	---

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等） ・左官仕上げの不具合事例 <p>3. 仕上げ塗り壁の作業知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏝（こて）の種類と使い方（用途）の知識 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・鏝（こて）押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・下地材料、下地処理の点検方法 ・定木の使い方と精度の確認 ・乾燥具合の判断と上塗りのタイミングの理解 ・天候、施工条件による作業スピード、塗り方手順の修正の判断 <p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S057L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	仕上げ塗り壁施工作業	共通
	概要	塗り壁施工に関し、セメントモルタル、石膏プラスター、漆喰、繊維壁、吹付化粧仕上げ、人造石などの各施工方法に合致した適切な作業を行う能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
① 鏝(こて)塗り技能		○大規模、複雑な設計の塗り作業を任されている ○広い面積を乾燥させないで早く塗り終えている ○下地によって左官材料(混和剤の分量)の加減を調整し、仕上げの出来映えをよくする最適な塗り方を実践している ○鏝(こて)塗りは、仕上げ表面に水引きのあんばいを見て素早く塗って、ゆったり均一に見映えよく仕上げています			
② セメントモルタル塗り		○下地施工後しっかり養生された状況を確認、判断して仕上げ作業をしている ○コンクリートブロック面や軽量鉄骨下地組面などにおいて、ラス張りを行い、塗り厚による工程・養生期間にしたがって、手本となる仕上げ塗り作業を行っている ○クラックなどに対応した適切な目地の確認を行い、塗り厚による作業手順に従って手本となるような仕上げ塗り作業を行っている ○壁モルタル仕上げの場合は、塗面に水湿しを行い、全体的に所定の塗厚を満遍なく塗り付け、手際よくムラなく精度の高い作業になっている ○下地調整、下塗り、むら直し面の場合は、水引きの程度を見計らって金櫛を用い、荒く櫛目を均等に引いている			
③ 石膏プラスター塗り		○中塗り、むら直し面の櫛目を引き、所定通りの塗厚に塗りつけている ○耐アルカリ性の既調合プラスター材料が確認し、施工している			
④ 漆喰塗り		○表面に浮き出てくるスサなどを見極めて、また天候(湿度、温度、風向き等)を考慮した最適な塗り作業(塗る順序、材料の調合の修正、鏝(こて)選びなど)をしている ○中塗りの水引き具合を見て上塗りし、その水引を見て鏝(こて)押え仕上げしている ○乾燥収縮の大きい漆喰の特徴を理解し、1回の塗厚を薄くして、均一でむらなく塗付けている(土中塗りの場合は完全乾燥後)			
⑤ 繊維壁塗り		○＜町場＞上塗りを所定の平滑さで金鏝(こて)仕上げしている			
⑥ 吹き付化粧仕上げ塗り		○見本塗り(見本)による仕上げ工程、模様、色、つやを作成し、本吹きにおいては吹付け(リシン、スタッコ、吹付タイル)のいずれの仕上げ面にも模様むら、色むらが出ない仕上げをしている			
⑦ 人造石塗り		○下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業の状態を確認して、中塗り(セメントモルタル、目地割り、目地棒張付け)作業のタイミング(乾燥状態)を自らの経験で正しく判断して作業している ○洗出し、研出し用の種石の材料粒度、色を調合する場合、自らの経験と知識に基づき、設計図書の意匠と食違いないように材料の現場受取り検査をし、品質の良し悪しを現場管理職(職長や現場統括責任者)に報告している ○洗出し、研出し用に混入する種石材料(碎石、セメント、消石灰、石粉、着色剤、顔料など)の調合を自らの経験と知識に基づき、適切な比率で行っている。また、部下や後輩技能者に自らの技能をやって見せている ○上塗り(仕上げ種石塗付け)は種石と種石の間に隙間が生じないように人造鏝(こて)で良く伏込み、ブラシでセメントノロを取り除いた上で、十分に押さえ込んでいる ○研出しの場合、設計打合せに従い上塗り後、研磨機、グラインダーなど所定の砥石で荒研ぎをしてその表面を目つぶしし中研ぎして、平坦にした後、仕上げの研出し、艶だしをしている ○洗出しの場合、伏せ込み後、水引き具合を見て刷毛で表面のあまを拭取り、噴霧器でむらのないようにあまだけ洗い落としている。洗いすぎると種石まで流れ出すため、噴霧器のノズル先端と上塗り面との間隔など水引き具合で調整が必要な部分は適切なタイミングで調整している。作業は上から仕上げるため、下側の未処理部分への影響が出ることも想定し、樋等を作り洗い水処理を行っている			

次頁に続く

<p>⑧乾式 リフォーム・ 改修施工</p>	<p>○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要請、相談を基にコンクリート建物の外壁（タイル張り、吹付塗装仕上げ）の現地調査を行い、調査結果を検証後、外壁の劣化現象（剥離や亀裂等）の原因等を職長に報告している</p> <p>○＜町場＞乾式の内装仕上材は、現況の内装仕上材（クロスなど）の結露や汚れ、剥離等の劣化調査を行い、調査結果を職長に報告している</p> <p>○＜町場＞床は既存材料（ビニールシート、タイル、フローリング等）の汚れ、変色、フクレ、反り、浮きなどの劣化調査を行い、調査結果を職長に報告している</p> <p>○ひび割れ補修工法は、作業（カット、清掃、プライマー塗布、シール、樹脂モルタル充填）の流れに従って、劣化度に応じて精度よく作業を行っている</p> <p>○＜町場＞モルタル塗り全面除去外壁再仕上工法（原則3階以上の建物には用いない）は、モルタルの除去後、ピンの叩き込み、繊維ネットの伏せ込み、ポリマーセメント、モルタル塗り付け等、一連の作業を納まりの寸法を遵守して精度良く仕上げている</p>
--------------------------------	--

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解 <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴（セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等） ・左官仕上げの不具合事例 <p>3. 仕上げ塗り壁の作業知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏝（こて）の種類と使い方（用途）の知識 ・目地張り、仕上げ系張りの点検方法 ・各塗り層の塗り厚、養生、乾燥期間の判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・鏝（こて）押さえ、塗り込みのタイミング及び程度 ・他の仕上げとの関連性 ・下地材料、下地処理の点検方法 ・定木の使い方と精度の確認 ・乾燥具合の判断と上塗りのタイミングの理解 ・天候、施工条件による作業スピード、塗り方手順の修正の判断 <p>4. 建築関連の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート下地劣化の構造 ・塗装の劣化原因 ・シーリングの劣化原因 ・建物診断方法（外観目視、打診他） ・補修・改修の工法（アンカーピンニング、Uカットシーリング、ピンネットセメントスラリー、パネルかぶせ等の工法） ・エポキシ樹脂等使用材料の特徴 ・前工程（コンクリート工事、木工事等）の施工法 ・後工程（吹付工事、タイル工事等）の施工法 ・設計図及び仕様書の理解
---	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S058L11

選択
能力ユニット

能力ユニット名

粗面仕上げ施工作業

概 要

粗面仕上げに関し、各施工方法に合致した適切な作業を行う能力

共通

能力細目

職務遂行のための基準

①リシン掻き
落とし仕上げ○職長の指導に基づき、下地の清掃を行い、下地に水を湿し、所定のシーラー塗り、
接着剤塗布を先輩技能者と一緒にしている

○職長や熟練技能者の指導のもと、下塗りの表面を水で湿している

○打合せに基づき、所定の調合（セメント、骨材、顔料など）を正しく軽量して均一な材
料調合をする作業補助を、職長や先輩の指示に従って行っている施工
管理

②その他

○先輩作業者の指導の基に、ローラー仕上の場合は、所定の模様が形成できるように
塗厚を定めて均一に塗り付けている○先輩作業者の指導の基に、合成樹脂材塗り仕上げの場合、所定の模様が形成出来
るように作業の手伝いをしている施工
技能

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識

- ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）
（公共建築協会）
- ・建築工事監理指針（15章左官工事）
（公共建築協会）
- ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）
（公共建築協会）
- ・左官施工法（日本左官業組合連合会）
- ・左官工事施工要領書（作業標準書）の理解

2. 左官工事の施工技法、専門知識

- ・見本塗り、試験塗りの方法
- ・左官塗りに適合する下地と塗り工法
- ・仕上げ材の種類と特徴（セメントモルタル、
ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰
塗り等）
- ・左官仕上げの不具合事例
- ・仕上げ見本と調合との確認
- ・掻き落とし作業のポイント
（均一性、色むら等の防止）知識
- ・目地棒の除去と目地詰め方法

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S059L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	粗面仕上げ施工作業	共通
	概要	粗面仕上げに関し、各施工方法に合致した適切な作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①リシン掻き落とし仕上げ	<p>○下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業の状態を点検して、中塗り(セメントモルタル、目地割り、目地棒貼り付け)作業のタイミング(乾燥状態)を熟練技能者に連絡している</p> <p>○下塗りの表面を水で湿した後、熟練技能者の助言に従い水引をみて、リシン材を塗付け鏝(こて)でよく伏せ込んでいる。硬化後、ワイヤブラシ又は鏝(こて)・掻き落とし工具で掻き落としている</p> <p>○打合せに基づき、所定の調合(セメント、骨材、顔料など)を正しく計量して、均一な材料調合をしている</p>			
②その他	<p>○鏝(こて)及びローラー仕上の場合、所定の模様が形成できるように塗厚を定めて均一に塗付けている</p> <p>○合成樹脂材塗り仕上げの場合、所定の模様が形成出来るように作業している</p>			

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 	<p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 ・仕上げ見本と調合との確認 ・掻き落とし作業のポイント(均一性、色むら等の防止)知識 ・目地棒の除去と目地詰め方法
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S060L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	粗面仕上げ施工作業	共通
	概要	粗面仕上げに関し、各施工方法に合致した適切な作業を行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①リシン掻き落とし仕上げ	<ul style="list-style-type: none">○仕上げのとき塗継ぎの跡や筋が目立って汚くならないように、鏝(こて)を使って材料の中の石の噛み合わせを利用して仕上げ面を均一に見映えよく塗っている○下地の湿り具合を触って、見て判断して上塗りのタイミングをつかんでいる○下塗り(セメントモルタル、櫛目引き)作業結果の状態を確認して、上塗り(リシン材伏せ込み)作業のタイミング(乾燥状態)を自らの経験と知識に基づいて判断している○下塗りの表面を水で湿した後、自らの判断と高度熟練技能者の助言に基づき、水引をみて上塗りのリシン材を、塗付け鏝(こて)でよく伏せ込んでいる。硬化後、ワイヤブラシ又は鏝(こて)・掻き落とし工具で均一な粗面になるように掻き落としている○セメント系リシンについて夏場のドライアウト、冬場の白華現象を防止するコツ(水回り処理など)を身につけ、気候や温度等を確認し作業者に助言をしている○仕上げ見本を見て所定の調合(セメント、骨材、顔料など)を正しく計量して均一な材料調合をしているかどうかを自らの経験と知識で正しく判断している		
②その他	<ul style="list-style-type: none">○鏝(こて)及びローラー仕上の場合、所定の模様が形成できるように塗厚を定めて均一に塗付けている○合成樹脂材塗り仕上げの場合、所定の模様が櫛引で形成できている		

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事) (公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事) (公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説 (JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) ・左官工事施工要領書(作業標準書)の理解 	<p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り、試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴(セメントモルタル、ドロマイトプラスター、石膏プラスター、漆喰塗り等) ・左官仕上げの不具合事例 ・仕上げ見本と調合との確認 ・掻き落とし作業のポイント (均一性、色むら等の防止)知識 ・目地棒の除去と目地詰め方法
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S061L11

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工態度	共通
	概要	施工中の態度、取組み姿勢に関する能力及び現場のルールを守り、良い仕事をチームワークで行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①マナー及び作業態度	<ul style="list-style-type: none"> ●決められた作業区域外には立入らず、顧客（設計事務所、元請、発注者）に迷惑をかけたり不審者と思われないようにしている ●朝礼、統一清掃等の規律をきちんと守ること等によって顧客（設計事務所、元請、発注者）の信頼を得ている ●現場関係者や近隣関係者等に自発的に挨拶をし、ゴミを勝手に捨てない等、社会人としてのエチケットを守っている ●工事品質や安全性を確保するために喫煙は所定の場所で行っている ●工事品質や安全性を確保するために作業性のよい服装をして、安全防具等も正しく着用している ●常に体調を良好な状態に維持してテキパキ、ハキハキ、イキイキと機敏に仕事をしている ●重量物運搬や高所での作業等の環境に適応できる体力、気力を持っている ●施工を立体的にイメージできるよう図面に興味を持って見ている 		

●：施工技能職のレベル1における「エントリー」を区分して表示している

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客（元請、発注者）の作業所規則 ・新規入場者教育の遵守 2. 企業内の諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・労働基準法の概要 3. 社会人としてのマナー及び態度 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶の励行 ・報告、相談、連絡の基本 ・チームワーク（相互協力） ・後輩への接し方や教え方 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S062L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工態度	共通
	概要	施工中の態度、取組み姿勢に関する能力及び現場のルールを守り、良い仕事をチームワークで行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理
①マナー及び作業態度	<p>■ 良い作業をするために班全体の雰囲気や意識に注意を払いながら仕事を進め、作業遂行上に過不足なことがあれば職長に具申して解決している</p> <p>○ 決められた作業区域外には立入らず、顧客（設計事務所、元請、発注者）に迷惑をかけたり不審者と思われないようにしている</p> <p>■ 職長から指示されなくとも自分で率先して仕事を進めている</p> <p>○ お互いに協力し合って、作業者同士の良好な関係を保っている</p> <p>○ 工事品質や安全性を確保するために喫煙は所定の場所で行っている</p> <p>○ 工事品質や安全性を確保するために作業性のよい服装をして、安全防具等も正しく着用している</p> <p>○ ムダや不安全が発生しないように整理整頓や養生を率先して実施して職長に報告している</p> <p>○ 重量物運搬や高所での作業等の環境に適応できる体力、気力を持っている</p> <p>○ 施工を立体的にイメージできるよう図面に興味を持って見ている</p>	

■：施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客（元請、発注者）の作業所規則 ・新規入場者教育の遵守 2. 企業内の諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・労働基準法の概要 3. 社会人としてのマナー及び態度 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶の励行 ・報告、相談、連絡の基本 ・チームワーク（相互協力） ・後輩への接し方や教え方 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S063L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	施工態度	共通
	概 要	施工中の態度、取組み姿勢に関する能力及び現場のルールを守り、良い仕事をチームワークで行う能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工 管理
①マナー及び作業態度	<p>○良い作業をするために班全体の雰囲気や意識に注意を払いながら仕事を進め、作業遂行上に過不足なことがあれば職長に具申して解決している</p> <p>○決められた作業区域外には立入らず、顧客（設計事務所、元請、発注者）に迷惑をかけたり不審者と思われないようにしている</p> <p>○職長から指示されなくとも自分で率先して仕事を進めている</p> <p>○お互いに協力し合って、作業者同士の良好な関係を保っている</p> <p>○工事品質や安全性を確保するために喫煙は所定の場所で行っている</p> <p>○ムダや不安全が発生しないように整理整頓や養生を徹底することが良い仕事することだと言うことを、自ら手本を示して実行している</p> <p>○重量物運搬や高所での作業等の環境に適応できる体力、気力を持っている</p>	

●必要な知識

1. 工事現場の基本ルールに関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・顧客（元請、発注者）の作業所規則 ・新規入場者教育の遵守 2. 企業内の諸規定に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則 ・労働基準法の概要 3. 社会人としてのマナー及び態度 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶の励行 ・報告、相談、連絡の基本 ・チームワーク（相互協力） ・後輩への接し方や教え方 	
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S064L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の自然素材調合	共通
	概要	日本壁の構造と作り方を理解し、自然素材(土、珪藻土、藁等)を用いた荒壁、塗り壁の材料を適切に調合する能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①材料、 器工具及び 作業の確認	○＜町場＞職長の指示どおり、材料、器工具類を手配し準備している ■＜町場＞今後同じような仕事を実施する時に備えて、材料、器工具類の準備、段取り、管理方法等の必要事項を記録している		
②材料調合	○＜町場＞卓越技能者(レベル4)の手本を真似ながら材料を調合する練習を実施している ○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、職長の指示の基に、熟練、卓越技能者を手伝いながら水質及び砂の粒土、塩分、泥分、有機分の含有量の品質試験方法を学んでいる ○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、職長の指示の基に、熟練、卓越技能者を手伝いながら、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきを出さないことを学んでいる ■＜町場＞今後同じような仕事を実施する時に備えて、使用材料や配合等の必要事項を記録している		施工技能

■：施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定(機械能力と作業量) ・見本塗り・試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴 ・材料の品質試験方法 ・調合と施工条件の関係 <p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の公正とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) 	<p>4. 木舞下地作業の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 自然素材の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色土の種類と色調 ・意匠と調合の関係 ・施工条件に合わせた材料ごしらえ ・粘土の性質と扱い方 ・藁スサの種類と用途 ・糊の種類、目的と使い方 ・骨材の種類と用途、使い方 <p>6. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S065L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の自然素材調合
	概要	日本壁の構造と作り方を理解し、自然素材(土、珪藻土、藁等)を用いた荒壁、塗り壁の材料を適切に調合する能力

共通

能力細目	職務遂行のための基準
①材料、器工具及び作業の確認	<p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)からの要望に対しては、過去の経験を基に自らの力量を発揮して、計画された各工法に見合った材料、器工具類の準備、段取り等を卓越技能者(レベル4)の基で任されて実施している</p> <p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)の要望どおりに仕上がっているか、作業進捗に合せて詳細に仕様書とつき合わせている</p>
②材料調合	<p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)からの要望に対しては、過去の経験を基に自らの力量を発揮して、計画された各工法に見合った材料調合を卓越技能者(レベル4)の基で実施している</p> <p>○＜町場＞日本壁(木舞下地土壁)は、設計者の意図するイメージを感じ取り、適した材料(荒木田土)を選定し、すさ、のり、色土、石灰を混ぜ合わせる調合の段取りを卓越技能者(レベル4)の基で実施している</p> <p>○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、使用前に水質及び砂の粒土、塩分、泥分、有機分の含有量の品質試験を実施している</p> <p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)の要望どおりに材料調合が出来ているか、作業進捗に合せて詳細に仕様書とつき合わせている</p> <p>○＜町場＞自然素材の塗り壁は、調合と練り方が最も重要(不具合の原因になり易い)であるため、ふるい分け、塊の打ち砕き、十分な水の浸透に注目して練り混ぜしている</p> <p>○＜町場＞荒壁土、裏壁土の練り方は、水を加えながら鍬等で切り返し軟らかく練り藁とすさを加えて分散させて練り返して、周囲を畦様にし水を数日間溜置して寝かせている</p> <p>○＜町場＞むら直し、中塗り土の練り方は、もみすさを加えて混ぜ練りし、数日間寝かせている</p>

施工管理

施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定(機械能力と作業量) ・見本塗り・試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴 ・材料の品質試験方法 ・調合と施工条件の関係 <p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の公正とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) 	<p>4. 木舞下地作業の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 自然素材の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色土の種類と色調 ・意匠と調合の関係 ・施工条件に合わせた材料ごしらえ ・粘土の性質と扱い方 ・藁スサの種類と用途 ・糊の種類、目的と使い方 ・骨材の種類と用途、使い方 <p>6. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S066L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の自然素材調合	共通
	概要	日本壁の構造と作り方を理解し、自然素材(土、珪藻土、藁等)を用いた荒壁、塗り壁の材料を適切に調合する能力	

能力細目	職務遂行のための基準	施工管理	施工技能
①材料、器工具及び作業の確認	<p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)からの特別な要望に対しては、過去の経験を基に自らの能力をフルに発揮して、予定の各工法に見合う材料、器工具類を準備し、段取り、等を職人に指示し、準備ができた段階で最終確認を行っている</p> <p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)要望どおりに仕上がっているか、作業進捗に合せて詳細に仕様書とつき合わせるように職人に指示し、不具合があれば対策を提案している</p>		
②材料調合	<p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)からの特別な要望に対しては、過去の経験を基に自らの力量を発揮して、計画された各工法に見合った材料調合を職人に指示し、作業後に調合を確認して必要あれば、やり直し等を指示している</p> <p>○＜町場＞顧客(設計事務所、元請、発注者)要望どおりに仕上がっているか、作業進捗に合せて詳細に仕様書とつき合わせるように職人に指示し、不具合があれば対策を提案している</p> <p>○＜町場＞自然素材の塗り壁は、調合と練り方が最も重要(不具合の原因になり易い)であるため、ふるい分け、塊の打ち砕き、十分な水の浸透に注目して練り混ぜるようにポイントを指示して、調合と練り方が終了した段階で出来具合を確認している</p> <p>○＜町場＞荒壁土、裏壁土の練り方は、水を加えながら鍬等で切り返し軟らかく練り、藁とすさを加えて分散させて練り返し、周囲を畦様に水の数日間溜置して寝かせる一連の作業のポイントを指示し、必要であれば練り上がりの段階で修整させている</p> <p>○＜町場＞むら直し、中塗り土の練り方は、もみすさを加えて混練りし、数日間寝かせる一連の作業のポイントを指示して、必要であれば練り上がりの段階で修正させている</p> <p>○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、設計者の意図するイメージを感じ取り、適した材料(荒木田土)を選定し、すさ、のり、色土、石灰を混ぜ合わせる調合の段取りを最終確認している</p> <p>○＜町場＞日本壁(木舞下地土壁)は、水質及び砂の粒土、塩分、泥分、有機分の含有量の品質試験を使用前に実施するように指示して、試験結果を最終確認している</p> <p>○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査の指示を行い、バラつきに注意するよう助言している</p> <p>○＜町場＞木舞下地は、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた組み方をするように最終確認している</p> <p>○＜町場＞木舞下地は、並物、中物、上物等の掻き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかりと固定するようにアドバイスしている</p>	施工管理	施工技能

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定(機械能力と作業量) ・見本塗り・試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・仕上げ材の種類と特徴 ・材料の品質試験方法 ・調合と施工条件の関係 <p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の公正とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) 	<p>4. 木舞下地作業の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 自然素材の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色土の種類と色調 ・意匠と調合の関係 ・施工条件に合わせた材料ごしらえ ・粘土の性質と扱い方 ・藁スサの種類と用途 ・糊の種類、目的と使い方 ・骨材の種類と用途、使い方 <p>6. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
--	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S067L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の伝統左官施工	共通
	概要	日本古来の伝統左官技法(土物壁、大津壁、土蔵など木舞下地に土壁のもの)の知識を持って、歴史的建築(文化財等含む)を再現できる卓越した技能及びこれらを次世代に継承しようとする姿勢	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理	施工技能
①木舞搔き		○＜町場＞作業手順に則り、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた組み方をしている			
		○＜町場＞木舞下地は、職長の指示を仰ぎながら割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた組み方をしている			
		○＜町場＞木舞下地は、並物、中物、上物等の搔き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定している			
②土壁施工		○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきに注意している			
		○＜町場＞職長の指示を基に、荒壁塗り、裏壁塗り、貫伏せ塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗り等を各々の塗り方に従って、熟練卓越技能者を手伝いながら作業している			
		○＜町場＞各塗り方について、職長の指示を基に、亀裂防止を念頭に乾燥期間、鏝(こて)の押え(こすり塗り等)や均し方法を学びながら仕上げしている			
③伝統左官仕上げ施工		○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗、ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻いずれかの手伝い経験をしており、設計図面に基づいて建築家や顧客(設計事務所、元請、発注者)との施工打合せ内容を理解している			
		○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗、ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻の技法のいずれかの材料調合、下地施工、仕上げ塗りを学びながら作業をしている			

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り・試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆(さび)の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 ・漆喰彫刻等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 	<p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の構成とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) <p>4. 木舞下地作業の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S068L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の伝統左官施工	共通
	概要	日本古来の伝統左官技法(土物壁、大津壁、土蔵など木舞下地に土壁のもの)の知識を持って、歴史的建築(文化財等含む)を再現できる卓越した技能及びこれらを次世代に継承しようとする姿勢	

能力細目	職務遂行のための基準		
①木舞搔き	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞作業手順に則り、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた手本となる組み方をしている ○＜町場＞木舞下地は、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた組み方をしている ○＜町場＞木舞下地は、並物、中物、上物等の搔き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定して精度の高い作業を実施している 		施工管理
②土壁施工	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、ひげこ、のれん、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきに注意している ○＜町場＞荒壁塗り、裏壁塗り、貫伏せ塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗り等を各々の塗り方に従って、強度、付着力、平滑性を確認しながら作業している ○＜町場＞各塗り方について、亀裂防止を念頭に乾燥期間、鏝(こて)の押え(こすり塗り等)や均し方法を駆使して仕上げしている 		施工技能
③伝統左官仕上げ施工	<ul style="list-style-type: none"> ○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗、ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻いずれかの技術を経験しており、設計図面に基いて建築家や顧客(設計事務所、元請、発注者)との施工打合せに同席している ○＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗、ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻の技法のいずれかの材料調合、下地施工、仕上げ塗りの作業をしている ○砂リシン壁等のリシン搔き落しの場合、下塗りの表面を水で湿した後、自らの判断により水引をみて上塗りのリシン材を塗り付け鏝(こて)でよく伏せ込んでいる。卓越技能者の手本を見ながら、硬化後、ワイヤブラシまたは鏝(こて)・及び搔き落とし工具で均一な粗面になるように搔き落としている ○大津磨き壁の場合、魅力的な光沢や壁肌を醸し出すための材料選定や調合、さらに練り方、塗り方、乾き具合等の見極め、磨き方を卓越技能者の基で作業しながら、部分的に身につけている 		

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(公共建築協会) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り・試験塗りの方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆(さび)の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 ・漆喰彫刻等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 	3. 木舞下地種類の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の構成とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) 4. 木舞下地作業の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 5. 土物壁との関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
---	--

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

ユニット番号 19S069L44

選択
能力ユニット

能力ユニット名

日本建築の伝統左官施工

概 要

日本古来の伝統左官技法(土物壁、大津壁、土蔵など木舞下地に土壁のもの)の知識を持って、歴史的建築(文化財等含む)を再現できる卓越した技能及びこれらを次世代に継承しようとする姿勢

共通

施工管理

施工技能

能力細目

職務遂行のための基準

①木舞掻き

- ＜町場＞作業手順に則り、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた手本となる組み方をしている
- ＜町場＞木舞下地は、割り竹、丸竹を用いて壁圧(重さに耐える)に応じた組み方をしている
- ＜町場＞木舞下地は、並物、中物、上物等の掻き方の区別により、縄等で一定間隔にしっかり固定して精度の高い作業を実施している

②土壁施工

- ＜町場＞日本壁(木舞下地に土壁)は、ひげこ、暖簾、しゅろ毛、パーム類の材質検査を行い、バラつきに注意している
- ＜町場＞荒壁塗り、裏壁塗り、貫伏せ塗り、むら直し塗り、中塗り、上塗り等を各々の塗り方に従い、強度、付着力、平滑性を確認しながら作業するように指示して、塗りの仕上がり後必要に応じて検証している
- ＜町場＞各塗り方について亀裂防止を念頭に乾燥期間、鏝(こて)の押え(こすり塗りなど)や均し方法を駆使して仕上げるように指示している

③伝統左官
仕上げ施工

- ＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗・ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻いずれかの技術を経験しており、設計図面に基いて建築家や顧客(設計事務所、元請、発注者)と施工打合せを行って、施工者の立場から施工技術的な意見を述べている
- 砂リシン壁等のリシン掻き落しの場合、下塗りの表面を水で湿した後、自らの判断により水引をみて上塗りのリシン材を塗り付け鏝(こて)でよく伏せ込んでいる。設計意匠を理解して仕上げ見本と食違いないように細かな仕上げを確認しながら硬化後、ワイヤブラシ又は鏝(こて)及び掻き落とし工具で均一な粗面になるよう見事に(正確に)掻き落としている
- 大津磨き壁の場合、魅力的な光沢や壁肌を醸し出すための材料を的確に選び、意匠に合わせた調合をしている
- 大津磨き壁の仕上げ工程に入った場合、引土塗り、もどし作業、磨き作業、もやとり等の極細かな技法を駆使してそのコツを後輩達にやってみせている
- ＜町場＞木舞下地土壁、防火塗籠壁(土蔵塗・ナマコ壁)、土塀、漆喰(彫刻)、蛇腹引き及び石膏彫刻の技法のいずれかの材料調合、下地施工、仕上げ塗りを建築家や顧客(設計事務所、元請、発注者)から任されており、任された作業に関しては磨きや錆などの特殊表現を意匠に合わせて徹底して行っている
- 歴史的建物の人造石洗出しの場合、目地棒の張り方、あまこすり、上塗り材塗り付け、伏込みの作業要領を体得し、種石がきれいに浮き出るように手本を示している。表面ムラがなく、見事な色合いを醸し出し、高度な左官技術を設計意匠にマッチした形で表現している

次頁に続く

④伝統左官文化の伝承	<p>○土、砂、藁、石灰他の様々な材料を水と糊を按配しながら日本風土に合致した、その場、意匠にふさわしい壁をつくることに大きな情熱を持っている</p> <p>○文化財の修復や土蔵工事等において伝統左官施工を実施する場合、これらの伝統左官未経験の職人たちに、やって見せてその技法を伝えることにやり甲斐を感じている</p> <p>○荒壁から仕上げまで塗る材料(土、砂、藁、糊、漆喰など)の色、特性、混ぜ方、地域性等を自ら資料収集・研究し、相談されれば自らの経験から専門的に説明している</p> <p>○「寝かす」「錆」「追っ掛け」など伝統左官に付随する表現をやって見せ、これらの言葉の意味を職人たちにやらせて体得させている</p> <p>○伝統左官技法で使用する鋺(こて)の扱い方、仕上げデザイン(模様)の表わし方等を現場や専門学校等で実演し、建築に関心ある人々へ左官の素晴らしさを伝えている</p>
------------	--

●必要な知識

<p>1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事監理指針(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) <p>2. 左官工事の施工技法、専門知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見本塗り・試験塗りの方法 ・錆(さび)の出し方 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 ・漆喰(彫刻)等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 	<p>3. 木舞下地種類の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の構成とその部材の役割 ・木舞下地の種類(並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等) ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性(例:すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等) <p>4. 木舞下地作業の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 <p>5. 土物壁との関連知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解 ・木舞下地の点検方法
---	---

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S070L22

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の修復・復元施工	共通
	概要	神社、仏閣、純日本建築等の建物を対象にした劣化調査、診断を技能的立場で実施すると共に、修復・復元の施工方法をやってみせる能力	

能力細目		職務遂行のための基準		施工管理
①劣化調査・診断		○＜町場＞日本壁や特殊仕上塗り等は、自分が経験した範囲で亀裂やはがれや風化の原因を調べ、職長の承認後熟練、卓越技能者を補佐しながら下地から塗り方までの補修・改修の施工方法を調べている		
②修復・復元の施工		○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業段取りを職長や熟練技能者の指示に従い修復作業の手伝いを実施している		施工技能
		○＜町場＞職長の指示による施工方法を遵守した作業段取りを行い、修復作業の手伝いを実施している ■＜町場＞今後同じような仕事を実施するときに備え、作業段取り等必要事項を記録している		

■：施工技能職のレベル2における「サブ」を区分して表示している

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（同上） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（同上） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法 ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆（さび）の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 ・漆喰（彫刻）等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 	3. 木舞下地種類の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の公正とその部材の役割 ・木舞下地の種類（並木舞、縦四ツ木舞、両四ツ木舞、丸竹木舞等） ・木舞下地種類を適用左官仕上げに関する相性（例：すだれ木舞は狭い壁、真壁木舞は数奇屋造り等） 4. 木舞下地作業の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・竹の割り方について ・木舞のかき工具 ・間渡し竹について ・かき縄について ・木舞かき施工と作業方法 5. 土物壁との関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料（漆喰材料、大津壁材料等）の理解
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S071L33

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の修復・復元施工	共通
	概要	神社、仏閣、純日本建築等の建物を対象にした劣化調査、診断を技能的立場で実施すると共に、修復・復元の施工方法をやってみせる能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①劣化調査・診断	○＜町場＞日本壁や特殊仕上塗り等は、亀裂や剥れの原因を調べ、下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間、作業量を計画する手伝いをしている		
②修復・復元の施工	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業段取りを行い、卓越技能者と一緒に実施している		施工技能
	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合は、現場状況に適切な修復方法を卓越技能者と一緒に検討している		
	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業を、卓越技能者と一緒に行い、要求された意匠、品質の修復・復元をしている		
	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せした施工方法について、自らの経験に基づき修復作業を卓越技能者と一緒に実施し、奥深い伝統左官技法による修復の技（わざ）を体得している		

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） 2. 左官工事の施工技法、専門知識 <ul style="list-style-type: none"> ・こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法 ・漆喰（彫刻）等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 ・テラゾー、小叩き、びしゃん、擬木 	<ul style="list-style-type: none"> ・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆（さび）の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・歴史的西洋建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 3. 土物壁との関連知識 <ul style="list-style-type: none"> ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料（漆喰材料、大津壁材料等）の理解
--	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S072L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	日本建築の修復・復元施工	共通
	概要	神社、仏閣、純日本建築等の建物を対象にした劣化調査、診断を技能的立場で実施すると共に、修復・復元の施工方法をやってみせる能力	

能力細目	職務遂行のための基準		
①劣化調査・診断	○＜町場＞日本壁、特殊仕上塗り等は、亀裂や剥れの原因調査を指示し、調査結果を基に下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間、作業量を自ら判断し、内容を検証した上で顧客（設計事務所、元請、発注者）に助言している		施工管理
②修復・復元の施工	○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業の段取りが適切に実施されたか、修復すべき部分を最終確認している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合は、その旨を現場責任者に伝え、適切な技法と修復方法を助言している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業段取り及び現場責任者からの作業指示に則り、伝統技能や技法を基にした高度な作業を行い、若手に範を示すとともに、伝承すべき部分は指示、助言している ○＜町場＞顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せした伝統左官施工方法について、自らの経験に基づいて適切な修復作業を実施し、修復前の状態に意匠、品質を復元している		施工技能

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 ・建築工事共通仕様書（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事監理指針（15章左官工事）（公共建築協会） ・建築工事標準仕様書、同解説（JASS15左官工事）（公共建築協会） ・左官施工法（日本左官業組合連合会） 2. 左官工事の施工技法、専門知識 ・こね場の容量と広さの算定（機械能力と作業量） ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法 ・漆喰（彫刻）等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 ・テラゾー、小叩き、びしゃん、擬木	・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆（さび）の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・歴史的西洋建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 3. 土物壁との関連知識 ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料（漆喰材料、大津壁材料等）の理解
---	--

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
------	------	------	------

ユニット番号 19S073L44

選択 能力ユニット	能力ユニット名	歴史的西洋建築の修復・復元施工	共通
	概要	歴史的西洋建築(レンガやコンクリート等の古い建物)の建物を対象にした劣化調査、診断を技能的立場で実施すると共に修復・復元の施工方法をやって見せる能力	

能力細目	職務遂行のための基準		施工管理
①劣化調査・診断	○大正西洋建築の代表的遺構等の古い建物の劣化状況（亀裂やはがれや風化等）を調査し、その結果をもとに下地から塗り方までの補修・改修の施工方法、工事期間の作業量等を自ら判断し、内容を検証した上で顧客（設計事務所、元請、発注者）に助言している		
②修復・復元の施工	○顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業の段取りが適切に実施されたか、修復すべき部分を最終確認している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）から施工方法について相談があった場合、その旨を現場責任者に伝え、適切な技法と修復方法を助言している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）指示による施工方法を遵守した作業段取り及び現場責任者からの作業指示に則り、飾り天井、漆喰（彫刻）、蛇腹引きなどの卓越した意匠センスを発揮して、当時の西洋建築のデザイン（ルネッサンス風、ネオ・ゴシック様式など）を感動的に再現している ○顧客（設計事務所、元請、発注者）と打合せした伝統左官施工方法について、自らの経験に基づき適切な修復作業を実施し、修復前の状態に意匠、品質を復元している		

施工技能

●必要な知識

1. 左官工事の規定、仕様書に関する知識 ・建築工事監理指針(15章左官工事)(公共建築協会) ・建築工事共通仕様書(15章左官工事)(同上) ・建築工事標準仕様書、同解説(JASS15左官工事)(同上) ・左官施工法(日本左官業組合連合会) 2. 左官工事の施工技法、専門知識 ・こね場の容量と広さの算定(機械能力と作業量) ・見本塗り・試験塗りの方法 ・下地材の表面処理方法 ・漆喰(彫刻)等の装飾的表現力 ・ナマコ壁、胴蛇腹、大津磨き、洗い出しの伝統左官技能の粋 ・テラゾー、小叩き、びしゃん、擬木	・左官塗りに適合する下地と塗り工法 ・磨きの方法 ・錆(さび)の出し方 ・防火塗籠塗りのつくり方 ・歴史的日本建築の造形 ・歴史的西洋建築の造形 ・木舞下地土壁の意匠 3. 土物壁との関連知識 ・木舞下地の点検方法 ・荒壁塗り、中塗り、上塗り等の塗り材料(漆喰材料、大津壁材料等)の理解
---	--

6. 職務概要書

【左官工事業】

職種：施工管理 職務：施工管理

【概要】

顧客（設計事務所、元請、発注者）に対しての受注活動、積算・契約・請求等の営業関連業務をはじめ、顧客品質を確保するために顧客との打合せを行い、施工過程の出来映えや工程、原価、安全などの施工管理全般や他職種業者等との折衝や協議を含めて統括管理する仕事。

【仕事の内容】

- ・自社の技術力や施工実績を把握し、対象工事に求められる左官技術や伝統的な技術、用途に整合した左官材料等の知識を活かし、顧客（設計事務所、元請、発注者）に対して見積、作業計画を提示しながら受注に向けた折衝活動を行う。
- ・構造物の構造を理解して適合する左官施工や使用材料、仕上がり等の知識を活かし、柱、梁、壁、床板、開口部、階段等の各部位における顧客要求事項どおりに構築するための左官施工全般を管理することが仕事の内容である。
- ・具体的には、施工場所や作業環境を考慮した施工方法の検討、提案、品質、原価、工程、安全などの計画、管理、作業班の手配や顧客（設計事務所、元請、発注者）からの要請や周知事項の伝達等を現場の職長（施工現場責任者）等と連携しながら実施する。

【求められる知識・経験】

- （１）営業活動を行うためには、顧客（設計事務所、元請、発注者）から健康、環境に関する左官メリットなど基本的要件や施工提案を求められるため、相応な材料特性やそれに関する施工技能知識が不可欠である。
- （２）施工管理業務や職長等と打合せをするためには、施工管理の実務知識（歩掛りや作業手順等）が必要とされる。また、施工現場の全体像把握とその中での左官の工程、他職種との取り合い、施工の進捗による材料の手配、管理及びそれに関わる移動、搬入、搬出等も実務的に知っていなければならない。
施工管理者として、営業的な業務、施工業務を掌るためには一定の実務経験のほか各種関連資格を取得していることが望ましい。

【関連する資格・検定等】

職業能力開発促進法に基づく技能検定（厚生労働省、中央職業能力開発協会）

- ・左官技能士（１級、２級）等

労働安全衛生法に基づく資格（都道府県労働局安全課、都道府県労働基準協会連合会、安全衛生技術センター、安全衛生技術試験協会、都道府県労働災害防止協会 等）

- ・免許試験による資格：クレーン運転士（吊り上げ荷重５トン以上）
移動式クレーン運転士（吊上げ荷重５トン以上）
ガス溶接作業主任者
職業訓練指導員（職業能力開発促進法第２８条第３項）の免許 等
- ・技能講習による資格：玉掛け技能講習修了者（１トン以上）
小型移動式クレーン運転技能講習修了者（吊上げ荷重１トン以上５トン未満）
床上操作式クレーン運転技能講習修了者（吊上げ荷重５トン以上）
高所作業者運転技能講習修了者（作業床の高さ１０ｍ以上）
ガス溶接技能講習修了者（可燃ガス、酸素を用いる） 等
- ・特別教育による資格：５トン未満のクレーン運転特別教育（吊上げ荷重５トン未満）
研削砥石取替え特別教育
玉掛作業（１トン未満）
職長・安全衛生責任者教育 等

国土交通省が要件とするあるいは推奨している資格（建設業振興基金、全国建設研修センター、基幹技能者運営団体連絡協議会 等）

- ・基幹技能者
- ・建築施工管理技士（１級、２級）
- ・土木施工管理技士（１級、２級） 等

【平成１１年改訂・労働省職業分類（小分類）との対応】

05 建築・土木・測量技術者	051 建築技術者	052 土木技術者
77 建設作業者	774 左官	

【左官工事業】

職種：施工技能 職務：現場管理

【概要】

左官工事について、施工過程の段取りや作業管理、材料調合、左官施工、伝統左官施工などを計画に従い、現場において顧客（設計事務所、元請、発注者）や他業種などとの折衝、調整、打合せ等を重ねながら、作業班を統率して所定の品質の左官作業を遂行する仕事。

【仕事の内容】

土木、建築構造物の構造や左官施工技術、左官材料等の知識、経験を活かし、柱、梁、壁、床板、開口部、階段等の各部位を顧客要求事項通りに構築するための左官工事の現場作業管理が仕事の内容である。これらの仕事は元請（ゼネコン工事担当者）の現場における作業指示を理解し、日々の打合せで作業状況を報告し、責任施工できるように作業班を指揮していくものである。

また、日本建築の修復・復元・伝統左官等の仕事においては、左官技能や施工方法の検討、提案、品質、原価、工程、安全などの計画・管理を施工管理職と打合せ、自ら提案した内容を基に左官作業の管理等を行う。

【求められる知識・経験】

- (1) 現場管理の仕事は、施工現場での作業管理、材料調合、下地構造づくり、下地塗り、薄塗り仕上げ、床仕上げ、作業班の統率等多岐にわたる。レベル3（職長相当）は、左官作業の前工程、後工程の作業内容を熟知したうえで、かつ与えられた持ち場で作業を管理運営するマネジメント能力が求められる。そのためには、技能者を束ねるための統率力、指導力が求められる。
- (2) レベル4（施工現場統括責任者、基幹技能者相当）は上級職長として他職種との関連作業の調整や、元請との作業打合せを通して工事を予定通り進めていくための十分な専門性（経験と知識）及び積極的な対人能力が求められる。そのほか、神社、仏閣、純日本建築、歴史的西洋建築等に求められる伝統左官技法を有した卓越技能者（レベル4）と共に高度な左官作業を管理していく能力が必要とされている。

【関連する資格・検定等】

職業能力開発促進法に基づく技能検定（厚生労働省、中央職業能力開発協会）

・左官技能士（1級、2級） 等

労働安全衛生法に基づく資格（都道府県労働局安全課、都道府県労働基準協会連合会、安全衛生技術センター、安全衛生技術試験協会、都道府県労働災害防止協会）

・免許試験による資格：クレーン運転士（吊り上げ荷重が5トン以上）

移動式クレーン運転士（吊上げ荷重が5トン以上）

ガス溶接作業主任者

職業訓練指導員（職業能力開発促進法第28条第3項）の免許 等

・技能講習による資格：玉掛け技能講習修了者（1トン以上）

小型移動式クレーン運転技能講習修了者（吊上げ荷重1トン以上5トン未満）

床上操作式クレーン運転技能講習修了者（吊上げ荷重5トン以上）

高所作業者運転技能講習修了者（作業床の高さ10m以上）

ガス溶接技能講習修了者（可燃ガス、酸素を用いる） 等

・特別教育による資格：5トン未満のクレーン運転特別教育（吊上げ荷重5トン未満）

研削砥石取替え特別教育

職長・安全衛生責任者教育 等

国土交通省が要件とするあるいは推奨している資格（建設業振興基金、全国建設研修センター、基幹技能者運営団体連絡協議会）

・基幹技能者

・建築施工管理技士（1級、2級）

・土木施工管理技士（1級、2級） 等

【平成11年改訂・労働省職業分類（小分類）との対応】

05 建築・土木・測量技術者

051 建築技術者

052 土木技術者

77 建設作業者

774 左官

【左官工事業】

職種：施工技能 職務：施工技能

【概要】

左官工事について、施工過程の段取りや作業手順、材料調合、左官施工、伝統左官施工などを事前打合せ、計画に従って安全に実施し、顧客（設計事務所、元請、発注者）の満足を得る左官仕上げ、仕事の態度を発揮して、要求された品質を確実に実施する仕事。

【仕事の内容】

土木、建築構造物の構造や左官施工技術、左官材料等の知識、経験を活かし、柱、梁、壁、床板、開口部、階段等の各部位を顧客要求事項通りに構築するための左官工事作業遂行が仕事の内容である。これらの仕事は、職長からの作業指示を理解し、日々の打合せで作業状況を報告するだけでなく、状況により作業提案なども進んで行う。

また、日本建築の修復・復元・伝統左官等の卓越した技能が求められる仕事においては、高度な左官技能の知識と経験を基に作業方法や自然素材の生かし方を現場において適切にアドバイス、提案もする。

【求められる知識・経験】

左官の施工技能を行う技能者は、作業打合せや現場のルールに則り、作業内容を、工程を遵守して確実に遂行する能力が必要である。

レベル1（初級技能者）では職長（現場管理職）及び先輩作業員から左官施工の作業手順、安全動作等の基本を指導され、実作業においては、定型的または基本的な作業をしながら技能を身につけるために、学ぶ態度が大切である。

一人前のレベル2（技能者）になると、通常業務において適切な判断や、アクシデントへの対処、改善が出来る技能と知識が必要となり、また、職長が打合せ等で現場を離れる場合にはリーダーシップを発揮して職長代理を努められる「サブ」の存在も必要とされている。

さらに熟練した技能を駆使して大規模で複雑な左官施工を任されるようになると職長（現場管理職）を実作業において支援していく能力が求められる。このレベル3（熟練技能者）は作業班のリーダーとしての指導力や統率力は問われないものの、作業の不具合に対しては作業ポイントを指摘したり、助言出来る十分な経験と知識が求められている。

レベル4（卓越技能者）は、神社、仏閣、純日本建築、歴史的西洋建築等の伝統左官技法に求められる卓越した能力が必要である。特に自然素材を用いた日本古来の左官技能を身に付けていることで重要文化財等の歴史的建築の修復や復元において優れた特殊技能を要求される。

【関連する資格・検定等】

職業能力開発促進法に基づく技能検定（厚生労働省、中央職業能力開発協会）

・左官技能士（1級、2級） 等

労働安全衛生法に基づく資格（都道府県労働局安全課、都道府県労働基準協会連合会、安全衛生技術センター、安全衛生技術試験協会、都道府県労働災害防止協会 等）

・免許試験による資格：クレーン運転士（吊り上げ荷重が5トン以上）

移動式クレーン運転士（吊り上げ荷重が5トン以上）ガス溶接作業主任者 等

・技能講習による資格：玉掛け技能講習修了者（1トン以上）

小型移動式クレーン運転技能講習修了者（吊り上げ荷重1トン以上5トン未満）

床上操作式クレーン運転技能講習修了者（吊り上げ荷重5トン以上）

高所作業車運転技能講習修了者（作業床の高さ10m以上）

ガス溶接技能講習修了者（可燃ガス、酸素を用いる） 等

・特別教育による資格：5トン未満のクレーン運転特別教育（吊り上げ荷重5トン未満）

研削砥石取替え特別教育

玉掛け作業（1トン未満）特別教育

職長・安全衛生責任者教育 等

【平成11年改訂・労働省職業分類（小分類）との対応】

05 建築・土木・測量技術者 051 建築技術者 052 土木技術者

77 建設作業員 774 左官